アフターサービスについて

■アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に

●45～49ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合のある場合、あるいはご不明の点がある場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印など）
2. 品　名…135-R100・R190・R200・R290・R292・R294・R296・R390・R160・R162・R164・R165・R166・R170・R172・R174・R175・R176・R180・R182・R184・R185・R186・R350・R360・R370・R380・R750・R760・R770・R780
（品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります）

（N）135–R100
大阪ガス株式会社

3. 現　象…できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

■転居または機器を移設される場合

●ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。
●ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりの大阪ガスにご相談ください。
ただし、ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

●この機器には保証書が付いています。
●保証書に記載のように、給湯暖房機の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をご覧ください。
●保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
●凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
●自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。

■修理用性能部品の保有期間について

●無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
●この機器の修理用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

●お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
●別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。

大阪ガス

家庭用　BL認定品

取扱説明書（保証書付）

給湯暖房機

ふろ自動・アメニティ機能

全自動タイプ

135-R100
135-R190
135-R160　135-R162　135-R164　135-R165　135-R166
135-R350　135-R360　135-R750　135-R760

自動タイプ

135-R200
135-R290　135-R292　135-R294　135-R296
135-R390
135-R170　135-R172　135-R174　135-R175　135-R176
135-R180　135-R182　135-R184　135-R185　135-R186
135-R370　135-R380　135-R770　135-R780

135-R350～R380・R750～R780以外は高効率タイプの機器です。

この取扱説明書ではリモコンセット138-R310・138-R315および増設リモコン138-R311の使い方について説明しています。他のリモコンセットをお使いの場合は、それぞれのリモコンに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご愛用の皆様へ

このたびは大阪ガスの給湯暖房機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

●ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
●この「取扱説明書」には保証書が付いています。大切に保管してください。
●この製品は国内専用です。

◉安全上のご注意	3
◉機能と特長	10
◉初めてお使いのときは、まず…	10
◉各部のなまえとはたらき	11
◉使用方法	15
◉冬期の凍結による破損防止について	39
◉点検・お手入れのしかた	42
◉長期間使用しない場合は	44
◉故障かな？と思ったら	45
◉機器移設の再設定	50
◉主な仕様・能力表	51
◉アフターサービスについて	57
◉保証書	裏表紙

H113-901×03 (02)
090520Ⓚ
060 00012 59022 7

環境に配慮した先進性能を標準装備。
快適な暖房とお湯ライフをお届けする熱源機。

熱源機

ふろ用、給湯用、暖房用、3つのお湯をつくる給湯暖房システム。

ふろ

浴槽への自動湯はり・おいだき・たし湯

効率よく無駄のないおふろ沸かしができます。

全自動タイプ

自動湯はり → 設定水位でストップ → 4時間(可変) 自動おいだき 自動保温 ｜ 4時間(可変) 自動たし湯

ふろ設定温度で、設定水位まで自動湯はり。
残り湯があるときでも、設定水位まで自動湯はり。

外気温と設定温をチェックし、湯温が下がると自動おいだき。

設定水位より約4cm下がると、自動たし湯。

自動タイプ

自動湯はり → 設定湯量でストップ → 4時間(可変) 自動おいだき 自動保温 ｜ たし湯

ふろ設定温度で、設定湯量まで自動湯はり。

外気温と設定温をチェックし、湯温が下がると自動おいだき。

「たし湯」スイッチを押すだけで、約20Lのお湯がたされます。

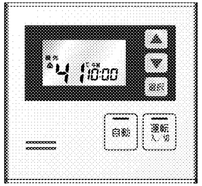
給湯

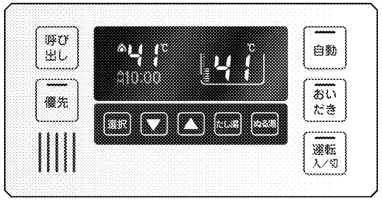
キッチン・洗面所・浴室のシャワー

暖冷房乾燥

- 床　暖　房
- ファンコンベクター・パネルヒーター
- 温水式システムエアコン
- 浴室暖房乾燥機
- 温水式衣類乾燥機（暖房機能付）

台所リモコン：138-R310・138-R315
浴室リモコン：138-R310・138-R315
増設リモコン：138-R311





●各部のなまえとはたらき　11

使用方法
① 時計の合わせかた　15
② 表示の節電設定（セーブモード）の変更方法　16
③ 自動運転のしかた　17
④ ふろ温度の調節方法　19
⑤ ふろ保温時間の変更方法　20
⑥ ふろ湯量（水位）の調節方法　21
⑦ おいだきしたいときは　23
⑧ おふろをぬるくするには　24
⑨ お湯をふやしたいときは　25
⑩ セルフクリーン機能の使いかた　26
⑪ お好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた　27
⑫ シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節　29
⑬ ゆらぎのシャワーの使いかた　31
⑭ 音声やメロディーの大きさ（音量）を変えるには　33
⑮ 浴室暖房をするには　35
⑯ 浴室暖房をふろ自動運転と連動するには　37
⑰ 暖房の運転音を下げるには　38

上記以外のリモコンセットをお使いの場合は、それぞれのリモコンに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

内容の区分

表示	⚠危険	⚠警告	⚠注意
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷　害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

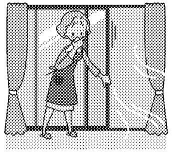
絵表示の意味

一般的な危険・警告・注意	火災注意	一般的な禁止
触れないこと	ぬれ手禁止	分解禁止
必ず行うこと	電源プラグをコンセントから抜く	必ずアース線を接続する

⚠危険

ガス漏れに気付いたときの処置

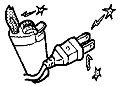
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。 ➡ **②窓や戸を開けガスを外へ出す。** ➡ **③もよりの大阪ガスに連絡する。**



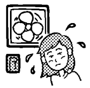
⚠危険

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止



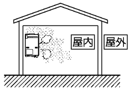
電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止



ガスのにおいのする場所での電話の使用禁止

ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

屋内設置禁止

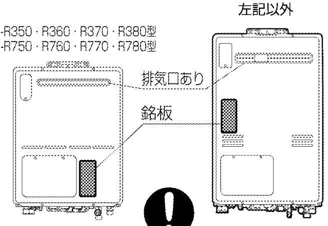


この機器は屋外用です。
屋内や浴室内に設置して使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

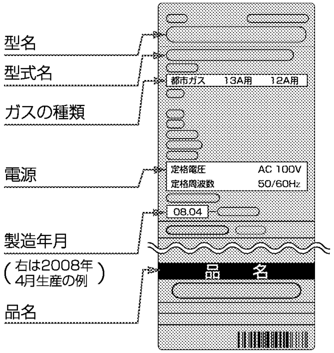
⚠警告

機器の銘板を確認

使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50-60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。



※下図は銘板の一例です。



この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

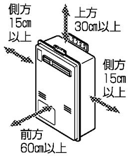
必ず行うこと　一般的な禁止

安全上のご注意

⚠警告

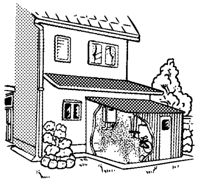
火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。
- 機器や排気口・排気筒トップが洗たく物などでおおわれないようにしてください。
- 機器および排気口・排気筒トップの周囲には、紙や木材などの燃えやすい物を置かないでください。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないでください。引火して火災の恐れがあります。
- 機器や排気口・排気筒トップの周囲にスプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発する恐れがあります。



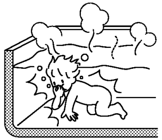
囲い設置禁止

この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の恐れがあります。



お子様に対する注意

おふろを沸かしているとき（浴槽に湯はりしているとき）にお子様を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながることがあります。入浴中お子様が浴槽に潜ったりしないようにしてください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意が必要です。



機器本体に無理な力を加えない

機器本体やガスの接続口・排気口などに乗らないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼の恐れがあります。

ガス事故防止のために

この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

ソーラー接続禁止

この機器は、太陽熱温水器（ソーラーシステム）とは直接接続しないでください。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをする恐れがあります。

工事は資格必要

この機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

機器の改造・分解は禁止

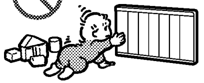
絶対に改造・分解は行わないでください。改造・分解は一酸化炭素中毒などのおそれがあります。また、火災の原因になります。

やけど防止のために必ず守ること

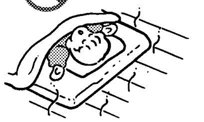
- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。やけどの予防のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。また、給湯使用時は給湯栓が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけず、手のひらで湯温を十分に確認してから使用してください。

- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

- 給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。
- 入浴時には浴槽のお湯を十分にかきまぜてから、必ず手で湯温を確認してから入浴してください。
- おふろ沸かし（沸かし直し）時やおいだき運転中は、循環アダプター付近が熱くなっていますので注意してください。また、保温機能を設定している場合も定期的においだきしますので注意してください。
- パネルヒーターの表面はさわらないでください。
  やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。



- **床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。**
  特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
  ①乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
  ②疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
  ③皮膚や皮膚感覚の弱い方



必ず行うこと　一般的な禁止　分解禁止

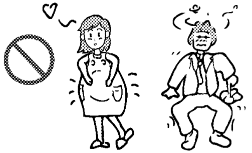
安全上のご注意

⚠警告

ゆらぎのシャワー使用上の注意

● **次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。**
体調をくずすことがあります。

①妊娠中の方
②医者から入浴を禁じられている方
③お酒を飲んだあとや深酒をされた方
④高血圧の方
⑤体力の弱っている方
⑥体調の悪い方



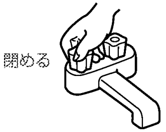
機器の異常に気付いたら

● 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。

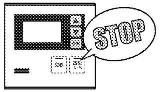
● 異常を感じたときは、「故障かな？と思ったら」（45～49ページ）に従ってください。
上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

● 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。

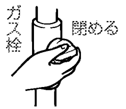
①給湯栓をすべて閉める。



②運転スイッチを「切」にする。

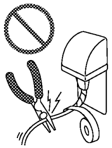


③ガス栓を閉める。

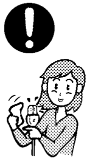


電気事故防止

● 電源コードを切断して延長はしないでください。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。

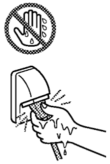


● 電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



● 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

● ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。また、雨が降り出している場合は電源プラグを抜かないでください。感電の恐れがあります。



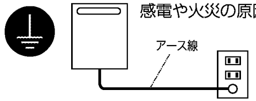
⚠注意

ご使用上の注意

● 給湯・シャワー・おふろ沸かし・暖房（乾燥）以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。

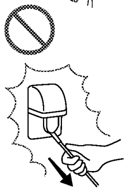
● 排気口や排気筒トップに指や棒を入れないでください。故障やけがの原因になります。

● この機器はアースが必要ですのでアースされていることを確認してください。



● 使用中や使用直後は排気口・排気筒トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

● 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。



お願い

機器の設置状態の確認

● 機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。

①機器は傾いて設置されていませんか？
②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
③棚の下など落下物の危険はありませんか？
④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
⑤近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機・ポンプ回転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？
⑥排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因になります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

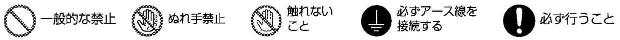
● 増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。

● 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口・排気筒トップの周囲に置かないでください。

● 温泉水・地下水・井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。

● この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることになりますのでご承知おきください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

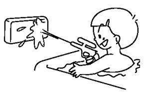
● 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。



安全上のご注意

お願い

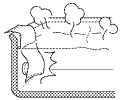
リモコンの取り扱いについて



- リモコンはお子様がいたずらしないように注意してください。思わぬ事故や故障の原因になります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- リモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。

ご使用上の注意

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結予防のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。
- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
- 断水時には運転を停止して給湯栓を閉めてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。また断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。給湯栓から十分水を流してから使用してください。
- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯(洗面器一杯程度)は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水・調理用水としてお使いください。
- 硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器などが腐食する原因となるものがありますので入浴剤などのご注意文を十分ご参照ください。
- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。使用した場合、循環不良となりおふろ沸かしができません。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 給水・給湯配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。
- 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。ふさぐと循環不良となり、おふろ沸かしができません。



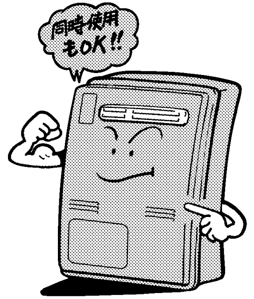
乾電池に関するご注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理をしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

一般的な禁止　分解禁止　必ず行うこと

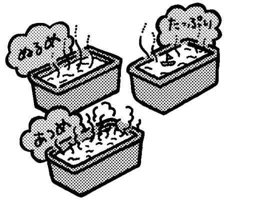
機能と特長

給湯も暖房もおふろ沸かしもこれ一台でOKです。



お好きな時刻におふろが沸かせる(または沸かし上げておくことができる)予約運転ができます。
※台所リモコン設置時のみ

お好みに合わせて『あつめ』(おいだき)や『ぬるめ』(ぬる湯)、また『たっぷり』(たし湯)のおふろが楽しめます。

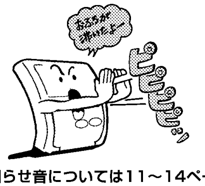


お湯の断続使用での湯温安定機能(Q機能)搭載により湯温の安定性を向上させました。(当社比)

『ゆらぎのシャワー』で心と体のリフレッシュ!!

※ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/fのゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。

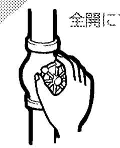
リモコンには音声やブザーが付いていますので、おふろ沸き上げ完了を音声でお知らせしたり、浴室から台所などへブザーで呼び出しができます。
※呼び出しブザーは台所リモコン設置時のみ



お知らせ音については11～14ページの「各部のなまえとはたらき」を、音声については33～34ページの「音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには」をご覧ください

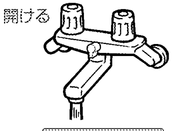
初めてお使いのときは、まず…

1. 給水元栓を全開にします。



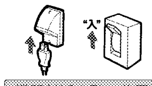
機器の下部

2. 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉めます。(すべての給湯栓について)



お湯の使用場所

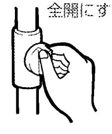
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)



機器付近の壁・分電盤

注意　ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

4. ガス栓を全開にします。



機器の下部

各部のなまえとはたらき(浴室リモコン)

浴室リモコン　（別売品　138-R310・138-R315の浴室リモコン）

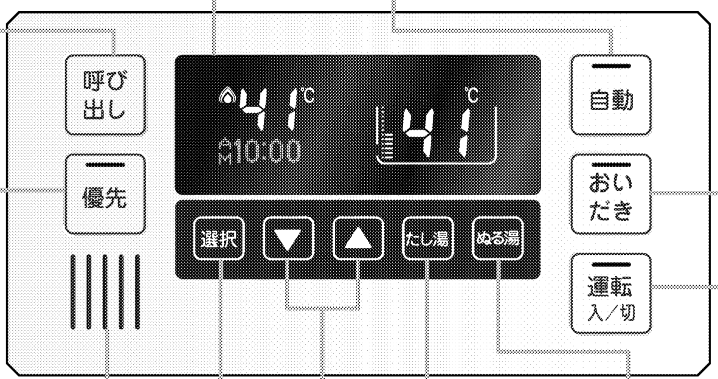
● 浴室に設置されているリモコンで台所リモコンとセットで使用するタイプです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

自動スイッチ自動ランプ（赤）
おふろに湯はりをするときに押します。
自動運転中は自動ランプ（赤）が点灯します。

呼び出しスイッチ
押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴ります。（このスイッチは光りません）

表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

おいだきスイッチおいだきランプ（緑）
おふろのおいだきをしたいときに押します。おいだき中はおいだきランプ（緑）が点灯します。（23ページ参照）



スピーカー
ここから音声が出ます。

選択スイッチ
ふろ温度・ふろ湯量などの設定をするときにまずこのスイッチを押します。

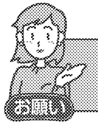
たし湯スイッチ
おふろのお湯をふやしたいときに使います。（25ページ参照）

ぬる湯スイッチ
おふろのお湯をぬるくしたいときに使います。（24ページ参照）

優先スイッチ優先ランプ（オレンジ）
リモコンの優先権の切り替えに使います。

運転スイッチ運転ランプ（緑）
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは、「入」（表示画面・運転ランプ点灯）にします。もう一度押すと「切」になります。

給湯温度スイッチ（選択スイッチ）
給湯温度を決めるときに使います。また、ふろ温度・ふろ湯量などの設定をするときに使います。



スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。

浴室リモコン表示画面のみかた

● スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示を確認してください。
表示しない場合は、もう一度操作してください。
● 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

ゆらぎの表示
この表示が点灯中はゆらぎのシャワーが使用できます。

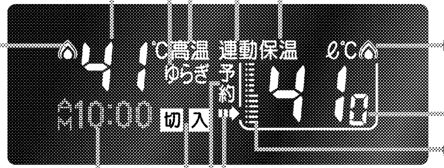
高温表示
お湯の温度が60℃に設定されているときに点灯します。

連動表示
浴室暖房とふろ自動運転の連動設定を「入」にしたときに表示します。

給湯温度表示
お湯の温度のめやすを表示します。

保温表示
おふろのお湯を保温中に表示します。

給湯燃焼表示（赤）
お湯を使っているときに点灯します。



ふろ燃焼表示（赤）
暖房またはふろ部が燃焼中に点灯します。

水位表示
おふろへの湯はり量のめやすを表示します。実際の浴槽での水位とは一致しません。

時計表示
現在時刻や予約時刻を表示します。（台所リモコン設置時のみ）

予約表示
ふろ自動湯はりの予約待機および予約運転をしているときに表示します。

ふろ運転表示
自動・おいだき・たし湯・ぬる湯運転中に点滅します。

故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。

「入」・「切」表示
各種機能を設定する際に、設定状態（「入」・「切」）を表示します。

選択画面表示
各種機能を設定する際に、そのメニューを表示します。

ふろ温度表示（単位℃を含む）
おふろへの湯はり温度やたし湯の温度のめやすを表示します。

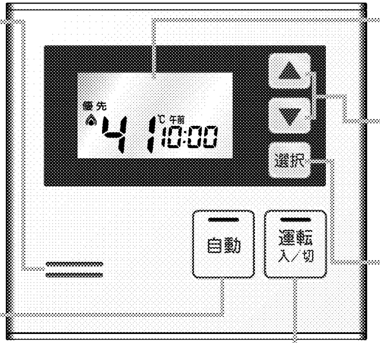
ふろ湯量表示（単位ℓを含む）
湯量設定時はふろ温度表示が湯量（水位）表示に変わります。

・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音や音声を確かめてください。

各部のなまえとはたらき(台所リモコン)

台所リモコン　（別売品　138-R310・138-R315の台所リモコン）

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。



スピーカー
ここから音声が出ます。

自動スイッチ 自動ランプ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。湯はり中は自動ランプ(赤)が点灯します。

運転スイッチ 運転ランプ(緑)
お湯を使うときやおふろに湯はりするときは、「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。もう一度押すと「切」になります。

表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

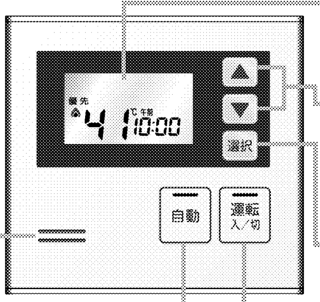
給湯温度スイッチ(選択スイッチ)
給湯温度を決めるときに使います。また、ふろ温度、ふろ湯量などの設定をするときに使います。

選択スイッチ
ふろ温度・ふろ湯量などの設定をするときにまずこのスイッチを押します。

※スイッチ・表示の内容は基本的に浴室リモコンと同様です。

増設リモコン　（別売品　138-R311）

- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ、手もとで給湯温度を変えることができます。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音でお知らせします。
- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
  点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



スピーカー
ここから音声が出ます。

自動スイッチ 自動ランプ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。湯はり中は自動ランプ(赤)が点灯します。

運転スイッチ 運転ランプ(緑)
お湯を使うときやおふろに湯はりするときは、「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。もう一度押すと「切」になります。

表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

給湯温度スイッチ(選択スイッチ)
給湯温度を決めるときに使います。また、ふろ温度・ふろ湯量などの設定をするときに使います。

選択スイッチ
ふろ温度・ふろ湯量などの設定をするときにまずこのスイッチを押します。

※スイッチ・表示の内容は基本的に浴室リモコンと同様です。

台所リモコン・増設リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示を確認してください。
  表示しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。
- スイッチ操作後、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、液晶表示部が暗くなります。
  （省エネのため、バックライトが輝度を落とします）

選択画面表示
各種機能を設定する際に、そのメニューを表示します。
※増設リモコンには時計、予約、静音のメニューはありません。

ゆらぎの表示

高温表示

優先表示

給湯燃焼表示

運動表示

保温表示

給湯・ふろ設定温度表示

ふろ燃焼表示

入・切表示

時計表示

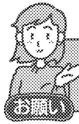
故障表示

ふろ湯量表示(単位ℓを含む)

エラーリレキ表示
エラー履歴表示中に点灯します。

試運転表示
自動試運転中に点灯します。

メンテ表示
メンテモニタ表示中に点灯します。



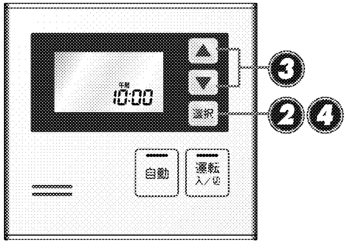
スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。

・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音や音声を確かめてください。

使用方法 ①
時計の合わせかた

●台所リモコンで設定します。
（浴室・増設リモコンにはこの機能がありません）

・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。

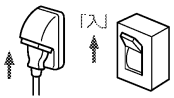


1 電源プラグをコンセントに差します。

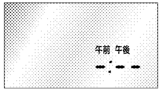
（運転スイッチは「入」にしないでください）

- 電源プラグを差し込む（または分電盤の専用スイッチを「入」にする）と、右図の表示が点灯します。

※運転「切」の状態でのみ設定できます。

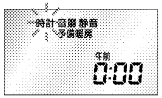


台所リモコン



2 選択スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて選択スイッチを押して「時計」を選択します。

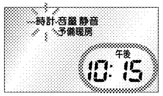
- 選択されているメニューは点滅します。



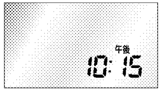
〈選択画面〉

3 ▼または▲スイッチを押して、現在の時刻に合わせます。

※▼▲スイッチを押し続けると、10分刻みで時刻が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



4 選択スイッチを押します。

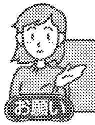


- 『**設定しました**』とお知らせして、操作が完了します。
- 選択スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。

※選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

- 運転スイッチを「入」にすると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。

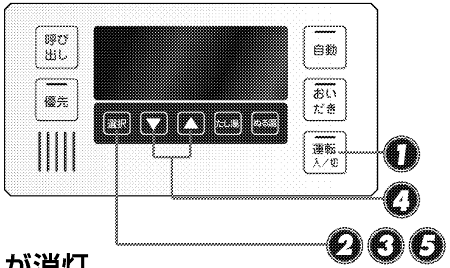
※運転スイッチを「切」にすると、台所リモコン・増設リモコンでは時刻表示だけが点灯した状態となり、他のリモコンではすべての表示が消灯します。



・午前と午後を間違えないようにご注意ください。
・電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には 午前 午後 -:-- の表示に戻ります。再度時刻を合わせてください。

使用方法 ②
表示の節電設定(セーブモード)の変更方法

●浴室リモコンで設定します。
（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）
●セーブモードとは、リモコンの待機電力の低減（省電力）を目的とした機能です。セーブモードが「入」のときは、時間が経過すると自動的に表示画面が消えます。
●お買い上げの際には、セーブモードは「入」に設定されています。セーブモード機能を使用しない場合は、下記の手順で「切」にすることもできます。



1 運転スイッチのランプ（緑）が消灯していることを確認します。

- 点灯している場合は運転入/切スイッチを押します。

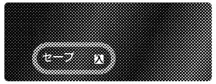
※運転「切」の状態でのみ設定できます。

2 選択スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

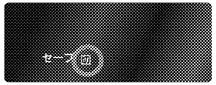
浴室リモコン

3 選択スイッチを押して、「セーブ」を表示させます。

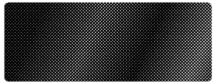


〈選択画面〉

4 ▼または▲スイッチを押して、「切」を表示させます。



5 選択スイッチを押します。



- 『**設定しました**』とお知らせして設定が完了します。

※選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

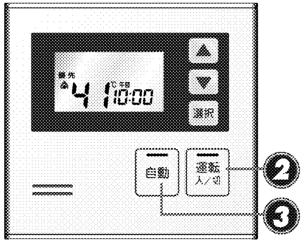
- 再度「入」にするときは1～3の操作を行った後で、▼または▲スイッチを押して「入」にしてください。

リモコンの節電機能について〈表示の節電〉
・リモコンの消費電力を極力節電するため、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えて、運転スイッチのランプ（緑）のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、優先スイッチのランプ（オレンジ）も点灯します。ただし、給湯栓を1度も開けていない状態では、表示画面は消えません。1度給湯を使用してください。機器を再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。
※▼▲運転入/切スイッチ以外のスイッチを押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。
・湯はり運転中および給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電（セーブモード）機能は働きません。
・台所・増設リモコンには標準仕様として、スイッチ無操作状態1分経過後に、バックライトを暗くする機能があります。再度スイッチ操作をすると、バックライトの明るさは元の明るさに戻ります。

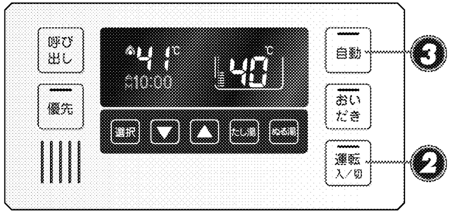
自動運転のしかた

●どのリモコンでも操作できます。

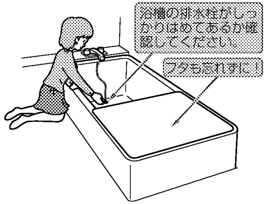
（台所・増設リモコン）



（浴室リモコン）

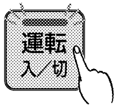


1 浴槽に排水栓とフタをします。



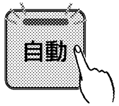
・おふろの温度や湯はり量・保温時間の調節方法は、19～22ページをご覧ください。
・自動湯はり中には循環アダプターから泡が出てくることがあります。
・全自動タイプでは、入浴後運転スイッチが「入」で自動スイッチが「切」のときに浴槽の排水栓を抜くと「セルフクリーン機能」がはたらきます。（26ページ参照）

2 運転 入/切 スイッチを押します。



●表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に運転スイッチランプが緑色に光ります。

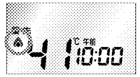
3 自動 スイッチを押します。



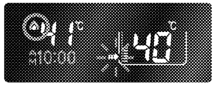
●音声で『**お湯はりをします**』とお知らせして自動スイッチランプが赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。このとき表示画面には右図の表示が出ます。

●湯はり完了の約5分前には ブザーが鳴り、『**残りおよそ5分でおふろに入れます**』とお知らせします。

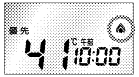
（注）残り湯があるとき、または、ふろ設定湯量（水位）が少ない（5分以内に湯はりが完了する）ときに自動運転をした場合は、完了5分前のお知らせはしません。



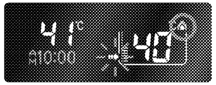
（湯はり中）



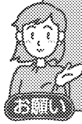
（湯はり中）



（沸きあげ中）



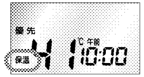
（沸きあげ中）



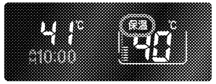
・湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯（水）を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯（水）を入れないでください。
・浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチランプ（赤）が消灯していることを確認してから行ってください。
・自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。
・保温中にお湯をもっとふやしたい場合は、たし湯スイッチ（25ページ参照）を押してください。約20リットルのお湯をたします。

●湯はりが終わると音楽が鳴り、音声で『**おふろが沸きました**』とお知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。

台所・増設リモコン



浴室リモコン



●保温の表示が出ている間は、お湯の温度が下がると自動的（注）においだきし、全自動タイプはお湯が減ると自動的にたし湯します。この保温時間は20ページのふろ保温時間の変更方法で決めます。

（注）ふろ設定温度や気温などによって異なりますが、約10～40分ごとにふろ温度をチェックして、設定温度よりぬるくなっていれば自動的においだきします。

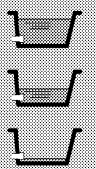
●保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチランプ（赤）も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチを押して消灯させてください。

※湯はり運転中に給湯（シャワー）を使用した場合、給水温や給水圧などの条件によっては、給湯栓からお湯が少ししか出ないことやまったく出ないこともあります。（機器の異常ではありません）

●保温の表示が出ている間にぬるく感じたときは、おいだきスイッチ（23ページ参照）を押すか、ふろ設定温度を上げてください（19ページ参照）。ただし、ふろ設定温度を上げる方法の場合、スイッチを押してからおいだきを始めるまでに約1分かかります。（浴槽の水位判定のため）

・高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
・夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量（水位）まで水はり後おいだき運転を行うことがあります。また、冬期など気温の低い場合では、ふろ設定温度まで沸きあげるのに時間がかかることがあります。
※上記のような場合は『残りおよそ5分でおふろに入れます』とお知らせしてから5分以上たっても湯はりが完了しないことがあります。（機器の異常ではありません）

残り湯がある場合の注意（自動タイプの場合）

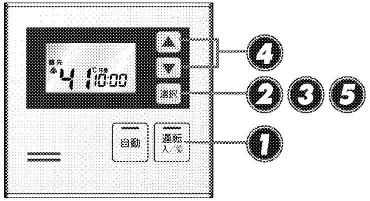


・前日の残り湯を沸かし直す場合、自動スイッチを使うと湯量がふえ、お湯があふれることがあります。残り湯の量が十分にあるときの沸かし直しは、おいだきスイッチ（23ページ参照）をお使いください。
・残り湯で循環アダプターがかくれている場合、水位が多少バラツキます。
※特に残り湯の温度がふろ温度設定に近いときは、約6リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。
・残り湯で循環アダプターがかくれていない場合、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。

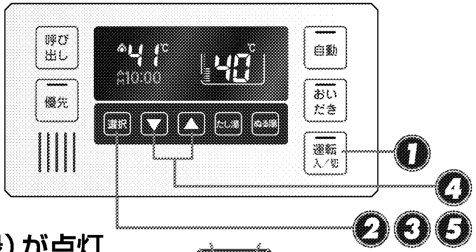
使用方法 ④ ふろ温度の調節方法

- どのリモコンでも操作できます。
- お買い上げの際には、ふろ温度は42℃に設定されています。

（台所・増設リモコン）



（浴室リモコン）



1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

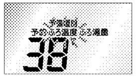
- 点灯していない場合は、[運転 入/切]スイッチを押します。

2 [選択]スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

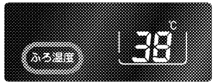
3 [選択]スイッチを押して、「ふろ温度」を表示させます。

台所リモコン



〈選択画面〉

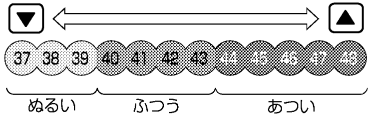
浴室リモコン



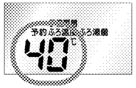
〈選択画面〉

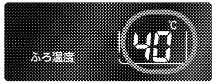
- 台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。

4 [▼]または[▲]スイッチを押して、ふろ温度を設定します。



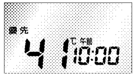
- [▲]スイッチを押すと温度が上がるメロディーと共に『**ふろ温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。
- [▼]スイッチを押すと温度が下がるメロディーと共に『**ふろ温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。

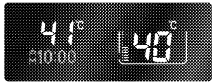




- 設定できる温度は37℃～48℃の12段階です。1℃きざみで一回スイッチを押すと1℃変わります。
- [▼]または[▲]スイッチを押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。
  ※温度表示はめやすです。

5 [選択]スイッチを押します。



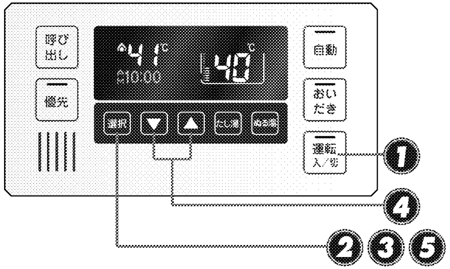


- 設定が完了します。

※[選択]スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

使用方法 ⑤ ふろ保温時間の変更方法

- 浴室リモコンで設定します。
- お買い上げの際には、ふろ保温時間は4時間に設定されています。



1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

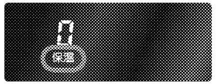
- 点灯していない場合は、[運転 入/切]スイッチを押します。

2 [選択]スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

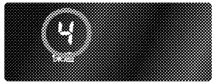
3 [選択]スイッチを押して、「保温」を表示させます。

浴室リモコン



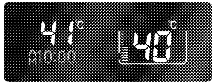
〈選択画面〉

4 [▼]または[▲]スイッチを押して、ふろ保温時間を変更します。



- ふろ保温時間は 0・1・2・4・6・8 時間の中から選択してください。

5 [選択]スイッチを押します。



- 『**設定しました**』とお知らせして、設定が完了します。

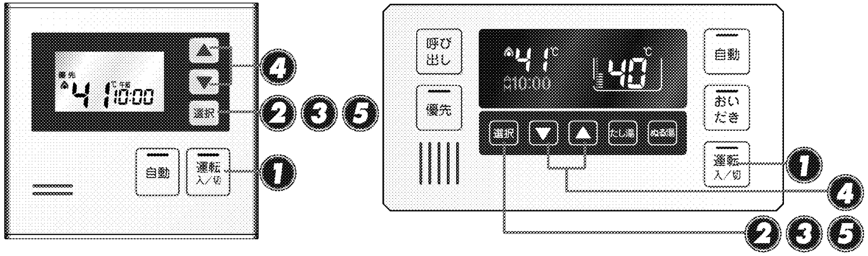
※[選択]スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

使用方法 ⑥

ふろ湯量（水位）の調節方法

●どのリモコンでも操作できます。

（台所・増設リモコン）　（浴室リモコン）



1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、[運転入/切]スイッチを押します。

2 [選択]スイッチを押します。

●選択画面が表示されます。

3 [選択]スイッチを押して、「ふろ湯量」を表示させます。

●台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。

4 [▼]または[▲]スイッチを押して、ふろ湯量を変更します。

5 [選択]スイッチを押します。

●『**設定しました**』とお知らせして、設定が完了します。

※[選択]スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

■全自動タイプと自動タイプでは表示が異なります。それぞれ次のようになっています。

全自動タイプの場合

※全自動タイプでいう湯量(水位)とは、循環アダプター上端から何cm上まで湯はりするかというめやすをいいます。

※はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示は下から6番目になります。この設定の場合、循環アダプター上端から約17cmの位置まで湯はりして自動停止します。ただしこの位置は、浴槽の形状などによってバラつきますので、下記の方法でお好みの水位に設定してお使いください。

●湯量スイッチの[▲]を押すたびに水位表示は1目盛上がり、上がるメロディーでお知らせします。また、[▼]を押すたびに1目盛下がり、下がるメロディーでお知らせします。1目盛で水位が約2cm変わり、12段階に調節できます。最低設定で循環アダプター上端から約7cm上、最高で約29cm上になります。ただし浴槽によっては、高い水位に設定するとお湯があふれることがあります。

機器本体が和バス（洋式バス以外の浴槽）用の設定になっている場合、水位を下から6番目に設定すると循環アダプター上端から約25cm上まで湯はりします。1目盛は約3cmになります。

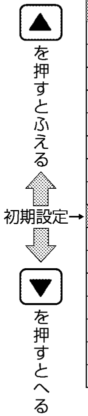
自動タイプの場合

※自動タイプでいう湯量とは、浴槽に湯はりするお湯のめやすの量をいいます。

※はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は約200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目で示されます。

●[▲]を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。このとき、上がるメロディーでお知らせします。ただし、お子様のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには、[▲]スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および990リットルに設定したとき水位表示は表示されません。

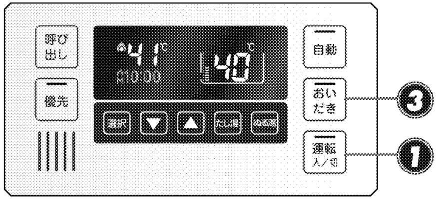
●湯量スイッチの[▼]を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。このとき、下がるメロディーでお知らせします。ただし、80リットルや60リットルに設定するときには[▼]スイッチを1秒以上押し続けてください。



湯　量 (リットル)	水位表示 (下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
80	1
60	1

使用方法 ⑦ おいだきしたいときは

●浴室リモコンで操作します。
（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

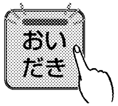


1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

● 点灯していない場合は、［運転 入/切］スイッチを押します。

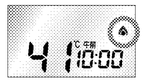
2 浴槽に、アダプターの上までお湯（水）が入っていることを確認します。

3 スイッチを押します。



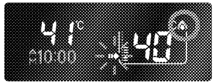
● 『**おいだきをします**』とお知らせするとともに、おいだきスイッチのランプ（緑）が光り、ふろ温度にかかわらず約5分間おいだきしますので、ふろ設定温度以上になる場合があります。
● 途中で止めたいときは、もう一度［おいだき］スイッチを押して、おいだきスイッチのランプを消灯させてください。
※水から沸き上げる場合など、約5分経過してもふろ設定温度にならない場合は、ふろ設定温度までおいだきします。

台所・増設リモコン

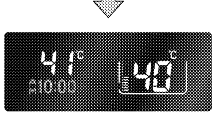


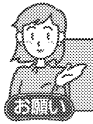
（おいだき中）

浴室リモコン



（おいだき中）





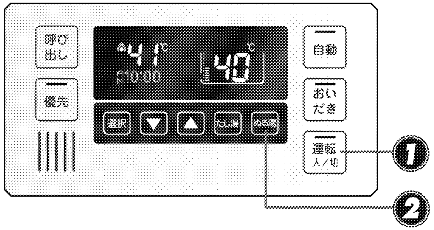
おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくることがあります。また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

循環アダプターの上までお湯（水）が入っていないときにおいだきスイッチを押すと…
・自動タイプは浴槽に約6リットル湯はりし、約10分間ポンプ運転した後、リモコンに「632」エラーが点滅して停止します。
・全自動タイプは浴槽に約6リットル湯はりした後自動運転に切り替わり、おいだきスイッチのランプが消灯して自動スイッチのランプが光ります。この後は、17ページの自動運転と同じ動作（湯はり・保温）に入りますので、途中で止めたいときは自動スイッチを押してください。

※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

使用方法 ⑧ おふろをぬるくするには

●浴室リモコンで操作します。
（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）



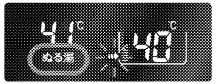
1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

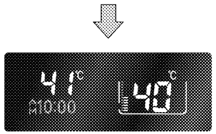
● 点灯していない場合は、［運転 入/切］スイッチを押します。

2 ［ぬる湯］スイッチを押します。

● 『**水をたします**』とお知らせするとともに、ぬる湯運転を開始します。
※浴槽に約10リットル注水します。
（この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます）
※ぬる湯運転中は右図のぬる湯表示をします。
● 途中で止めたいときは、［ぬる湯］スイッチを押します。ぬる湯運転が止まり、ぬる湯表示が消えます。
※ぬる湯運転が終わると、ぬる湯表示が消えます。

浴室リモコン

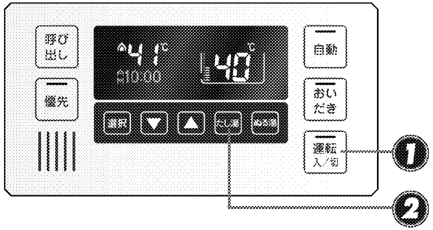




・給湯（シャワー）使用中や「ゆらぎ」の表示（31ページ参照）点灯中は、ぬる湯運転は一時中断されます。
・ぬる湯運転中に給湯（シャワー）使用すると、ぬる湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓からは水が出ることもあります。
・ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

使用方法 ⑨　お湯をふやしたいときは

●浴室リモコンで操作します。
（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

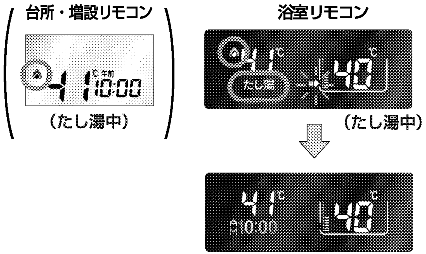


1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、[運転 入/切]スイッチを押します。

2 [たし湯]スイッチを押します。

●『**お湯をたします**』とお知らせするとともに、たし湯運転を開始します。
※浴槽にふろ設定温度のお湯約20リットルを湯はりします。
（この機能は浴槽の残り湯の量に関係なく働きます）
※たし湯運転中は右図のたし湯表示と給湯燃焼表示をします。
●途中で止めたいときは[たし湯]スイッチを押します。たし湯運転が止まり、たし湯表示と給湯燃焼表示が消えます。
※たし湯運転が終わると、たし湯表示と給湯燃焼表示が消えます。

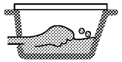


・給湯（シャワー）使用中や「ゆらぎ」の表示（31ページ参照）点灯中は、たし湯運転は一時中断されます。
・たし湯運転中に給湯（シャワー）使用すると、たし湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓からはふろ設定温度のお湯が出ることもあります。
・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。
・高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

使用方法 ⑩　セルフクリーン機能の使いかた

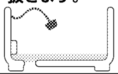
●全自動タイプの機器の場合のみご利用いただけます。
※セルフクリーン機能とは、全自動タイプで自動運転や予約運転でおふろを沸かした後におふろのお湯を抜くと、ふろ配管内に残ったお湯を自動で洗い流す機能です。

1. 自動運転（17ページ参照）または予約運転（27ページ参照）でおふろを沸かします。

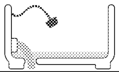


2. 運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」になっていることを確認します。
●自動スイッチが「入」になっている場合は、自動スイッチを押して、「切」にしてください。

3. 自動スイッチを「切」にして1分以上経ってから、浴槽の排水栓を抜きます。

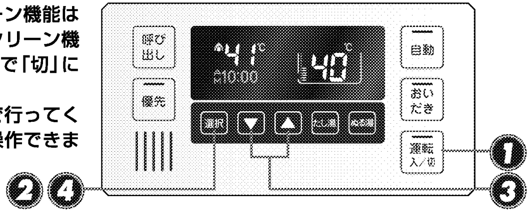


4. 約5リットルのお湯が出てふろ配管内のお湯を押し流します。



●「セルフクリーン機能」は以下の状態で排水したときにはたらきます。
・運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」の状態
・循環アダプター上端より約5cm以上の水位がある状態
●運転スイッチ「切」の状態では、セルフクリーン機能ははたらきません。
●セルフクリーン運転中にお湯を使った場合ははたらかない場合があります。
●自動スイッチを「切」にしてもしばらくポンプが回っています。浴槽栓を抜くのはポンプ停止後（自動スイッチを「切」にしてから1分以上経過後）にしてください。セルフクリーン機能がはたらかない場合があります。

●お買い上げの際には、セルフクリーン機能は「入」に設定されています。セルフクリーン機能を使用しない場合は、下記の手順で「切」にすることもできます。
※以下の操作はすべて浴室リモコンで行ってください。台所・増設リモコンでは操作できません。

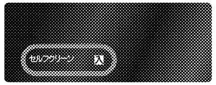


1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

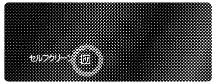
●点灯していない場合は、[運転 入/切]スイッチを押します。

2 [選択]スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて[選択]スイッチを押して「セルフクリーン」を表示させます。

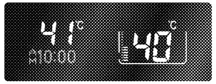
浴室リモコン



3 [▼]または[▲]スイッチを押して、「切」を表示させます。



4 [選択]スイッチを押します。

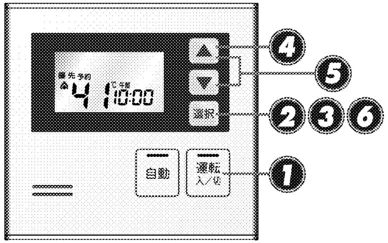


●『**設定しました**』とお知らせして、設定が完了します。
※[選択]スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
●再度「入」にするときは、1～2の操作を行った後で[▼]または[▲]スイッチを押して「入」にしてください。

使用方法 ⑪

お好きな時間に湯はりする「予約運転」のしかた

●台所リモコンで設定します。
（浴室・増設リモコンにはこの機能がありません）
●必ず現在時刻設定を行ってから操作してください。（15ページ参照）



1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は、［運転 入/切］スイッチを押します。

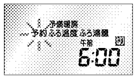
2 ［選択］スイッチを押します。

●選択画面が表示されます。

3 ［選択］スイッチを押して、「予約」を選択します。

●選択されているメニューは点滅します。

台所リモコン



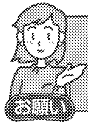
〈選択画面〉

4 ［▲］スイッチを押します。

●時刻設定モード（「入」が点滅）になります。

5 ［▼］または［▲］スイッチを押して、予約時刻(湯はり完了時刻)を設定します。

※予約時刻のセット方法は、15ページの時計合わせかたの③を参照ください。（午前・午後に注意！）
●右図は午前7時30分に湯はり完了したい場合の例です。

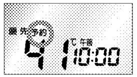


・予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内にすると、浴槽が大きいときや機器への給水圧が低いときなどに、予約時刻になってもおふろへの湯はりが完了しないことがあります。

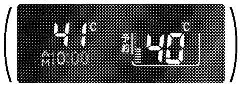
6 ［選択］スイッチを押します。

●『**設定しました**』とお知らせして、操作が完了します。
※［選択］スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。
●予約を解除するときは、①～③の操作を行った後、［▼］スイッチを押して「切」にしてください。

台所・増設リモコン



浴室リモコン

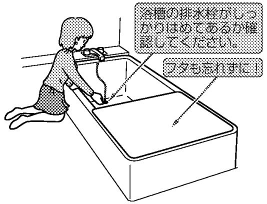


台所リモコン

（予約を解除する場合）

7 浴槽に排水栓とフタをします。

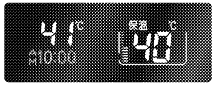
※運転スイッチは「切」にしないでください。「予約」が消え、予約運転がキャンセルされます。



※残り湯があるときやふろ設定湯量（水位）が少ないときに予約運転をした場合、湯はり完了5分前のお知らせはしません。また、自動タイプをお使いの場合、残り湯で循環アダプターがかくれていない状態で予約運転を行うと、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれる場合があります。

台所・増設リモコン

浴室リモコン



※湯はりが完了して予約した時刻になるとメロディが鳴り、音声で『**おふろが沸きました**』とお知らせします。このとき表示画面には、上図のような「保温」の表示が出て保温運転に入ります。
（保温時間については20ページ参照）
（注）予約運転の場合は、予約時刻の約30分前から湯はり運転を開始します。なお、浴槽の大きさや設定湯量・湯はり温度・給水圧・給水温などの条件によっては、湯はり完了時刻と予約時刻がズレることもありますが、異常ではありません。

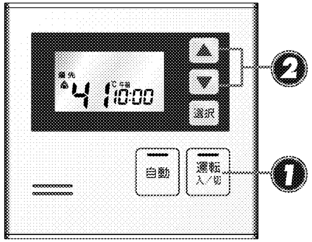
・⑤の操作で決めた予約時間は運転スイッチを「切」にしても機器が記憶しています。予約時間を確認したいときは、①～③の操作を行ってください。
・毎日同じ時刻に湯はり（おふろ沸かし）をする場合は、予約時刻の30分以上前に、毎日①～④および⑥⑦の操作を行ってください。
・高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

※浴槽に残り湯があるときに予約運転を行うと、おふろの沸きあがり時刻に大きなバラツキが出ることがありますが異常ではありません。

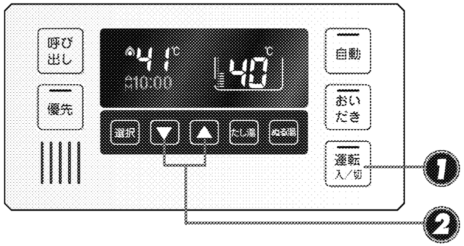
シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節

●どのリモコンでも操作できます。

（台所・増設リモコン）



（浴室リモコン）



1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

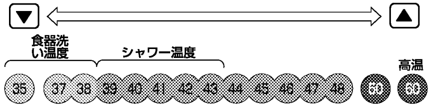
点灯していない場合は、［運転入/切］スイッチを押します。運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示または、優先スイッチランプ（オレンジ）が点灯します。

2 ［▼］または［▲］スイッチを押して、給湯温度を設定します。

● ［▲］スイッチを押すと温度が上がるメロディーと共に『**給湯温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。また、［▼］スイッチを押すと温度が下がるメロディーと共に『**給湯温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。

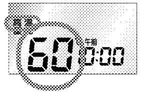
● ［▼］または［▲］スイッチを押し続けると45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

※調節できる温度は35℃～60℃の15段階です。
1回スイッチを押すたびに1段階ずつ変わります。
右図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およその目やすとお考えください。

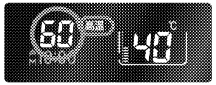


※低い給湯温度（食器洗い温度）に設定した場合、給水温度の高い条件（約22℃以上）では、設定温度よりも約1℃～6℃熱いお湯が出ることがありますが異常ではありません。このような場合は混合水栓で水と混合して使用してください。

台所・増設リモコン

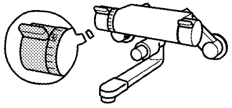


浴室リモコン



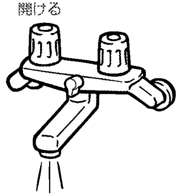
※給湯設定温度を60℃にセットすると『**あついお湯が出ます**』『**給湯温度を60℃に設定しました**』とお知らせし、表示画面に「高温」を表示して注意を促します。

※サーモスタット式水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度（ハンドルの温度）より5～10℃高めにしてください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

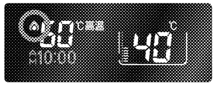


サーモスタット式水栓の例

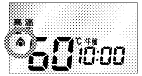
●給湯栓を開くとお湯が出ます。
※お湯を使っている間は、表示画面に右図のような燃焼表示をします。
※湯量を絞りすぎる（毎分約2リットル以下にする）とバーナの火が消えます。



浴室リモコン



台所・増設リモコン



・給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。
※給水温が高く、低い設定温度（食器洗い温度）の場合は、湯量を多めにしても設定温度より熱いお湯が出ることがあります。このような場合は混合水栓で水と混合し、湯温を確認してからお使いください。
・お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
・湯量が給湯能力以上の場合は、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出ることがありますので、湯量を絞ってお使いください。
・リモコンから出る音声について詳しくは34ページをご覧ください。
・湯はり中はリモコンの表示とは異なる温度のお湯が出ることがあります。
・高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
・停電復帰時は運転スイッチが入っていない状態になり、その後運転スイッチを入れたリモコンに優先が移ります。このとき、それぞれのリモコンの温度設定は停電前と同じ設定です。

⚠警告

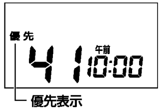
●高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
●おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。
お湯が急に水になります。
●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこのリモコンの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

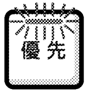
? 運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できないときは?

・給湯温度が調節できるのは、表示画面に『優先』の表示が出ているもしくは、優先スイッチランプ（オレンジ）が点灯しているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐためで、『優先』表示をしていないリモコンで［▼］［▲］スイッチを押すと、『給湯温度は変更できません』とお知らせします。

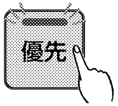
台所・増設リモコンの表示画面



浴室リモコン



・優先権を切り替えるには、浴室リモコンの優先スイッチを押します。
優先スイッチを一回押すたびに、優先権が「浴室リモコン」→「台所・増設リモコン」→「浴室リモコン」……と交互に切り替わります。

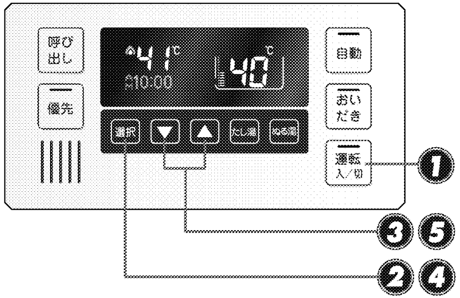


浴室リモコン優先のときは優先スイッチランプがオレンジ色に光ります。

使用方法 ⑬

ゆらぎのシャワーの使いかた

●浴室リモコンで操作します。
（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

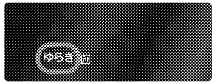


1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

● 点灯していない場合は、［運転入/切］スイッチを押します。

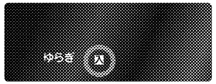
2 ［選択］スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて［選択］スイッチを押して「ゆらぎ」を表示させます。

浴室リモコン



〈選択画面〉

3 ［▼］または［▲］スイッチを押して、「入」を表示させます。



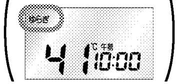
4 ［選択］スイッチを押します。

● **『設定しました』**とお知らせして設定が完了します。

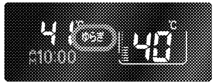
※［選択］スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると自動的に設定が完了します。

● 設定完了後に表示される「ゆらぎ」は約15分で自動的に消えます。

台所・増設リモコン



浴室リモコン

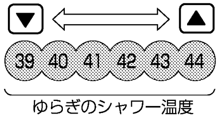


・高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

5 ［▼］または［▲］スイッチを押して、シャワーの温度を設定します。

● 設定できる温度は39℃～44℃の6段階です。

※給湯設定温度が右記以外のときに［▼］または［▲］スイッチを押すと、設定温度が35℃・37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。



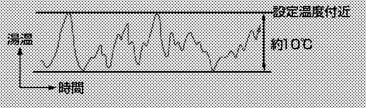
⚠警告

● 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
● やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
● 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
  ・妊娠中の方
  ・医者から入浴を禁じられている方
  ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
  ・高血圧の方／体力の弱っている方／体調の悪い方

⚠注意

● 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
● サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

・ゆらぎのシャワーとは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。
※給湯配管の条件によっては、上記の温度間より高めの温度や低めのお湯が出る場合があります。

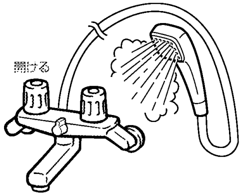


・湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止、全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。

6 シャワー栓を開いてゆらぎのシャワーを出します。

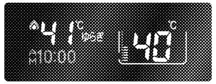
● ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は5で設定した温度のお湯が出ます。
● シャワー栓を閉めると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎの表示が消えます。

※ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。



台所・増設リモコン

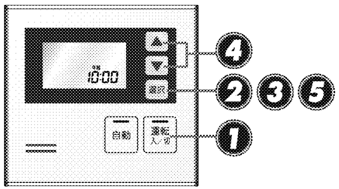
浴室リモコン



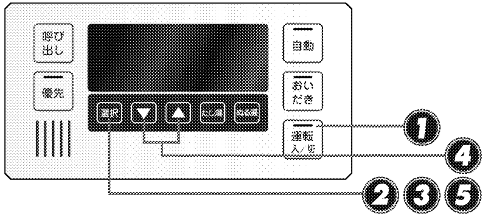
音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるには

●各リモコン別々に設定します。

(台所・増設リモコン)



(浴室リモコン)



1 運転スイッチのランプ(緑)が消灯していることを確認します。

- 点灯している場合は[運転 入/切]スイッチを押します。

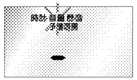
※運転「切」の状態でのみ設定できます。

2 [選択]スイッチを押します。

- 選択画面が表示されます。

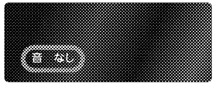
3 [選択]スイッチを押して、台所・増設リモコンの場合は「音量」を選択し、浴室リモコンの場合は音量設定画面を表示させます。

台所リモコン



〈選択画面〉

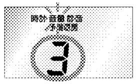
浴室リモコン

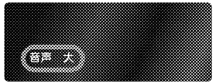


〈選択画面〉

- 台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。

4 [▼]または[▲]スイッチを押して、音量を変更します。





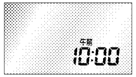
- 音声はお買い上げの際には中(標準)にセットされています。
  特に、音声と湯はり完了の音楽の音量については、下表のように変わります。

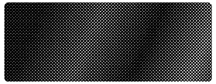
ローテーションします

[▼][▲]スイッチを押したときにお知らせする音声		台所・増設リモコンの表示	浴室リモコンの表示	音声	湯はり完了の音楽
[▲]を押す	(ピッ) 音声は大です	3	音声 大	大	大
初期設定	(ピッ) 音声は標準です	2	音声 中	中	中
[▼]を押す	(ピッ) 音声は小です	1	音声 小	小	小
[▼]を押す	(ピッ) 音声を消します	0	音声 消	なし	中 (ブザー音)
[▼]を押す	(ピッ) 音を消します	—	音 なし	なし	なし

- 音声および音を消しても、注意を喚起する音声およびブザー音だけは消すことはできません。ただし、増設リモコンについては「音なし」に設定するとブザー音は鳴りません。

5 [選択]スイッチを押します。





●各スイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。 ( )内は同時に出る電子音など、○○℃は設定される温度

	操作するスイッチ・条件など				浴室リモコンから出る音声	台所・増設リモコンから出る音声
浴室リモコンでの操作	運転(「入」にする)		給湯温度が60℃以外		(ピッ)	
			給湯温度が60℃のとき		(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
	優先	浴室→台所へ優先切替	給湯設定温度変化なし	台所60℃	(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)	
			給湯設定温度変化あり	台所60℃	(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更されました	給湯温度が変更されました
		台所→浴室へ優先切替	給湯設定温度変化なし	浴室60℃	(ピッ)あついお湯が出ます 給湯温度が変更できます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更できます	
			給湯設定温度変化あり	浴室60℃	(ピッ)あついお湯が出ます 給湯温度が変更できます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更できます	給湯温度が変更されました
	給湯温度[▲]		浴室リモコン優先のとき		(上がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度(60℃設定)				(上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	あついお湯が出ます
	給湯温度[▼]				(下がるメロディー) 給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度[▼]または[▲]		台所・増設リモコン優先のとき		給湯温度は変更できません	
	自動		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯はりをします	お湯はりをします
			湯はり終了5分前	音量設定大・中・小	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます
				音量設定音声消	(ピッピッピッと5回)	(ピッピッピッと5回)
			自動湯はり終了時	音量設定大・中・小	(音楽)おふろが沸きました	(音楽)おふろが沸きました
				音量設定音声消	(ピピピピッと5回)	(ピピピピッと5回)
	おいだき		スイッチを押したとき		(ピッ)おいだきをします	
	たし湯		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯をたします	
	ぬる湯		スイッチを押したとき		(ピッ)水をたします	
	ゆらぎのシャワー ※		[▼]または[▲]		(ピッ)	
	ふろ温度 ※		[▲]		(上がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
			[▼]		(下がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
	湯量 ※		[▲]		(上がるメロディー)	
			[▼]		(下がるメロディー)	
	ふろ保温時間・暖房 連動セルフクリーン ※		[▼]または[▲]		(ピッ)	
	音量 ※	[▲]を押す	音声 大		(ピッ)音声は大です	
		初期設定	音声 中		(ピッ)音声は標準です	
		[▼]を押す	音声 小		(ピッ)音声は小です	
		[▼]を押す	音声 消		(ピッ)音声を消します	
		[▼]を押す	音 なし		(ピッ)音を消します	
	呼び出し				(押している間ピーッピーッ)	(ピーッピピピピと5回)

	操作するスイッチ・条件など				台所・増設リモコンから出る音声	浴室リモコンから出る音声
台所・増設リモコンでの操作	運転(「入」にする)		給湯温度が60℃以外		(ピッ)	
			給湯温度が60℃のとき		(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
	給湯温度[▲]		台所・増設リモコン優先のとき		(上がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度(60℃設定)				(上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	あついお湯が出ます
	給湯温度[▼]				(下がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度[▼]または[▲]		浴室リモコン優先のとき		給湯温度は変更できません	
	自動		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯はりをします	お湯はりをします
			湯はり終了5分前	音量設定大・中・小	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます
				音量設定音声消	(ピッピッピッと5回)	(ピッピッピッと5回)
			自動湯はり終了時	音量設定大・中・小	(音楽)おふろが沸きました	(音楽)おふろが沸きました
				音量設定音声消	(ピピピピッと5回)	(ピピピピッと5回)
	ふろ温度 ※		[▲]		(上がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
			[▼]		(下がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
	湯量 ※		[▲]		(上がるメロディー)	
			[▼]		(下がるメロディー)	
	音量※	[▲]を押す	3		(ピッ)音声は大です	
		初期設定	2		(ピッ)音声は標準です	
		[▼]を押す	1		(ピッ)音声は小です	
		[▼]を押す	0		(ピッ)音声を消します	
		[▼]を押す			(ピッ)音を消します	
	時計設定・ふろ予約 ※		[▼]または[▲]		(ピッ)	
	静音・予備暖房 ※		[▼]または[▲]		(ピッ)	

※この操作項目は選択画面にして設定する項目です。[▼][▲]スイッチで変更する際に音声ガイダンスがある項目以外は、[選択]スイッチを押して設定確定後に『**設定しました**』とお知らせします。

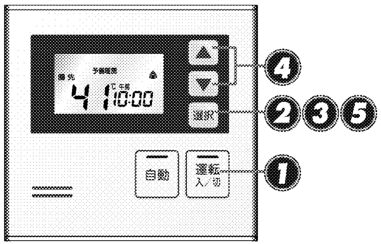
使用方法 ⑮

浴室暖房をするには

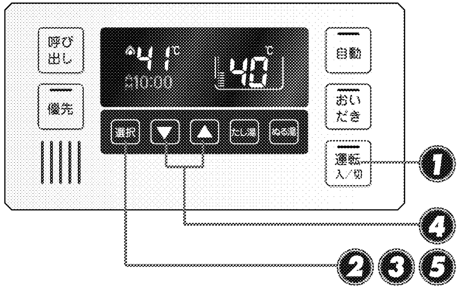
●どのリモコンでも操作できます。

●給湯暖房機のリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を開始することができます。

（台所・増設リモコン）



（浴室リモコン）



1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

●点灯していない場合は［運転入/切］スイッチを押します。

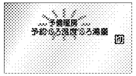
※台所リモコンでは運転「切」でも設定できます。

2 ［選択］スイッチを押します。

●選択画面が表示されます。

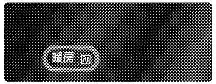
3 ［選択］スイッチを押して、台所・増設リモコンの場合は「予備暖房」を選択し、浴室リモコンの場合は「暖房」を表示させます。

台所・増設リモコン



〈選択画面〉

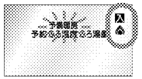
浴室リモコン

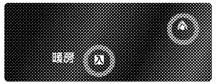


〈選択画面〉

●台所・増設リモコンでは、選択されているメニューは点滅します。

4 ［▼］または［▲］スイッチを押して、「入」を表示させます。



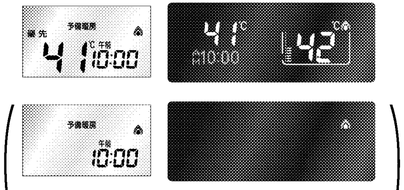


※暖房燃焼中は、表示画面に右図のような燃焼表示（ ）が出ます。

・135-R100・R190・R200・R290～R296・R350・R360・R370・R380・R390・R750・R760・R770・R780の場合、給湯と暖房の同時使用時温風温度が変動したり、若干低くなる場合があります。

※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

5 ［選択］スイッチを押します。



（運転スイッチが「切」の場合）

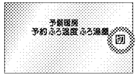
●『**設定しました**』とお知らせして設定が完了します。

※［選択］スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると自動的に設定が完了します。

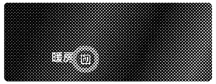
※給湯暖房機のリモコンで予備暖房運転を行うためには、システムに対応した給湯暖房機と浴室暖房乾燥機が必要です。

6 浴室暖房をやめたいときは

台所・増設リモコン



浴室リモコン



●前ページの 1 ～ 3 の操作を行い、［▼］または［▲］スイッチを押して「切」を表示します。

※浴室暖房の「入」「切」の設定はリモコンの［運転入/切］スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。

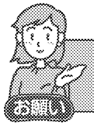
■浴室暖房乾燥機の温度調節は？

・このリモコンでは浴室暖房乾燥機の暖房運転の「入」「切」のみ行うことができます。温度調節その他の設定は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。

・このリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を「入」にした場合、ワイヤレスタイプの浴室暖房乾燥機のリモコンには何も表示されず「切」のままになっています。温度調節などを行いたい場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンの運転スイッチも「入」にしてから行ってください。

■予備暖房運転とは？

・冬期の一番ぶろのように浴室が冷えているとき、あらかじめ入浴前に予備暖房（温風によって浴室を暖める）をしておくと、入浴時に感じる肌寒さをやわらげてくれます。



・運転開始は入浴される約30分前から行ってください。

・予備暖房時間は、浴室の種類や大きさ・気温や湿度によって異なります。浴室暖房乾燥機のリモコンで設定調整してください。

■浴室暖房以外の暖房の使いかたは？
放熱器や床暖房リモコンで操作します。

⚠警告

●パネルヒーターの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

●床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。
特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
・疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
・皮膚や皮膚感覚の弱い方

⚠注意

●床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。

●カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。

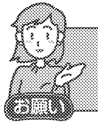
暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、温度調節つまみをお好みの温度にします。（放熱器（暖房）の取扱説明書もご覧ください）

●暖房運転中は表示画面にふろ燃焼表示（ ）が点灯します。（時刻表示は台所リモコン設置時のみ）

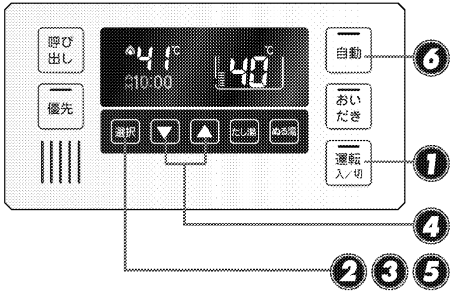
使用方法 ⑯ 浴室暖房をふろ自動運転と連動するには

●浴室リモコンで設定します。
（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

● ふろ湯はり運転を開始すると同時に、浴室暖房乾燥機の暖房運転を開始（連動）することができます。



お願い
浴室暖房乾燥機の暖房時間の変更については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書をご覧ください。



1 運転スイッチのランプ（緑）が点灯していることを確認します。

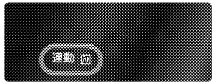
● 運転「切」でも設定することができます。

2 選択スイッチを押します。

● 選択画面が表示されます。

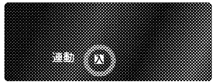
3 選択スイッチを押して、「連動」を表示させます。

浴室リモコン



〈選択画面〉

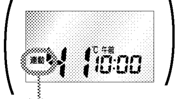
4 ▼または▲スイッチを押して、「入」を表示させます。



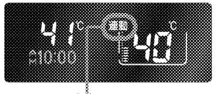
5 選択スイッチを押します。

● 『**設定しました**』とお知らせして、設定が完了します。
※ 選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると、自動的に設定が完了します。

台所・増設リモコン



浴室リモコン



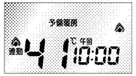
※浴室暖房をふろ自動運転と連動するには、システムに対応した浴室暖房乾燥機が必要です。
● 連動スイッチの設定は、リモコンの運転スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。
● 再度「切」にするときは 1 ～ 3 の操作を行った後で、▼または▲スイッチを押して「切」にしてください。

・おふろを沸かすときは、浴槽に排水栓とフタをしてから、次ページの 6 の操作を行ってください。（次ページの 6 の操作は台所・増設リモコンでも行えます）

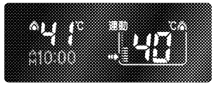
6 自動 スイッチを押します。

● 『**お湯はりをします**』とお知らせして、浴槽に湯はりを始めます。
● 浴室暖房乾燥機も運転を開始します。
※浴室暖房運転は自動運転終了（自動スイッチのランプ消灯）または浴室暖房乾燥機のリモコンで設定された時間が経過すると終了します。自動運転の長さは保温時間（20ページ参照）で決まります。

台所・増設リモコン



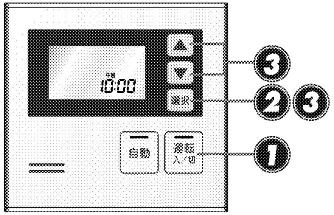
浴室リモコン



※途中で止めたいときには、浴室暖房乾燥機のリモコンを「切」にするか、35ページの「浴室暖房をするには」の手順に従って操作し、4 の手順で「切」を表示させて、浴室暖房運転を「切」にしてください。
● 連動スイッチの設定を「入」の状態で 1 と 6 の操作を行うと、ふろ自動運転と連動して毎回浴室暖房運転を行います。

使用方法 ⑰ 暖房の運転音を下げるには

●台所リモコンで設定します。



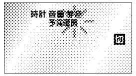
1 運転スイッチのランプ（緑）が消灯していることを確認します。

● 点灯している場合は 運転入/切 スイッチを押します。
※運転「切」の状態でのみ設定できます。

2 選択スイッチを押して、選択画面を表示させます。続けて選択スイッチを押して「静音」を選択します。

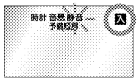
● 選択されているメニューは点滅します。

台所・増設リモコン



〈選択画面〉

3 ▼または▲スイッチを押して、「入」を表示させ、選択スイッチを押します。



● 『**設定しました**』とお知らせして設定が完了します。
※ 選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分経過すると自動的に設定が完了します。
● 設定を解除するときは 1 ～ 3 の操作を行った後で、▼または▲スイッチを押して「切」にしてください。

（運転スイッチが「入」の場合）

・通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、「入」にすることで暖房能力を少し低下させて熱源機の運転音を下げることができます。ただし、暖房能力が低下したぶんだけ暖房の立ち上がりは悪くなります。

冬期の凍結による破損防止について

●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

⚠注意

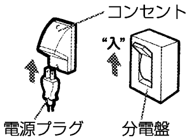
- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（－15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その❶では凍結予防ができなくなります。このような場合には、対策その❷、その❸の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

対策その1　凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

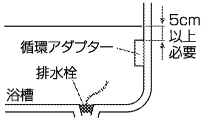
- この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（ふろ・暖房側）が組み込まれています。

■お客様に行っていただきたいこと

1.電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
- 抜けているとヒータ・ポンプとも作動しませんのでご注意ください。



2.浴槽の残り湯が循環アダプターより5cm以上、上にある状態にしておいてください。
- 機器が外気温を感知し、自動的にポンプ運転を行います。



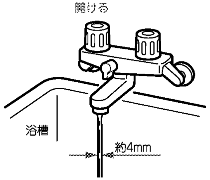
対策その2　給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、ふろ・暖房側はポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その❶同様電源プラグをコンセントから抜かず、浴槽の循環アダプターより5cm以上上まで残り湯があることを確認してください。

■操作のしかた

- リモコンの運転スイッチを『切』にします。
- ガス栓が全開になっていることを確認してください。（暖房の凍結予防のため）
- 浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。

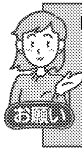
※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。



（シャワーから水を流す場合、シャワーヘッドは浴槽にたまった水につからない位置に置いてください。）

⚠注意

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。



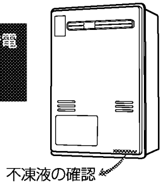
暖房の凍結予防について
・外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。（電源プラグをコンセントから抜かないでください）
・「☼」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
・暖房の凍結予防運転中は排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

対策その3　水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを『切』にする）ときのみ行ってください。
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。



不凍液が入っている場合は、「不凍液が入っています」というラベルが張ってあります。

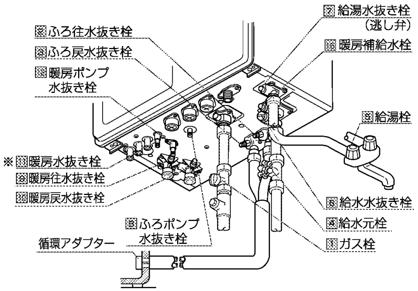
■給湯側・ふろの順で行います。

1.給湯側の水抜き

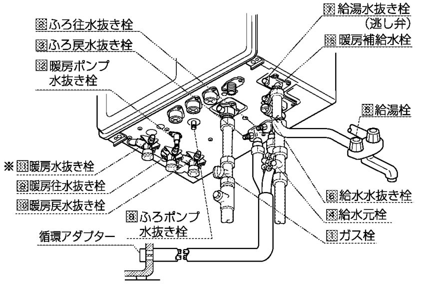
①ガス栓①を閉めてください。
②給水元栓④を閉めてください。
③給湯栓⑤をすべて（シャワーなどを含む）開けてください。
④給水水抜き栓⑥・給湯水抜き栓⑦⑰（⑰は135-R350・R360・R370・R380・R750・R760・R770・R780以外）を左に回してはずしてください。

135-R350・R360・R370・R380・R750・R760・R770・R780型

（熱動弁内蔵タイプ）



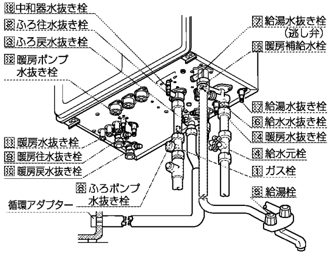
（熱動弁外付けタイプ）



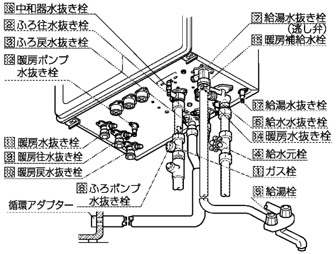
冬期の凍結による破損防止について

135-R160〜R166・R170〜R176・R180〜R186型

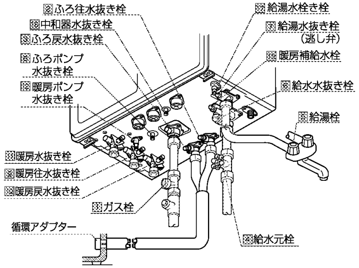
(熱動弁内蔵タイプ)



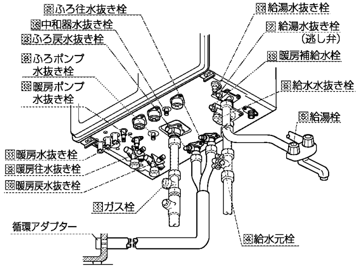
(熱動弁外付けタイプ)



135-R100・R190・R200・R390型

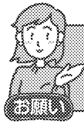


135-R290〜R296型



2.ふろ側の水抜き

①ガス栓1を開けてください。
②給水元栓4が閉めてあることを確認してください。
③浴槽の水を完全に排水してください。
④浴室リモコン運転スイッチを押して(『入』にする)ください。※表示画面が点灯します。
⑤浴室リモコンのおいだきスイッチを押して(『入』にする)、浴槽の循環アダプターから水(お湯)が出てくることを確認してください。
⑥排水が止まったら再度おいだきスイッチを押して(『切』にする)ください。
※すぐに排水が止まった場合でも、最初においだきスイッチを押してから約3分はそのままにしておいてください。
※排水運転のまま数分間放置すると表示画面に故障表示が点滅する場合がありますが、異常ではありません。
⑦ふろ往水抜き栓2・ふろ戻水抜き栓3・ふろポンプ水抜き栓8を左に回してはずしてください。
⑧中和器水抜き栓16を左に回してはずしてください。(135-R350・R360・R370・R380・R750・R760・R770・R780以外)
⑨ガス栓1を閉めてください。



・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまで給湯栓や水抜き栓は開けたままにしておいてください。
・ふろの水抜きを行った後は、浴槽に水を流し込まないでください。

▩暖房側の水抜き

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを『切』にする)ときのみ行ってください。
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。
①ガス栓1が閉めてあることを確認してください。
②給水元栓4が閉めてあることを確認してください。
③暖房水抜き栓9・10・11・14(14は135-R160〜R166・R170〜R176・R180〜R186のみ)・暖房ポンプ水抜き栓12を左に回してはずしてください。
※リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。
④電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを「切」にしてください)

《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

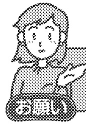
1. 機器給湯側に通水してください。

①給湯栓5をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
②給水水抜き栓6・給湯水抜き栓7・17(17は135-R350・R360・R370・R380・R750・R760・R770・R780以外)を閉めてください。
③給水元栓4を全開にしてください。
④給湯栓5を開け通水を確認した後、給湯栓5を閉めてください。

2. 機器ふろ側に通水してください。

①ふろ往水抜き栓2・ふろ戻水抜き栓3・ふろポンプ水抜き栓8をすべて閉めてください。
②暖房水抜き栓9・10・11・14(14は135-R160〜R166・R170〜R176・R180〜R186のみ)・暖房ポンプ水抜き栓12をすべて閉めてください。
③中和器水抜き栓16を閉めてください。(135-R350・R360・R370・R380・R750・R760・R770・R780以外)
④電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを『入』にしてください)
⑤ガス栓1を全開にしてください。
⑥リモコンの自動スイッチを押す(『入』にする)と自動的に注水されます。
※表示画面に給湯燃焼表示が点灯し、浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認してください。
⑦もう一度自動スイッチを押す(『切』にする)と、湯はりを中止します。
※通水後初めて暖房・自動・おいだきを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は暖房水抜き栓9・10・11・14(14は135-R160〜R166・R170〜R176・R180〜R186のみ)や暖房ポンプ水抜き栓12が閉まっていることを確認し電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。

▩暖房回路の通水操作は特に必要ありません。
端末を操作して暖房運転をすれば自動的に通水されます。



再度使う場合の《通水》は、給湯側から行ってください。

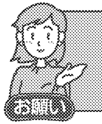
点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- **安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。**
- **お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷めてから行ってください。**
- **フロントカバーなどは決してはずさないでください。**

点検・お手入れのしかた

▩点検…次のことにご注意ください。



水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器のまわりや排気口・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせてください。
- 定期点検のおすすめ（有料）
  ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。
  なお、給水用具（逆流防止装置）については、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4年～6年に1回程度をおすすめします。
  点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

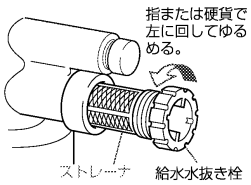
●不凍液の点検と交換(有料)
- 不凍液は1年に1回は濃度や汚れなどの点検を、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ依頼してください。
- 不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要です。交換のめやすは約2年に1回です。

※不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

▩お手入れ方法は

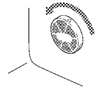
- **機器やリモコン**の表面が汚れたときは、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。台所・増設リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
- 給水水抜き栓先端の**ストレーナ**にゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

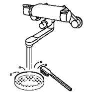


- **機器の給気口**(フロントカバーの穴)がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。
- フィルターのお手入れは
  フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。
  ※リモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
  ※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。はずしたままや正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

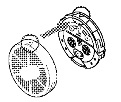
1 循環アダプターのフィルターを左に回して外す。



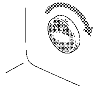
2 歯ブラシなどで水洗いする。



3 △同士を合わせてはめ込む。



4 右に止まるまで回して固定する。



（循環アダプターの形状は、上図と異なる場合があります）

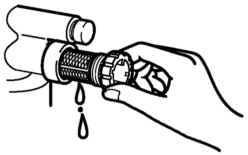
長期間使用しない場合は

長期間使用しない場合は次のことを行ってください。

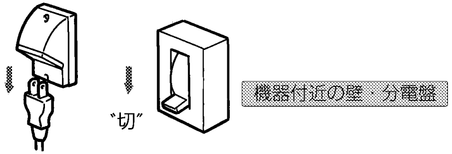
1 ガス栓を閉めます。

2 給水元栓を閉めます。

3 機器の水抜きをします。（40～42ページ参照）



4 電源プラグを抜きます。（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）



⚠警告

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

「温度」に関する内容

こんなとき	点検項目	参照ページ
給湯栓を開いてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 断水していませんか？ 給湯栓は十分に開いていますか？ ガスメータ（マイコンメータ）がガスをしゃ断していませんか？ ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？ 水抜き栓のストレーナにゴミなどが詰まっていませんか？ 凍結していませんか？ 運転スイッチは「切」になっていませんか？	 (43ページ)
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。	
低温のお湯が出ない	ガス栓・給水栓が全開になっていますか？ 給湯温度設定は適切ですか？ お湯の量を絞っていませんか？ 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。 夏期などの水温が高いときには、設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが、異常ではありません。	 (29・30ページ)
高温のお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 給湯温度設定は適切ですか？ 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉めてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。 自動運転の湯はり中やたし湯運転中に台所などでお湯を使うと、リモコンの表示はそのままでふろ設定温度のお湯が出ます。また、湯はり・たし湯運転終了後も一旦お湯の使用をやめるまでは、やけど防止のためふろ設定温度のお湯がでます。	 (29・30ページ)
給湯栓を絞ると水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯が出ます。	
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンの優先ランプは点灯していますか？	(30ページ)
ふろ設定温度どおりに沸き上がらない	ふろ温度設定は適切ですか？ 浴槽の循環アダプターのフィルタにゴミや毛髪が詰まっていませんか？ お湯はり中にふろ温度を低く設定しなおした場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。	 (43ページ)
暖房運転中、放熱器が止まったり温度が下がったりする	おいだき中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。 放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	
ゆらぎのシャワーができない ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。	
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか？ 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障（水量制御装置）ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	(31・32ページ)

「湯はり・湯量」に関する内容

こんなとき	理　由	参照ページ
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。	
湯はりの量が設定した湯量にならない	浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？ 湯はり量の設定は適切ですか。 浴槽の残り湯がある状態で湯はり運転をすると、その分だけ水位が高くなります。 おふろの排水栓はしっかりと閉めてありますか。 おふろの自動運転が完了しないうちに自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。 〈全自動タイプの場合〉 上記を確認しても、設定した湯量にならない場合、50ページの手順で記憶している浴槽のデータを消去後、自動運転を行い、再度記憶させてください。	(43ページ) (21・22ページ)
オーバーフロー口からお湯が少しの間出ることがある	断水の後や機器の水抜きをした後に再度ご使用の場合、少しの間お湯が出ることがありますが異常ではありません。ただし、連続して出続ける場合は、機器の故障が考えられますので、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。	

「音」に関する内容

こんなとき	理　由	参照ページ
出湯停止後しばらくの間ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、出湯停止後もしばらく回転しています。	
浴槽の循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がすることがある	おいだき配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。	
ポンプの回転音（ウーン）がする	おいだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 おふろの自動沸かしの予約時、予約時刻の約30分前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴槽の水を循環させます。 長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。（1カ月ごと）	
リモコンの運転スイッチ「入」「切」や給湯栓の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音がする	再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。異常ではありません。	
暖房運転中や停止後およびふろのおいだきのあと、しばらくするとモータが動く音（ブーン）がする。	再使用時に備えて機器が作動している音です。異常ではありません。	

故障かな？と思ったら

「リモコン」に関する内容

こんなとき	理　由	参照ページ
運転ランプが点灯しない	停電していませんか？ 電源プラグが差し込まれていますか？ 機器内の漏電安全装置が作動していませんか。一旦分電盤の専用スイッチを「切」にしてから再度「入」にするか、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから再操作してください。	
リモコンの時刻表示が「-:--」になっている	停電後、再通電すると台所リモコンの表示画面の時刻が「午前 午後 -:--」になります。再度設定しなおしてください。	（15ページ）
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。	（29・30ページ）
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	セーブモードの設定にしてある場合、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えます。（16ページ） 再使用したりいずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。	（16ページ）
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない	表示の節電（セーブモード）がはたらいているときに[▼][▲][運転入/切]スイッチを押すと、いったん表示節電画面から給湯温度表示画面に戻り、もう1度押すとそのスイッチの動作をします。（16ページ） 運転スイッチの「入」・「切」は、運転スイッチのランプ（緑）の点灯・消灯で確認してください。	（16ページ）

その他

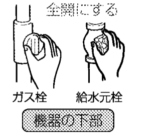
こんなとき	理　由	参照ページ
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	（49ページ）
使用中に消火した	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 断水していませんか？ 給湯栓は十分に開いていますか？ ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していませんか？ ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？	
排気口・排気筒トップから白い湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように、燃焼排ガス中の水蒸気が白い湯気に見えますが、故障ではありません。特に高効率タイプの機器ではこの現象が多く起こります。また、お湯を使っていなくても、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。	
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違ってまったく無害なものです。	
自動運転の湯はり完了まで通常より時間がかかる	おふろの自動運転中にお湯を使った場合、お湯はりに使うお湯の一部を給湯で使うため、お湯はりに時間がかかります。 また、夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量（水位）まで水はり後おいだき運転を行うことがあるため、沸き上げるのに時間がかかることがあります。	
おいだきができない おいだき中に消火した	浴槽の循環アダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？ 浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？	（43ページ）
浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。	
おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯が出る	浴槽のお湯（水）を排水したあと、「セルフクリーン機能」がはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。	（26ページ）
おいだき配管の「セルフクリーン機能」がはたらかない	次の場合は「セルフクリーン」ははたらきません。 ・運転スイッチ「切」の場合 ・ふろ自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・おいだき運転で水からおふろを沸かし上げたあと ・洗濯注湯ユニットの使用中または使用したあと （注湯のモードによっては、はたらく場合もあります）	
逃し弁（40・41ページの図中の⑦）からお湯（水）が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきによって逃し弁から水滴が落ちることがあります。	
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	給水配管が新しい場合や水質によっては、微量の銅イオンがお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青く着色することがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤などで洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。	

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

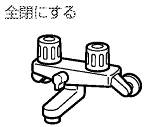
故障かな？と思ったら

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下図のような故障表示が点滅します。
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

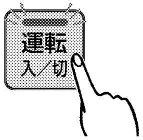
1. ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認します。



2. お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

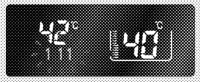
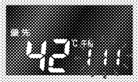


3. 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



4. 再び使用してみてください。

● 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

	表示画面 浴室リモコン	表示画面 台所リモコン	運転スイッチ
138-R310 138-R315 138-R311			

故障表示	使用状態
032	自動 おいだき たし湯 ぬる湯
101	給湯 自動
103	自動 おいだき 暖房
111	給湯 自動 たし湯
113	自動 おいだき 暖房
121	給湯 自動 たし湯
123	自動 おいだき 暖房
140	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯
161	給湯 自動 （おいだき） たし湯
163	自動 おいだき 暖房

故障表示	使用状態
173	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
190	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
252	自動
290	給湯・自動 おいだき たし湯 暖房
310	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
312	自動 おいだき 暖房
313	自動 おいだき 暖房
321	給湯 自動 （おいだき） たし湯
322	自動 おいだき 暖房
323	自動 おいだき 暖房

故障表示	使用状態
331	給湯 自動 たし湯
393	自動 おいだき 暖房
432	自動
433	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
502	自動 たし湯 ぬる湯
520	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
521	給湯 自動 たし湯
523	自動 おいだき 暖房
543	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
610	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房

故障表示	使用状態
611	給湯・自動 おいだき たし湯 暖房
613	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
632	自動 おいだき
643	自動 おいだき 暖房
651	給湯 自動 たし湯 ぬる湯
661	給湯 自動 たし湯
662	自動 たし湯 ぬる湯 暖房
710	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
721	給湯 自動 （おいだき） たし湯
723	（給湯・たし湯） 自動 おいだき 暖房

故障表示	使用状態
901	給湯 自動
991	給湯 自動
920	給湯・自動 おいだき たし湯 暖房
930	給湯・自動 おいだき たし湯 暖房
903	自動 おいだき 暖房
993	自動 おいだき 暖房

101・103を表示しているときは、お湯や暖房を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態となります。また、920を表示している場合についても、しばらくの期間はお湯や暖房を使用できますが、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

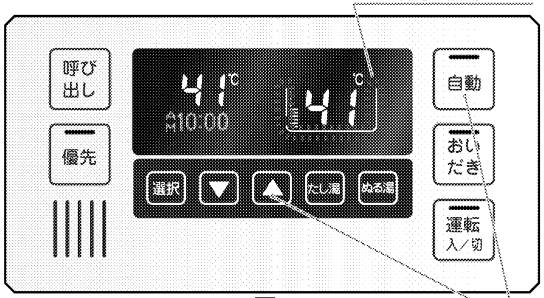
機器移設の再設定

全自動タイプをお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の▲スイッチを1秒以上押しながら、▭スイッチを押し続けてください。
記憶内容が消去され、スイッチを押している間は下図のように表示画面の浴槽のマークが点滅します。

この部分が点滅します。



▲スイッチを1秒以上押しながら ▭ スイッチを押す。
（運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」、通常表示状態で操作）

2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。
浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くかかったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

4. 自動スイッチを押す（「入」にする）と自動湯はりが開始されます。
運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。
運転中何回か停止しますが異常ではありません。

自動運転のはたらき（例）

自動スイッチ「入」 → 湯はり 開始 → 湯はり 停止 ポンプ 循環 → ポンプ 停止 湯はり 開始 → 湯はり 停止 おいだき 開始 → おいだき 終了 保温表示 点灯

循環アダプターより水位が高くなるまで、繰り返し

試運転の終了まで20〜30分かかります。

5. 表示画面に保温表示が点灯すれば試運転完了です。これで浴槽サイズと水位が記憶されました。そのまま保温運転を続ける必要がない場合は、もう一度自動スイッチを押して、自動スイッチのランプ（赤）を消灯させてください。

注）試運転は最後まで確実に行ってください。途中で止めてしまうと、正しい浴槽サイズが記憶されません。

主な仕様・能力表

項目		仕様
品名	全自動タイプ	135-R100
	自動タイプ	135-R200
型名	全自動タイプ	RUFH-K2403AW2-1
	自動タイプ	RUFH-K2403SAW2-1
型式名		RUFH-K2403AW(SAW)
設置方式		屋外壁掛設置
外形寸法(mm)		幅 480 ×奥行 250 ×高さ 750
質量(kg)		45
温度調節	給浴室	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃）
	湯台所	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃）
	ふろ	温度設定可変型（約 37℃ ~約 48℃）
	暖房	2 温度型（約 80℃ および約 60℃）
点火方式		AC100V 連続放電式（ダイレクト点火）
接続	ガス	12A/13 A：20A(R3/4)、LPG：15 A(R1/2)
	給水・給湯	20A(R3/4)
	暖房（往・戻）	QF16 ジョイント用継手
	ふろ（往・戻）	QF16 ジョイント用継手
	排水	15A(R1/2)
電気関係	電源	AC100V
	リモコン側	DC24V 以下
	消費電力 W (50/60Hz) 待機時	2.1
	消費電力 W (50/60Hz) 同時使用	240/290
	消費電力 W (50/60Hz) 凍結予防運転	265（凍結予防ヒーターのみ）、530（凍結予防運転時最大）
	電源ケーブル リモコンケーブル	VCT/VCT または VCTF(2 心)
安全装置		立消え安全装置　空だき安全装置　空だき防止装置　沸騰防止装置 過熱防止装置　過電流安全装置　過圧防止安全装置　ファン回転検出装置 漏電安全装置　凍結予防装置　停電安全装置　誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ（13A・12A 共通）		1 時間当たりのガス使用量：kW　（　）内は kcal/h				出湯能力（能力最大）：L/min	
		最大同時使用時	給湯	暖房・ふろ同時使用時	暖房	25℃ 上昇	40℃ 上昇
都市ガス用	13A	57.8 (49,700)	44.2 (38,000)	15.0(12,900)	13.7(11,800)	24.0	15.0
	12A	53.9 (46,300)	41.2 (35,400)	14.0(12,000)	12.8(11,000)	22.3	13.9
LP ガス用		57.8kW(4.14 kg/h)	44.2kW(3.16 kg/h)	15.0kW(1.08 kg/h)	13.7kW(0.979 kg/h)	24.0	15.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

項目		仕様
品名	全自動タイプ	135-R190
	自動タイプ	135-R390
型名	全自動タイプ	RUFH-K1613AW2-1(A)
	自動タイプ	RUFH-K1613SAW2-1(A)
型式名		RUFH-K1613AW(SAW)
設置方式		屋外壁掛設置
外形寸法(mm)		幅 480 ×奥行 250 ×高さ 750
質量(kg)		45
温度調節	給浴室	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃）
	湯台所	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃）
	ふろ	温度設定可変型（約 37℃ ~約 48℃）
	暖房	2 温度型（約 80℃ および約 60℃）
点火方式		AC100V 連続放電式（ダイレクト点火）
接続	ガス	20A(R3/4)
	給水・給湯	15A(R1/2)
	暖房（往・戻）	QF16 ジョイント用継手
	ふろ（往・戻）	QF16 ジョイント用継手
	排水	15A(R1/2)
電気関係	電源	AC100V
	リモコン側	DC24V 以下
	消費電力 W (50/60Hz) 待機時	2.1
	消費電力 W (50/60Hz) 同時使用	245/295
	消費電力 W (50/60Hz) 凍結予防運転	265（凍結予防ヒーターのみ）、530（凍結予防運転時最大）
	電源ケーブル リモコンケーブル	VCT/VCT または VCTF(2 心)
安全装置		立消え安全装置　空だき安全装置　空だき防止装置　沸騰防止装置 過熱防止装置　過電流安全装置　過圧防止安全装置　ファン回転検出装置 漏電安全装置　凍結予防装置　停電安全装置　誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ（13 A·12A 共通）		1 時間当たりのガス使用量：kW　（　）内は kcal/h				出湯能力（能力最大）：L/min	
		同時使用時	給湯	暖房・ふろ同時使用時	暖房	25℃ 上昇	40℃ 上昇
都市ガス用	13A	43.5(37,400)	29.8(25,600)	15.0(12,900)	13.7(11,800)	16.0	10.0
	12A	40.6(34,900)	27.8(23,900)	14.0(12,000)	12.8(11,000)	15.0	9.4

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

主な仕様・能力表

品名 / 型名 / 型式名					
品名	自動タイプ	135-R290	135-R294	135-R292	135-R296
型名	自動タイプ	RUFH-K1613SAW2-3(A)	RUFH-K1613SAA2-3(A)	RUFH-K1613SAT2-3(A)	RUFH-K1613SAU2-3(A)
型式名		RUFH-K1613AW(SAW)	RUFH-K1613AA(SAA)	RUFH-K1613AT(SAT)	RUFH-K1613AU(SAU)
設置方式		屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	屋外壁掛設置またはPS（扉内）アルコーブ設置	屋外壁掛設置またはパイプシャフト（扉内）設置 前方排気型	上方排気型
外形寸法（mm）		幅480×奥行250×高さ750			
質量（kg）		45			
温度調節	給湯 浴室	湿度設定可変型（約35℃・約37℃～約48℃・約50℃・約60℃）			
温度調節	給湯 台所	湿度設定可変型（約35℃・約37℃～約48℃・約50℃・約60℃）			
温度調節	ふろ	湿度設定可変型（約37℃～約48℃）			
温度調節	暖房	2温度型（約80℃および約60℃）			
点火方式		AC100V連続放電式（ダイレクト点火）			
接続	ガス	20A(R3/4)			
接続	給水・給湯	15A(R1/2)			
接続	暖房（往・戻）	QF16ジョイント用継手、低温往：QFジョイント用継手			
接続	ふろ（往・戻）	QF16ジョイント用継手			
接続	排水	15A(R1/2)			
電気関係	電源	AC100V			
電気関係	リモコン側	DC24V以下			
電気関係	消費電力W(50/60Hz) 待機時	2.1			
電気関係	消費電力W(50/60Hz) 同時使用	245/295	260/310	255/305	260/310
電気関係	消費電力W(50/60Hz) 凍結予防運転	265（凍結予防ヒーターのみ）、530（凍結予防運転時最大）			
電気関係	電源ケーブル リモコンケーブル	VCT/VCTまたはVCTF(2心)			
安全装置		立消え安全装置　空だき安全装置　空だき防止装置　沸騰防止装置 過熱防止装置　過電流安全装置　過圧防止安全装置　ファン回転検出装置 漏電安全装置　凍結予防装置　停電安全装置　誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置			

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ（13A·12A共通）		1時間当たりのガス使用量：kW（ ）内はkcal/h				出湯能力（能力最大）：L/min	
		同時使用時	給湯	暖房·ふろ同時使用時	暖房	25℃上昇	40℃上昇
都市ガス用	13A	43.5(37,400)	29.8(25,600)	15.0(12,900)	13.7(11,800)	16.0	10.0
都市ガス用	12A	40.6(34,900)	27.8(23,900)	14.0(12,000)	12.8(11,000)	15.0	9.4

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名 / 型名 / 型式名						
品名	全自動タイプ	135-R160	135-R164	135-R162	135-R165	135-R166
品名	自動タイプ	135-R170	135-R174	135-R172	135-R175	135-R176
品名	自動タイプ	135-R180	135-R184	135-R182	135-R185	135-R186
型名	全自動タイプ	RUFH-K1611AW2-1	RUFH-K1611AA2-1	RUFH-K1611AT2-1	RUFH-K1611AB2-1	RUFH-K1611AU2-1
型名	自動タイプ	RUFH-K1611SAW2-3	RUFH-K1611SAA2-3	RUFH-K1611SAT2-3	RUFH-K1611SAB2-3	RUFH-K1611SAU2-3
型名	自動タイプ	RUFH-K1611SAW2-1	RUFH-K1611SAA2-1	RUFH-K1611SAT2-1	RUFH-K1611SAB2-1	RUFH-K1611SAU2-1
型式名		RUFH-K1611AW(SAW)	RUFH-K1611AA(SAA)	RUFH-K1611AT(SAT)	RUFH-K1611AB(SAB)	RUFH-K1611AU(SAU)
設置方式		屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	屋外壁掛設置またはPS（扉内）アルコーブ設置 側方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト（扉内）設置 前方排気型	パイプシャフト（扉内）設置 後方排気型	屋外壁掛設置またはパイプシャフト扉内設置 上方排気型
外形寸法（mm）		幅480×奥行250×高さ750				
質量（kg）		50				
温度調節	給湯 浴室	湿度設定可変型（約35℃・約37℃～約48℃・約50℃・約60℃）				
温度調節	給湯 台所	湿度設定可変型（約35℃・約37℃～約48℃・約50℃・約60℃）				
温度調節	ふろ	湿度設定可変型（約37℃～約48℃）				
温度調節	暖房	2温度型（約80℃および約60℃）				
点火方式		AC100V連続放電式（ダイレクト点火）				
接続	ガス	20A(R3/4)				
接続	給水・給湯	15A(R3/4)				
接続	暖房（往・戻）	135-R170～R176の低温往：QFジョイント用継手、左記以外：QF16ジョイント用継手				
接続	ふろ（往・戻）	QF16ジョイント用継手				
接続	排水	15A(R1/2)				
電気関係	電源	AC100V				
電気関係	リモコン側	DC24V以下				
電気関係	消費電力W(50/60Hz) 待機時	3.7				
電気関係	消費電力W(50/60Hz) 同時使用	225/280				
電気関係	消費電力W(50/60Hz) 凍結予防運転	170（凍結予防ヒーターのみ）、370（凍結予防運転時最大）				
電気関係	電源ケーブル リモコンケーブル	VCT/VCTまたはVCTF(2心)				
安全装置		立消え安全装置　空だき安全装置　空だき防止装置　沸騰防止装置 過熱防止装置　過電流安全装置　過圧防止安全装置　ファン回転検出装置 漏電安全装置　凍結予防装置　停電安全装置　誘導雷保護装置 中和器詰まり検知装置				

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ（13A 12A共通）		1時間当たりのガス使用量：kW（ ）内はkcal/h			出湯能力（能力最大）：L/min	
		同時使用時	給湯	暖房	25℃上昇	40℃上昇
都市ガス用	13A	46.2 (39,700)	29.8 (25,600)	16.4(14,100)	16.0	10.0
都市ガス用	12A	43.1 (37,100)	27.8 (23,900)	15.3(13,200)	15.0	9.4

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

主な仕様・能力表

項目			135-R350	135-R360	135-R370	135-R380
品名	全自動タイプ		135-R350	135-R360	135-R370	135-R380
型名	全自動タイプ		RVD-A2400AW2-3	RVD-A2400AW2-1	RVD-A2400SAW2-3	RVD-A2400SAW2-1
型式名			RVD-A2400AW(SAW)			
設置方式			屋外壁掛設置			
外形寸法（mm）			幅 470 ×奥行 240 ×高さ 600			
質量（kg）			33.5			
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃）			
温度調節	給湯	台所	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃）			
温度調節	ふろ		温度設定可変型（約 37℃～約 48℃）			
温度調節	暖房		2 温度タイプ（約 80℃ および約 60℃）			
点火方式			AC100V 連続放電式（ダイレクト点火）			
接続	ガス		12A/13A：20A(R3/4)、LPG：15A(R1/2)			
接続	給水・給湯		20A(R3/4)			
接続	暖房（往・戻）		135-R350・R370 の低温往：QF ジョイント用継手、左記以外：QF16 ジョイント用継手			
接続	ふろ（往・戻）		QF16 ジョイント用継手			
電気関係	電源		AC100V			
電気関係	リモコン側		DC24V 以下			
電気関係	消費電力 W (50/60Hz)	待機時	2.1			
電気関係	消費電力 W (50/60Hz)	同時使用	240/290			
電気関係	消費電力 W (50/60Hz)	凍結予防運転	220（凍結予防ヒーターのみ）、480（凍結予防運転時最大）			
電気関係	電源ケーブル		VCT/VCT または VCTF(2 心)			
電気関係	リモコンケーブル		VCT/VCT または VCTF(2 心)			
安全装置			立消え安全装置、過熱防止装置、漏電安全装置、空だき安全装置、過電流安全装置、凍結予防装置、空だき防止装置、過圧防止安全装置、停電安全装置、沸騰防止装置、ファン回転検出装置、誘導雷保護装置			

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ（13A・12A 共通）		1 時間当たりのガス使用量：kW （ ）内は kcal/h			出湯能力（能力最大）：L/min	
		同時使用時	給湯	暖房	25℃ 上昇	40℃ 上昇
都市ガス用	13A	63.7(54,800)	50.0(43,000)	13.7(11,800)	24.0	15.0
都市ガス用	12A	59.4(51,100)	46.6(40,100)	12.8(11,000)	22.3	13.9
LP ガス用		63.7(4.55kg/h)	50.0(3.57kg/h)	13.7(0.98kg/h)	24.0	15.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

項目			135-R750	135-R760	135-R770	135-R780
品名	全自動タイプ		135-R750	135-R760	135-R770	135-R780
型名	全自動タイプ		RVD-A1610AW2-3	RVD-A1610AW2-1	RVD-A1610SAW2-3	RVD-A1610SAW2-1
型式名			RVD-A1610AW(SAW)			
設置方式			屋外壁掛設置			
外形寸法（mm）			幅 470 ×奥行 240 ×高さ 600			
質量（kg）			33.5			
温度調節	給湯	浴室	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃）			
温度調節	給湯	台所	温度設定可変型（約 35℃・約 37℃～約 48℃・約 50℃・約 60℃）			
温度調節	ふろ		温度設定可変型（約 37℃～約 48℃）			
温度調節	暖房		2 温度タイプ（約 80℃ および約 60℃）			
点火方式			AC100V 連続放電式（ダイレクト点火）			
接続	ガス		12A/13A：20A(R3/4)、LPG：15A(R1/2)			
接続	給水・給湯		15A(R1/2)			
接続	暖房（往・戻）		135R750・R770 の低温往：QF ジョイント用継手、左記以外：QF16 ジョイント用継手			
接続	ふろ（往・戻）		QF16 ジョイント用継手			
電気関係	電源		AC100V			
電気関係	リモコン側		DC24V 以下			
電気関係	消費電力 W (50/60Hz)	待機時	2.1			
電気関係	消費電力 W (50/60Hz)	同時使用	230/280			
電気関係	消費電力 W (50/60Hz)	凍結予防運転	220（凍結予防ヒーターのみ）、480（凍結予防運転時最大）			
電気関係	電源ケーブル		VCT/VCT または VCTF(2 心)			
電気関係	リモコンケーブル		VCT/VCT または VCTF(2 心)			
安全装置			立消え安全装置、過熱防止装置、漏電安全装置、空だき安全装置、過電流安全装置、凍結予防装置、空だき防止装置、過圧防止安全装置、停電安全装置、沸騰防止装置、ファン回転検出装置、誘導雷保護装置			

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ（13A・12A 共通）		1 時間当たりのガス使用量：kW （ ）内は kcal/h			出湯能力（能力最大）：L/min	
		同時使用時	給湯	暖房	25℃ 上昇	40℃ 上昇
都市ガス用	13A	47.0(40,400)	33.3(28,600)	13.7(11,800)	16.0	10.0
都市ガス用	12A	43.8(37,700)	31.0(26,700)	12.8(11,000)	15.0	9.4
LP ガス用		47.0(3.36kg/h)	33.3(2.38kg/h)	13.7(0.98kg/h)	16.0	10.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

点検のポイントとお手入れ

安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。
機器などのお手入れは機器が冷めてから行ってください。
機器本体の点検およびお手入れについては、本体取扱説明書の「点検のポイントとお手入れ」を参照してください。

リモコンの日常のお手入れ

リモコンのお手入れ

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
台所・増設リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
P2「お手入れの際の注意」

アフターサービスについて

- アフターサービス・保証については、機器本体に準じます。
- 機器本体の保証書は、機器本体に同梱されています。必ず「販売店・お買上げ日」などが記入されていることを確認してください。
- 当社は、保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器やリモコンに故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください）
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

⚠危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

U220-1522(01)
04.08(01)K
060 00012 57460 9

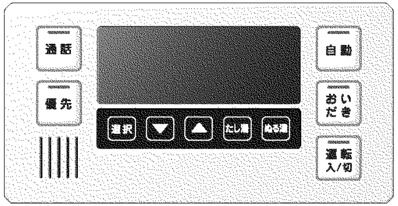
大阪ガス

家庭用

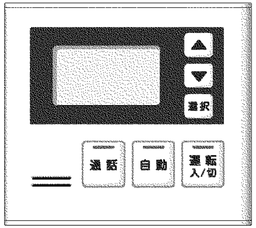
インターホンリモコンセット

138-R 312型
138-R 316型
138-R 313型（増設リモコン　通話機能付き）
138-R 311型（増設リモコン　通話機能なし）

取扱説明書



浴室リモコン



台所リモコン
増設リモコン

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
ご使用の熱源機本体の取扱説明書も併せてご覧ください。
取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからなくなったときお読みください。
この製品は国内専用です。

もくじ

はじめに …… 1
安全のための注意
必ずお守りください …… 2
各部のなまえとはたらき
浴室リモコン …… 3
台所・増設リモコン …… 5
準備してください
初めて使うとき …… 7
時計を合わせる …… 8
給湯を使うとき
お湯を使う …… 9
給湯温度を変える …… 11
優先スイッチの使いかた …… 12
おふろを沸かすとき
自動運転のはたらき …… 13
自動運転でおふろを沸かす …… 15
ふろ設定水位（湯量）を変える …… 17
ふろ設定温度を変える …… 19
保温時間を変える …… 21
自動運転のコツ …… 22
おふろをあつくする …… 23
おふろをぬるくする …… 25
おふろのお湯をふやす …… 26
決めた時刻におふろを沸かす …… 27
予約時刻の変更をする …… 29
予約運転をやめるとき …… 30
予約運転のコツ …… 31
セルフクリーン機能 …… 32
暖房を使うとき
暖房を使う …… 33
浴室暖房を自動運転と連動させる …… 35
暖房の運転音を下げる …… 36
その他の機能
インターホンの使いかた …… 37
ゆらぎのシャワー …… 39
音声やメロディーの大きさを変える …… 41
リモコンの節電設定をする …… 43
機器移設の再設定 …… 44
故障かな？と思ったら
故障表示 …… 45
修理を依頼される前に …… 46
点検・お手入れ
点検のポイントとお手入れ …… 裏表紙
サービス
アフターサービスについて …… 裏表紙

はじめに

本書の使いかた

初めてお使いになるときには、ひと通りお読みください。
使いかたが分からなくなったときなどは、表紙の「もくじ」から該当する項目を探して、そのページをご覧ください。

本書の構成

本書は、以下の10の項目から構成されています。
（※表紙に「もくじ」を設けてあります。）

安全のための注意…………本品を使用する上での注意事項を記載しています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。
各部の名前とはたらき………リモコンの各部の名称と機能を記載しています。
準備してください…………最初にお使いになる際にしていただきたい内容を記載しています。
給湯を使うとき……………水栓やシャワーでお湯を使う場合の操作方法を記載しています。
おふろを沸かすとき…………おふろを沸かす方法を記載しています。
暖房を使うとき……………浴室暖房や暖房運転に関する情報を記載しています。
その他の機能………………付加的な機能を記載しています。
点検・お手入れ……………快適に長く使用していただくためにお客様にしていただきたいお手入れの方法を記載しています。
故障かな？と思ったら………リモコンに関する症状別の対処方法や、故障表示に関する情報を記載しています。リモコンの調子が変だなと思ったらお読みください。
サービス…………………アフターサービスに関するお知らせを記載しています。

※下記の記載については、機器本体の取扱説明書の該当ページも併せてご参照ください。

記載	本体取扱説明書の項目名
安全・快適にご使用いただくためにぜひお読みいただきたい内容	「安全のための注意」
お客様がご使用の機器本体の品名・製品のタイプ	「品名」
お客様がご使用の機器本体の各部の名称	「各部のなまえとはたらき」
凍結予防の方法	「凍結予防」
機器本体の点検やお手入れの方法	「点検・お手入れ」
機器本体の症状別の対処法	「故障かな？と思ったら」
仕様表・能力表	「仕様」
アフターサービスや保証、機器の修理，移設に関する内容	「サービス」

本書で使用する絵表示について

……………………**参照ページおよび参照箇所**
用語……………………**用語説明**
仕組み…………………**仕組みの説明**
ヒント…………………**使いかたのヒント**

※安全にお使いいただくためのご注意に関する絵表示については、2ページを参照してください。

必ずお守りください

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

絵表示の意味

一般的な危険 警告 注意
必ず行うこと
一般的な禁止
ぬれ手禁止
高温注意

お願い

リモコンの取り扱いに注意

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。マイクやスピーカーの穴に水膜がはり、マイクの感度が落ちたり、スピーカーの音が聞こえにくくなります。また、台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。
- お子様がいたずらしないよう、注意してください。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。故障の原因となります。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因となります。
- スピーカーに耳を近付けて使用しないでください。大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こす恐れがあります。

リモコンの設置場所について

- 浴室リモコンと台所リモコンの設置場所が近い場合、ハウリング（キーンなどの大きな音がする現象）を起こすことがあります。そのような場合は施工店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。
- 浴室リモコンのみや台所リモコンのみでの単独使用はできません。必ずセットでご使用ください。

リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
  画像や音声が乱れることがあります。

お手入れの際の注意

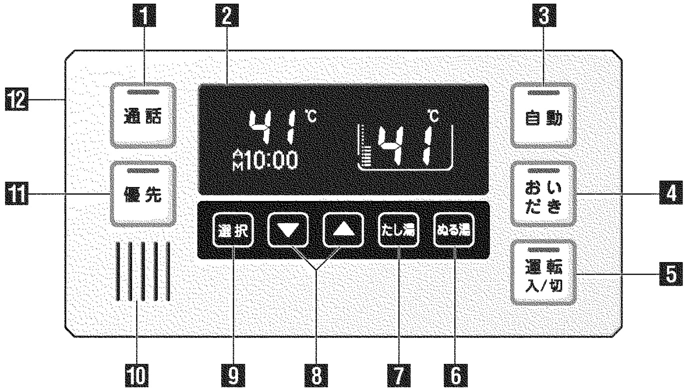
- けがには十分ご注意ください。
- 台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。

別売部品について

- 別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。
- 他のインターホンリモコンや、リモコン通信線を利用した機器などの別売部品と接続できない場合があります。他の別売部品をお求めの際は、事前にインターホンリモコンとの接続の可否をご確認

浴室リモコン

リモコンの各部の名前を確認してください。
表示部は実際の運転状態を示すものではありません。



1 通話スイッチ/ランプ(黄)
台所リモコン・増設リモコン(138-R311型は除く)と通話するときに使います。
📖P37

2 表示画面
📖P4

3 自動スイッチ/ランプ(赤)
「自動運転」を行います。
📖P13·15〜16·22·24·30

4 おいだきスイッチ/ランプ(緑)
浴槽のお湯をあつくします。
📖P13〜14·22〜24

5 運転(入/切)スイッチ/ランプ(緑)
「入」にすると給湯できます。おふろを沸かしたり、各スイッチの操作をする場合も「入」にします。
もう一度押すと、「切」になります。

6 ぬる湯スイッチ
おふろに水をたします。
📖P25

7 たし湯スイッチ
おふろにお湯をたします。
📖P26

8 アップ/ダウンスイッチ
給湯温度を調節します。
機能選択モードのときに、各機能の入・切、調節を行います。

9 選択スイッチ
機能選択モードへの移行・解除を行います。

10 スピーカー

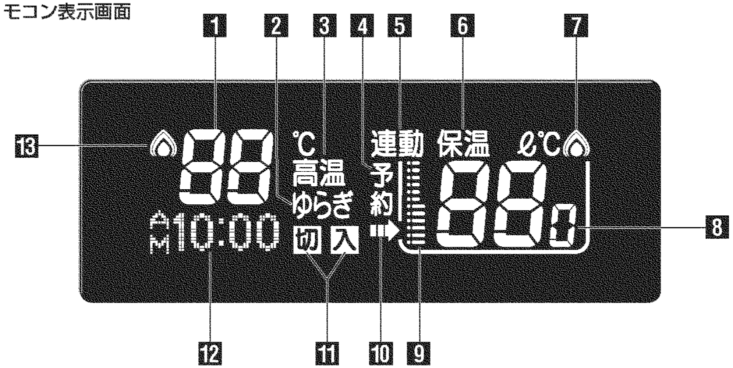
11 優先スイッチ/ランプ(オレンジ)
どちらのリモコンで給湯温度を変更できるかを切り替えます。
📖P10〜12

12 マイク(側面)
通話するときに使います。マイクは内蔵されているため、外からは見えません。

ヒント リモコン操作時のご注意/取り扱い時のご注意

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聞こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- 浴室リモコンは、運転スイッチを「切」にした場合、表示画面はすべて消灯します。

浴室リモコン表示画面



1 給湯温度表示
給湯の設定温度を表示します。
📖P9〜11·40

2 ゆらぎ表示
ゆらぎのシャワーを使用しているときに点灯します。
📖P40

3 高温表示
給湯温度が60℃に設定されているときに表示します。
📖P11

4 予約表示
予約運転中に点灯します。
📖P28

5 連動表示
浴室暖房とふろ自動運転の連動設定を「入」にしたときに点灯します。
📖P35

6 保温表示
保温中に点灯します。
📖P16·28

7 ふろ・暖房燃焼表示
おいだき中や暖房運転中に点灯します。
📖P16·33〜35

8 ふろ温度表示(単位の℃を含む)
自動運転やたし湯の設定温度を表示します。
📖P15·20
ふろ湯量表示(単位の ℓ を含む)
水位・湯量設定時は、湯はりの水位・湯量を表示します。(水位・湯量はめやすで、全自動タイプでは水位〔水位表示の番号〕を、自動湯はりタイプでは湯はりする量〔リットル〕を表示します)
📖P17〜18

9 水位表示
自動運転の水位・湯量のめやすを表示します。
📖P15·17〜18

10 ふろ運転表示
📖P16·24〜26

11 「入」・「切」表示
機能選択モードでの各機能の状態(「入」・「切」)を表示します。
📖P32〜33·35·36·39·43

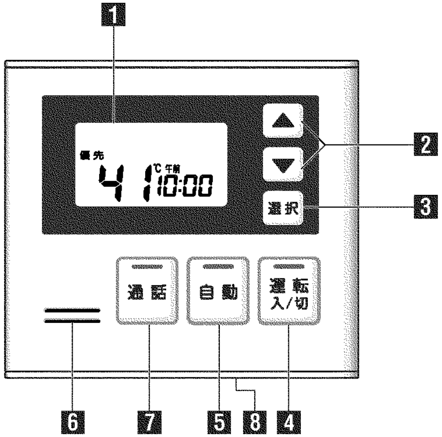
12 時計表示
現在時刻を表示します。
📖P8
故障表示
機器や使用方法に不具合があった場合には、故障表示が点滅します。
📖P45
機能選択モード表示
機能選択モードのときに、現在選ばれている機能を表示します。
選択機能一覧:

暖房 ················📖P33
ふろ温度 ············📖P19
ふろ湯量 ············📖P17
連動 ················📖P35
ゆらぎ ··············📖P39
保温 ················📖P21
セルフクリーン ······📖P32
音声(音量) ··········📖P41
セーブ ··············📖P43

13 給湯燃焼表示
給湯中に点灯します。
📖P10·16·26

台所・増設リモコン

リモコンの各部の名前を確認してください。
表示部は実際の運転状態を示すものではありません。



1 表示画面
P6

2 アップ／ダウンスイッチ
給湯温度を調節します。
機能選択モードのときに、各機能の入・切、調節を行います。

3 選択スイッチ
機能選択モードへの移行・解除を行います。

4 運転(入／切)スイッチ／ランプ(緑)
「入」にすると給湯できます。おふろを沸かしたり、各スイッチの操作をする場合も「入」にします。もう一度押すと、「切」になります。

5 自動スイッチ／ランプ(赤)
「自動運転」を行います。
P13·15～16·22·24·30

6 スピーカー

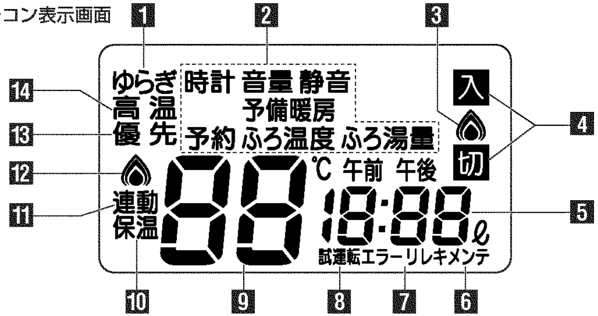
7 通話スイッチ／ランプ(黄)(138-R311型以外)
浴室リモコンと通話するときに使います。
P37

8 マイク(底面)(138-R311型以外)
通話するときに使います。

ヒント　リモコン操作時のご注意／取り扱い時のご注意

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- スピーカーやマイクの穴に水滴が入ると、音声が聞こえにくくなります。リモコンには水がかからないようにご注意ください。
- 台所・増設リモコンは、運転スイッチを「切」にした場合、表示画面は時計表示以外すべて消灯します。

台所・増設リモコン表示画面



1 ゆらぎ表示
ゆらぎのシャワーを使用しているときに点灯します。
P40

2 機能選択モード表示
機能選択モードのときに、現在選ばれている機能が点滅します。
選択機能一覧：

- 時計 ……………… P8
- 音量 ……………… P41
- 静音 ……………… P36
- 予備暖房 ………… P33
- 予約 ……………… P27～30
- ふろ温度 ………… P19
- ふろ湯量 ………… P17

※増設リモコンには「時計」「予約」「静音」のメニューはありません。

3 ふろ・暖房燃焼表示
おいだき中や暖房運転中に点灯します。
P16·33～35

4 「入」・「切」表示
機能選択モードでの各機能の状態(「入」・「切」)を表示します。
P27～30·33·36

5 時計表示
現在時刻を表示します。予約運転の操作をしているときは、予約運転完了時刻(湯はりが完了する時刻)を表示します。
P8·28～30

故障表示
機器や使用方法に不具合があった場合には、故障表示が点滅します。
P45

ふろ湯量表示（単位の ℓ を含む）
水位・湯量設定時は、湯はりの水位・湯量を表示します。(水位・湯量はめやすで、全自動タイプでは水位〔水位表示の番号〕を、自動湯はりタイプでは湯はりする量〔リットル〕を表示します)
P17～18

6 メンテ表示
メンテモニタ表示中に点灯します。

7 エラーリレキ表示
エラー履歴表示中に点灯します。

8 試運転表示
自動試運転中に点灯します。
P44

9 給湯・ふろ温度表示
給湯設定温度を表示します。ふろ温度を設定しているときには、ふろ設定温度を表示します。
P9～11·20

10 保温表示
保温中に点灯します。
P16·28

11 連動表示
浴室暖房とふろ自動運転の連動設定を「入」にしたときに点灯します。
P35

12 給湯燃焼表示
給湯中や湯はり中に点灯します。
P10·16

13 優先表示
この表示が点灯している場合、点灯しているリモコンで給湯温度の変更ができます。
P10～12

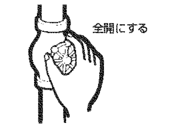
14 高温表示
給湯温度が60℃に設定されているときに表示します。
P11

初めて使うとき

初めて使うときは、次の準備が必要です。

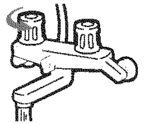
① 給水元栓を全開にする。

機器の下方または側方に給水元栓があります。



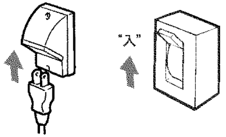
② 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める。

お湯の使用場所。



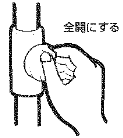
③ 電源プラグをコンセントに差し込む。(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

機器付近の壁・分電盤。



④ ガス栓を全開にする。

機器の下方または側方にガス栓があります。



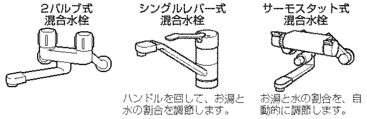
⚠警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない

- 電源プラグをコンセントに差し込む際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

用語

混合水栓
機器本体で作られるお湯と水を混ぜることでお湯の温度を調節できる水栓。2バルブ式・シングルレバー式・サーモスタット式があります。



給湯栓
給湯配管先の水栓、およびその水栓のお湯の出し・止め・湯量調節をするハンドル(つまみ)の両方を指します。

湯はり(自動運転)
本書では、設定温度の湯を設定量だけ機器が自動で行う湯はりを指します。

給湯温度
給湯時のお湯の設定温度。

湯量・お湯の量
自動湯はりタイプの機器で、湯はりの際に浴槽に張られるお湯の量のことと、給湯使用時に給湯栓から出るお湯の出具合(流量)の両方を指します。

水位
全自動タイプの機器で、湯はりの際に浴槽に張られるお湯の量のことを指します。

ふろ温度
自動運転で湯はりをする際のお湯の設定温度。

※給湯温度とふろ温度は別々に設定できます。

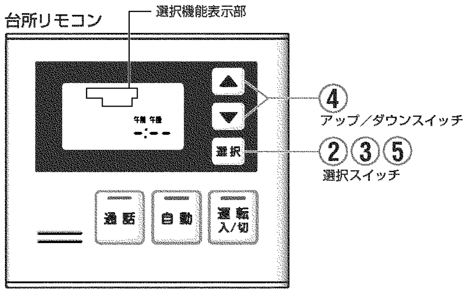
給湯配管
浴室や台所・洗面所などの水栓に、機器本体の給湯接続口より配管することでお湯を供給すること。またはその配管を指します。

機能選択モード
ふろ温度の設定や予約運転など一部の機能の設定や変更を行う場合、「選択」スイッチを押してこれらの機能の状況(入／切、設定値)を表示・変更できる状態に移行します。この状態を機能選択モードと呼びます。機能選択モードで操作する機能を「選択機能」と呼びます。(📖P4・6)

温水暖房端末
給湯暖房機から供給される温水で暖房などをする機器すべてとそのリモコンを指します。
温水暖房端末には、浴室暖房機・浴室暖房乾燥機・温水エアコン・パネルヒーター・ファンコンベクター・床暖房とそのリモコンなどがあります。

時計を合わせる

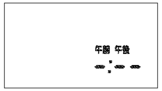
最初にお使いのときには時計合わせをしてください。
台所リモコンで設定します。(浴室・増設リモコンにはこの機能はありません)
時計合わせをしていないと、予約運転ができません。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。



① 右図の画面が表示されていることを確認する。

※運転スイッチは「入」にしないでください。
画面が表示されていない場合は、機器本体の電源プラグを差し込む(または分電盤の専用スイッチを「入」にする)と右図の表示が点灯します。
(📖P7 初めて使うとき③参照)

台所リモコンの表示画面



② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

現在選ばれている機能が点滅します。

③ 続けて選択スイッチを押して、「時計」を点滅させる。

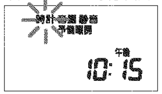
台所リモコンの表示画面

機能選択モード表示

④ ▼または▲スイッチを押して、現在時刻を合わせる。

▼ ▲スイッチを押し続けると、10分刻みで時刻が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。

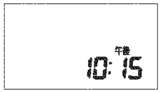
台所リモコンの表示画面



⑤ 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、操作が完了します。

台所リモコンの表示画面



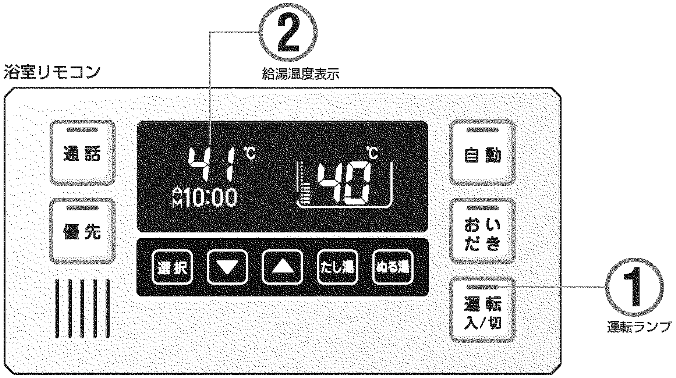
選択スイッチを押した瞬間に、秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
※選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作のない状態が1分以上経過すると、自動的に設定が完了します。
運転スイッチを「入」にすると、すべてのリモコンに時刻表示が点灯します。

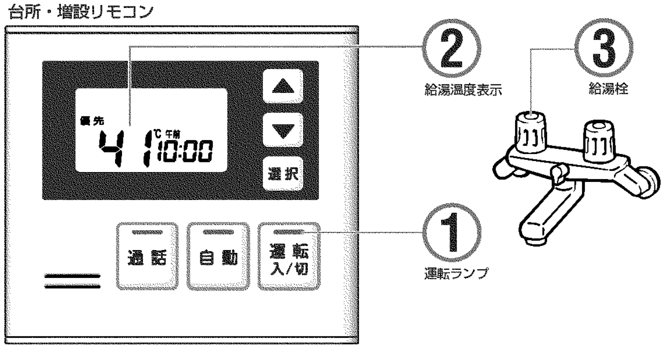
ヒント 時刻合わせについて

- 午前と午後を間違えないようにご注意ください。
- 停電したり電源プラグを抜いたときの再通電時には 午前午後 -:-- の表示に戻ります。設定をしなおしてください。

お湯を使う

どのリモコンでも操作できます。





138-R311 型には通話スイッチはありません。

⚠警告

お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使用している本人以外(特に小さなお子さまなど)は給湯温度を変えないでください。
- お湯を使うときは給湯温度表示を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- お湯を一度止めて再度使用するときは、一瞬熱いお湯が出ることがありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。

高温注意

① 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

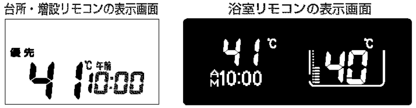
点灯していない場合は、運転スイッチを押します。運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示または優先ランプ(オレンジ)が点灯します。

P12「優先スイッチの使いかた」

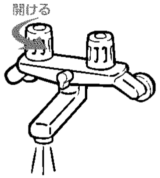
② 給湯温度表示を確認する。

右図は 41 ℃に設定した例です。
給湯温度を変えるときは…

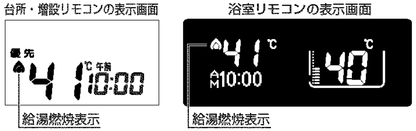
P11「給湯温度を変える」



③ 浴室のシャワー栓や給湯配管先の給湯栓を開けてお湯を出す。



給湯栓を開けると、給湯燃焼表示が点灯し、しばらくしてお湯が出ます。
給湯栓を閉じると、給湯燃焼表示が消え、お湯が止まります。
※湯量を絞りすぎると(毎分約 2 リットル以下にする)と燃焼を停止します。
※一時止水など、湯量を極端に少なくした場合に高温のお湯が出ることがありますのでご注意ください。



仕組み 給湯について

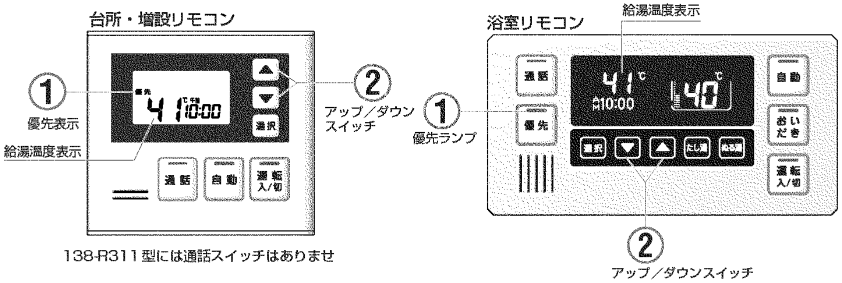
- リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して機器の寿命を短くします。
- 給水温度が高い場合は、リモコンの温度表示よりもあついお湯が出ることがあります。
- 一時止水など、湯量を極端に少なくした場合に高温のお湯が出ることがありますのでご注意ください。

仕組み 排気口から湯気?

- 高効率タイプの機器は、熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

給湯温度を変える

どのリモコンでも操作できます。
お買上げの際、給湯温度は42 ℃に設定してあります。



138-R311 型には通話スイッチはありませ

① 優先表示または優先ランプが点灯しているのを確認する。

P12「優先スイッチの使いかた」

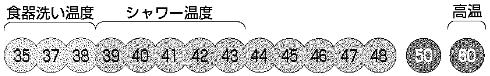
② ▼または▲スイッチを押して、給湯温度を設定する。

▲スイッチを押すと温度が上がるメロディーと共に、「給湯温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。
▼スイッチを押すと温度が下がるメロディーと共に、「給湯温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。

台所・増設リモコンの表示画面　浴室リモコンの表示画面

〈 図は、給湯温度を41℃に設定した例 〉

仕組み 給湯温度のめやす



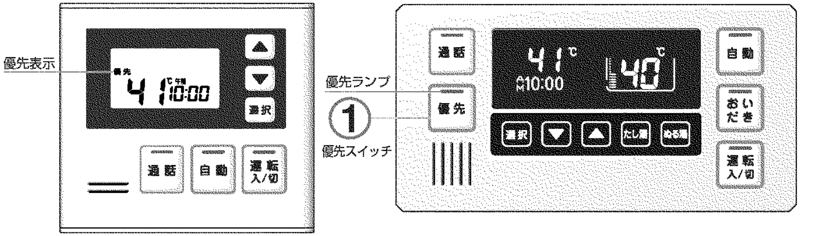
- ▼または▲スイッチを押し続けると45 ℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46 ℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。
- 調節できる温度は35 ℃～60 ℃の15段階です。
  37 ℃～48 ℃の範囲では、1 ℃きざみで1回スイッチを押すと1 ℃変わります。
  下図は60 ℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。
- 低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。
- 給湯設定温度を60 ℃にセットすると「あついお湯が出ます」「給湯温度を60 ℃に設定しました」とお知らせし、表示画面に「高温」を表示して注意を促します。
- 一度設定した給湯温度は変更するまで記憶しています。
  （停電があった場合も給湯温度は記憶されます）
- サーモスタット式水栓をご使用の場合は、リモコンの給湯温度をご希望の温度（ハンドルの温度）より高めにしてください。

台所・増設リモコンの表示画面　浴室リモコンの表示画面

- 一時止水など、湯量を極端に少なくした場合に高温のお湯が出ることがありますのでご注意ください。

優先スイッチの使いかた

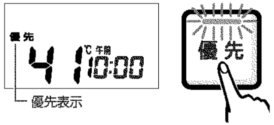
浴室と給湯配管先には、同じ温度のお湯を供給します（ひとつの機器に接続されているすべてのリモコンで常に同一の給湯温度を表示します）。そのため、お湯を使用中、他の人が給湯温度を変えてしまうとお湯の温度が変わりやけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。但し、台所リモコンと増設リモコンの間では優先順位はありません。（台所・増設リモコン側に優先権があるときは、どちらのリモコンでも温度が変えられます）浴室リモコンで操作します。



138-R311 型には通話スイッチはありません。

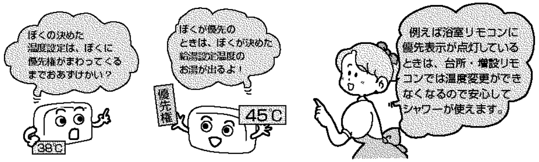
① 浴室リモコンの 優先 スイッチを押す。

優先スイッチを一回押すたびに、優先権が、浴室リモコン→台所・増設リモコン→浴室リモコン…と交互に切り替わります。
浴室リモコンが優先になった場合は、優先ランプがオレンジ色に光ります。
台所・増設リモコンが優先になった場合は、優先表示が点灯します。



仕組み 給湯設定温度の優先権

- 台所・増設リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持つリモコンが記憶していた温度が給湯温度になります。
  （すべてのリモコンの温度表示が、その温度に切り替わります）



- 給湯温度の変更以外は、どのリモコンでも、優先権に関係なく設定したり使用することができます。
- 優先でない方のリモコンで給湯温度を変更しようとして▼または▲スイッチを押すと、「給湯温度は変更できません」とお知らせします。

※運転「切」の状態から運転「入」にしたときには、運転スイッチが押された側のリモコンが優先権を持ちます。

⚠ 警告

お湯を使うときはやけどに注意

- 給湯温度を変更するときや優先を切り替えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確認してください。
  他の人がお湯を使っていると、そこのお湯の温度も変わるためやけどをすることがあります。
- 優先を切り替えたときは、必ず給湯温度を確認してください。
  温度が変わることがあります。

高温注意

自動運転のはたらき

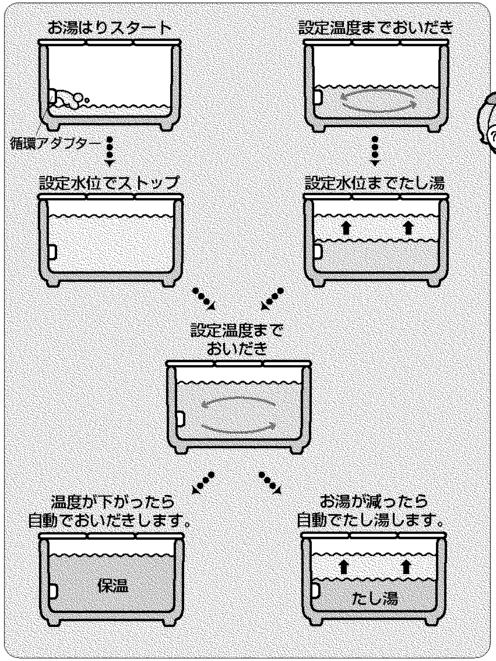
自動スイッチを押すだけの簡単操作で、おふろ沸かしは全ておまかせです。
全自動タイプと自動湯はりタイプで、若干機能が異なります。
※ご使用の機器が、全自動タイプか自動湯はりタイプかは、機器本体の取扱説明書でご確認ください。

仕組み

全自動タイプ

残り湯がない場合または残り湯が循環アダプターより下にある（循環アダプターがかくれていない）場合

残り湯が循環アダプターより上にある（循環アダプターがかくれている）場合

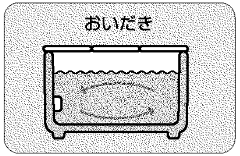


さめていないか
約10～40分ごとに
チェックします。※

お湯が減っていないか
常時みはります。
3～4cm以上水位が下がるとたし湯します。

こんなこともできます

残り湯が循環アダプターより上にある（循環アダプターがかくれている）ときおいだきスイッチを押すと…

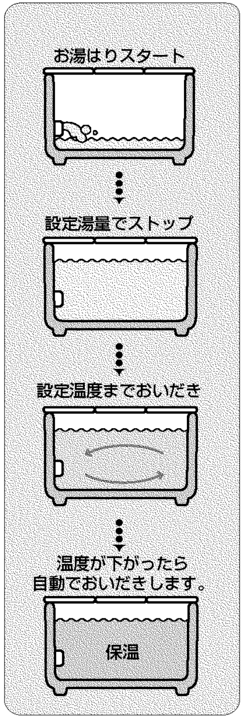


たし湯はしません
保温はしません

※ふろ設定温度などによって異なります。給湯を使用していると、時間がずれることがあります。

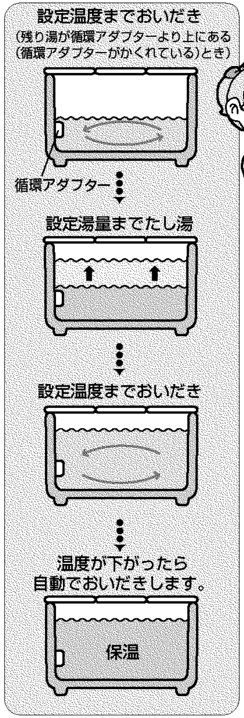
自動湯はりタイプ

残り湯がない場合

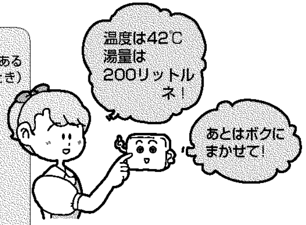


さめていないか
約10～40分おきに
チェックします。※

残り湯がある場合



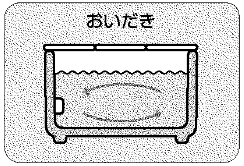
さめていないか
約10～40分おきに
チェックします。※



●残り湯があるときは、沸き上がりの湯量が設定湯量と異なることがあります。

こんなこともできます

残り湯が循環アダプターより上にある（循環アダプターがかくれている）ときおいだきスイッチを押すと…

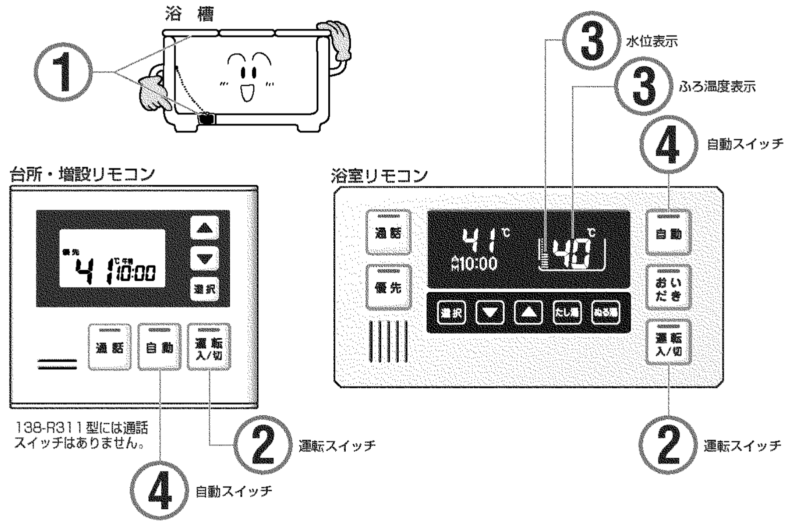


たし湯はしません
保温はしません

※ふろ設定温度によって異なります。給湯を使用していると、時間がずれることがあります。

自動運転でおふろを沸かす

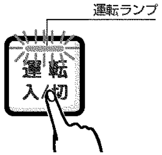
自動スイッチを押すだけで、おふろ沸かしはすべてお任せです。(自動運転)
どのリモコンでも操作できます。



① 浴槽の排水栓を閉め、浴槽にフタをする。

② 運転スイッチを押して「入」にする。

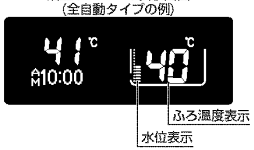
表示画面に給湯温度表示やふろ温度表示が点灯し、同時に運転ランプが緑色に光ります。



③ ふろ設定温度とふろ水位(湯量)を確認する。

※ふろ設定温度およびふろ水位(湯量)は、台所・増設リモコンには通常は表示されません。
ふろ設定温度およびふろ水位(湯量)を変えるときは…
P19-20「ふろ設定温度を変える」
P17-18「ふろ設定水位(湯量)を変える」

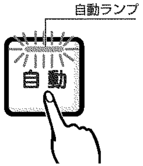
浴室リモコンの表示画面
(全自動タイプの例)

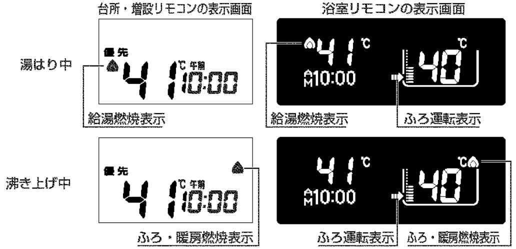


⚠警告	やけどに注意 ● 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。 ● おいだきのときは循環アダプターから熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

④ 自動スイッチを押して「入」にする。

音声で「お湯はりをします」とお知らせして自動ランプが赤く点灯し、浴槽に湯はりを始めます。ふろ運転表示、給湯燃焼表示が点灯し、浴槽に注湯します。次にふろ運転表示、ふろ・暖房燃焼表示が点灯して浴槽のお湯を沸かし上げます。(台所・増設リモコンではふろ・暖房燃焼表示が点灯します)
また、湯はり完了の5分前には「残りおよそ5分でおふろに入れます」とお知らせします。





自動運転を途中でやめるときには…

自動スイッチを押します。自動ランプ(赤)が消灯するのを確認してください。

おふろが沸き上がると…

湯はりが終わると音楽が鳴り、音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。
※一部の機種では、「おふろが沸きました」とお知らせした後においだきを行うことがあります。
リモコンの表示画面には保温表示が点灯し、一定時間保温します。保温時間を変えるには…
P21「保温時間を変える」
保温時間が終了すると、保温表示が消え、自動スイッチ(赤)が消灯します。
保温中に、自動スイッチ(赤)を押すと保温が止まります。

おふろに入ったあとで…

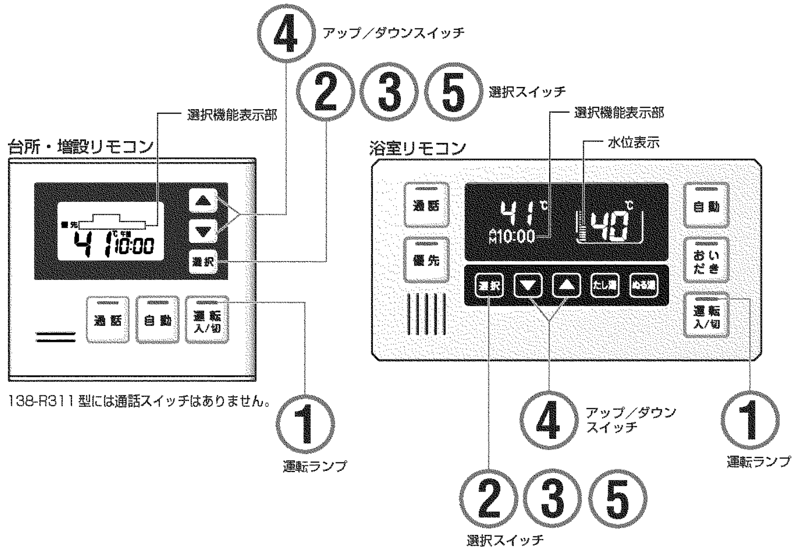
全自動タイプでは、自動運転で浴槽に湯はりをした場合、排水栓を抜くとふろ配管に残ったお湯が循環アダプターから自動的に排出される機能がついています。(セルフクリーン機能)
循環アダプター上端より水位が上約5cm(浴槽や使用状況などにより若干異なります)まで下がったことをセンサーが感知すると、循環アダプターからふろ温度のお湯が出たのち、機器内のポンプがはたらき、循環アダプターから約5リットルのお湯が出て配管の残り湯を洗い流します。
セルフクリーン中は、リモコンの表示画面に自動運転の湯はり中と同じ表示が出ます。
排出が終わると自動的に停止します。
セルフクリーン機能の設定方法は…
P32「セルフクリーン機能」

仕組み 排気口から湯気?

● 高効率タイプの機器は、熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

ふろ設定水位（湯量）を変える

どのリモコンでも操作できます。
全自動タイプと自動湯はりタイプでは表示が異なります。
インターホン（通話スイッチ）使用中は設定できません（138-R311 型は除く）。



1 運転ランプ（緑）が点灯していることを確認する。

点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

2 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

浴室リモコン：現在選ばれている機能が表示されます。
台所・増設リモコン：現在選ばれている機能が点滅します。

3 選択スイッチを続けて押して、「ふろ湯量」を表示させる。

台所・増設リモコンでは「ふろ湯量」を点滅させます。
ふろ温度表示部の表示が次のように変わります。
全自動タイプ：「水位」（水位のレベル）　　自動湯はりタイプ：「湯量」（リットル）

台所・増設リモコンの表示画面　　浴室リモコンの表示画面

〈全自動タイプ〉〈自動湯はりタイプ〉〈全自動タイプ〉〈自動湯はりタイプ〉

4 ▼または▲スイッチを押して、ふろ水位（湯量）を設定する。

台所・増設リモコンの表示画面　　浴室リモコンの表示画面

〈全自動タイプ〉〈自動湯はりタイプ〉〈全自動タイプ〉〈自動湯はりタイプ〉

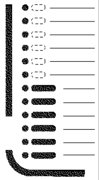
5 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約 1 分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。

仕組み 自動湯はりタイプの「湯量」について

- 自動湯はりタイプでは、浴槽に何リットル注湯するかの量のめやすを表します。
- はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は約 200 リットルに設定されています。このとき水位表示は下から 6 番目で示されます。
- ▲スイッチを押すたびに水位表示が 1 目盛上がり、湯量は右表のように増えていきます。このとき、上がるメロディーでお知らせします。
  ▼スイッチを押すたびに水位表示が 1 目盛下がり、湯量は右表のように減っていきます。このとき、下がるメロディーでお知らせします。

水位表示部の拡大



自動湯はりタイプ 湯量（リットル）		全自動タイプ 水位のレベル
(990)	※ ▲を押すとふえる	
(400)	※	
350		12
300		11
280		10
260		9
240		8
220		7
200	初期設定	6
180	▼を押すとへる	5
160		4
140		3
120		2
100		1
(80)	※	
(60)	※	

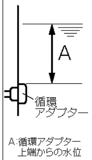
※お子様のいたずらなどを防止するため、400 リットルや 990 リットルに設定するときには▲スイッチを 1 秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400 および 990 リットルに設定したとき水位表示部は消灯します。
80 リットルや 60 リットルに設定するときには▼スイッチを 1 秒以上押し続けてください。また、80 リットルや 60 リットルに設定した時の水位表示は、100 リットルに設定した場合と同じ（最下の線が点灯）表示になります。

全自動タイプの「水位」について

- 全自動タイプでは、浴槽に設置された循環アダプターから何 cm 上（右表の A の数値）まで湯はりするかを水位表示の番号に置き換えて表します。
- はじめて電源を「入」にしたときは、水位表示は「6」になるよう設定されています。
- 実際の水位と右表の A 寸法は、条件により一致しないこともありますので、めやすとしてください。必要に応じて調節してください。

※浴槽の形状によっては高い水位に設定するとお湯があふれることがありますのでご注意ください。

全自動タイプの水位のめやす



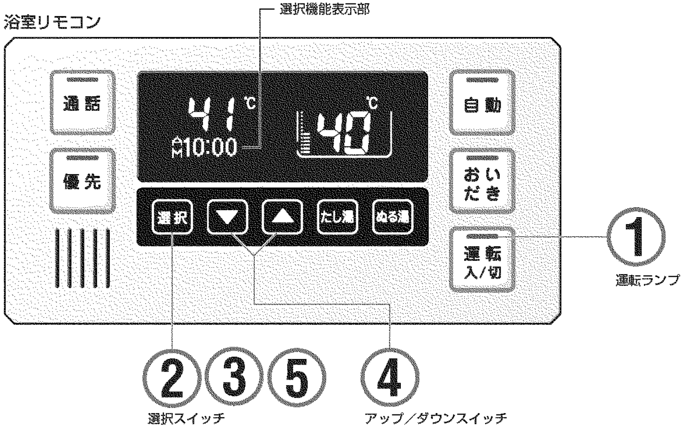
洋式バス用設定（※1目盛り2cm） 番号	A寸法	和バス用設定（※1目盛り3cm） 番号	A寸法
12	29cm	12	43cm
11	27cm	11	40cm
10	25cm	10	37cm
9	23cm	9	34cm
8	21cm	8	31cm
7	19cm	7	28cm
6	（標準）17cm	6	（標準）25cm
5	15cm	5	22cm
4	13cm	4	19cm
3	11cm	3	16cm
2	9cm	2	13cm
1	7cm	1	10cm

- ▲スイッチを押すたびに水位表示は 1 目盛上がり、上がるメロディーでお知らせします。
  ▼スイッチを押すたびに水位表示は 1 目盛下がり、下がるメロディーでお知らせします。

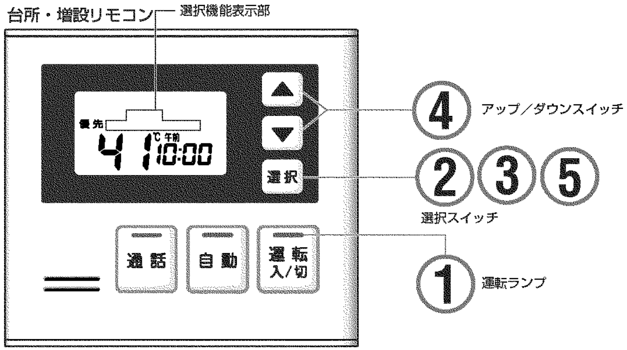
ふろ設定温度を変える

どのリモコンでも操作できます。
お買い上げの際のふろ設定温度は 42 ℃です。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません(138-R311 型は除く)。

浴室リモコン



台所・増設リモコン



138-R311 型には通話スイッチはありません。

① 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

浴室リモコン：現在選ばれている機能が表示されます。
台所・増設リモコン：現在選ばれている機能が点滅します。

③ 選択スイッチを続けて押して､「ふろ温度」を表示させる。

台所・増設リモコンでは「ふろ温度」を点滅させます。

台所・増設リモコンの表示画面　浴室リモコンの表示画面

④ ▼または▲スイッチを押して、ふろ温度を設定する。

▲スイッチを押すと温度が上がるメロディーと共に､「ふろ温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。
▼スイッチを押すと温度が下がるメロディーと共に､「ふろ温度を○○℃に設定しました」とお知らせします。

台所・増設リモコンの表示画面　浴室リモコンの表示画面

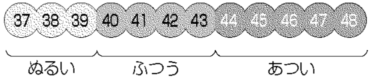
⑤ 選択スイッチを押す。

設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約 1 分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。

台所・増設リモコンの表示画面　浴室リモコンの表示画面

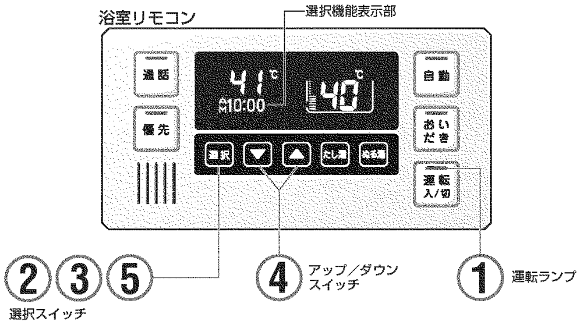
仕組み ふろ温度のめやす

- 設定できる温度は 37 ℃から 48 ℃の 12 段階です。
- 1 回、スイッチを押すと、1 ℃ずつ変わります。
- ▲を押しつづけると、45 ℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46 ℃以上にしたいときは 1 回ずつ押してください。
- 表示している温度と実際の温度は必ずしも一致しません。めやすとしてください。
- 湯はり運転中も、ふろ設定温度を変更することができます。
- 一度設定したふろ設定温度は、変更するまで記憶しています。



保温時間を変える

浴室リモコンで操作します。お買い上げの際は4時間に設定してあります。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。



① 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

現在選ばれている機能が表示されます。

③ 選択スイッチを続けて押して、「保温」を表示させる。

保温時間が表示されます。

浴室リモコンの表示画面

④ ▼または▲スイッチを押して、ふろ保温時間を変更する。

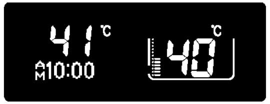
ふろ保温時間は0・1・2・4・6・8時間の中から選択してください。

浴室リモコンの表示画面

⑤ 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。

浴室リモコンの表示画面



仕組み 保温時間について

- 一度設定した保温時間は、運転を「切」にしても記憶しています。

自動運転のコツ

ヒント 自動運転について

- 保温中でもふろ設定温度を変えることができます。
  ふろ設定温度を高くしたときには、おいだきが始まります。
  P19-20「ふろ設定温度を変える」
  ふろ設定温度を変えないで、おふろのお湯の温度を変えたいときは…
  P23-24「おふろをあつくする」
  P25「おふろをぬるくする」
- 保温表示が点灯している間は、お湯の温度が下がると自動的においだきします。さらに全自動タイプの場合は、お湯が減ると自動的にたし湯します。

ヒント 残り湯を水位(湯量)を変えずに沸かしなおすとき

- 残り湯が循環アダプターより上にあるときおいだきスイッチを押すと、水位を変えずにお湯をあつくすることができます。
  P23-24「おふろをあつくする」

仕組み 水位(湯量)について

- 残り湯がある状態で自動スイッチを繰り返し押すと、お湯があふれることがあります。
  満水状態でも自動スイッチを押すと、約16リットルお湯がたされます。
- 保温中に浴槽の水位が循環アダプターを下まわると、保温が切れて自動運転が停止することがあります。こんなときは、もう一度自動スイッチを押してください。
- 設定水位が高いときは、たし湯中に入浴するとお湯があふれることがあります。
- 自動湯はりタイプの場合、残り湯で循環アダプターがかくれていないときに自動運転をすると、残り湯の分だけ水位が高くなり、お湯があふれることがあります。
- 自動湯はりタイプの場合、残り湯で循環アダプターがかくれているときに自動運転をした場合は、水位が多少ばらつきます。特に、残り湯の温度がふろ設定温度に近いときは、約16リットルだけ湯はりし、設定した量にはなりません。

仕組み 自動運転について

- お湯はり中に給湯やシャワーを使うと浴槽へのお湯はりは一時停止します。
  この場合、給湯栓やシャワーから出るお湯の温度はふろ設定温度となります。
  給湯やシャワーの使用をやめると再びお湯はりします。
- 残り湯があるときに自動運転をした場合、完了5分前のお知らせはしません。

※夏期など給水温度が高いときには、加熱しないで水を浴槽にはり、「おふろが沸きました」とお知らせした後においだきを行うことがあります。
※浴槽の残り湯を排出する際は、自動ランプが消灯しているのを確認してから行ってください。

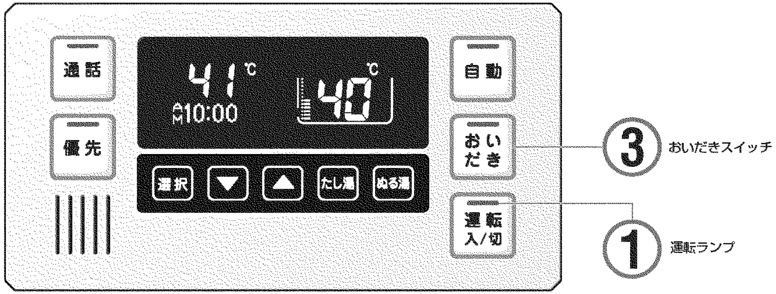
仕組み 全自動タイプではじめて自動運転するときには

- 機器が浴槽の大きさを記憶するため、初めて自動運転するときは、浴槽に水のない状態にして、排水栓を閉めてから自動スイッチを押してください。詳しくは…
  P44「機器移設の再設定」

おふろをあつくする

浴室リモコンで操作します。

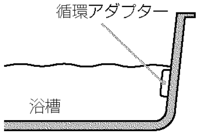
浴室リモコン



① 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② 浴槽に、循環アダプターの上までお湯(水)が入っていることを確認します。

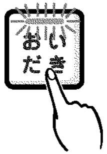


⚠警告	やけどに注意 ●おいだきのときは循環アダプターから熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

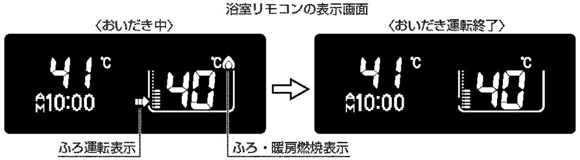
高温注意

③ おいだきスイッチを押す。

「おいだきをします」とお知らせするとともに、おいだきランプ(緑)が点灯し、おいだきをします。
リモコンの表示画面に、ふろ・暖房燃焼表示とふろ運転表示が点灯します。
水から沸き上げるなど、約6分経過しても設定温度にならない場合は、設定温度までおいだきします。



浴室リモコンの表示画面



おいだき運転を途中でやめるときには…

もう一度、おいだきスイッチを押します。おいだきランプ(緑)が消灯するのを確認してください。

仕組み おいだき運転について

- おいだきスイッチを押した後、ふろ設定温度を変えたときは、ふろ設定温度までのおいだきとなります。
- 保温中でもおいだき運転ができます。おいだき運転終了後10～40分たつと、再びふろ設定温度での保温に戻ります。
- おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくることがあります。

仕組み 循環アダプターの上までお湯(水)が入っていないときにおいだきスイッチを押すと…

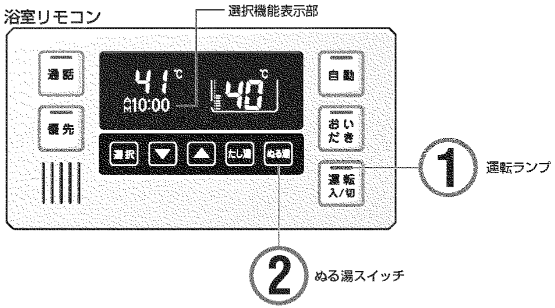
- 自動湯はりタイプの場合、浴槽に約6リットル湯はりしますが、おいだきスイッチは消灯しておいだき運転には入りません。
- 全自動タイプの場合、浴槽に約6リットル湯はりして自動運転に切り替わり、おいだきランプ(緑)が消灯して自動ランプが赤く光ります。この後は、自動運転と同じ動作(湯はり·保温)に入りますので、途中で止めたい場合は自動スイッチを押してください。

仕組み 排気口から湯気?

- 高効率タイプの機器は、熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

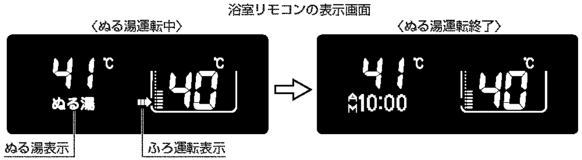
おふろをぬるくする

浴室リモコンで操作します。浴槽の残り湯の量に関係なくはたらきます。



① **運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。**
点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させせます。

② **ぬる湯スイッチを押す。**
「水をたします」とお知らせして、ぬる湯表示とふろ運転表示が点灯し、循環アダプターから約 10 リットル注水します。



ぬる湯運転を途中でやめるときには…

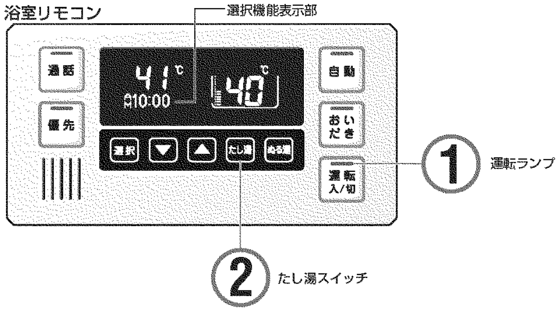
もう一度、ぬる湯スイッチを押します。

仕組み ぬる湯運転について

- 給湯やシャワーを使用中、またゆらぎ表示が点灯している場合には、ぬる湯スイッチを押しても注水されません。給湯やシャワーの使用をやめると水をたします。
- ぬる湯運転中に給湯やシャワーを使用すると、ぬる湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓から水が出ることもあります。
- 保温中でもぬる湯運転ができます。ぬる湯運転終了後 10～40 分たつと、再びふろ温度での保温に戻ります。
- ぬる湯運転をすると水位が上がります。浴槽の水位がもともと高い場合にはお湯があふれることがあります。
- ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。
- ぬる湯運転が終了すると、ぬる湯表示およびふろ運転表示は消えます。

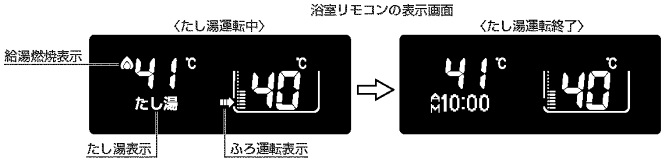
おふろのお湯をふやす

浴室リモコンで操作します。浴槽の残り湯の量に関係なくはたらきます。



① **運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。**
点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させせます。

② **たし湯スイッチを押す。**
「お湯をたします」とお知らせして、たし湯表示とふろ運転表示および給湯燃焼表示が点灯し、循環アダプターからふろ設定温度のお湯が約 20 リットルたされます。



たし湯運転を途中でやめるときには…

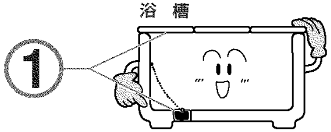
もう一度、たし湯スイッチを押します。

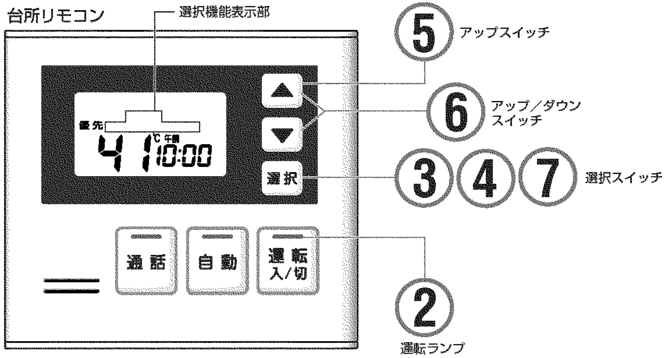
仕組み たし湯運転について

- 給湯やシャワーを使用中、またゆらぎ表示が点灯している場合には、たし湯スイッチを押しても注湯されません。給湯やシャワーの使用をやめるとお湯をたします。
- たし湯運転中に給湯やシャワーを使用すると、たし湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓からふろ設定温度のお湯が出ることもあります。
- 保温中でもたし湯運転ができます。
- たし湯運転をすると水位が上がります。浴槽の水位がもともと高い場合にはお湯があふれることがあります。
- たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。
- たし湯運転が終了すると、たし湯表示、ふろ運転表示および給湯燃焼表示は消えます。

決めた時刻におふろを沸かす

予約した時刻に入浴できるように機器が自動でおふろを沸かします(浴槽のお湯の量が少なければ、湯はりします)(予約運転)。台所リモコンで操作します。浴室・増設リモコンにはこの機能はありません。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。
※時計合わせをしていないと、予約運転をすることはできません。
P8「時計を合わせる」





① 浴槽の排水栓を閉め、浴槽にフタをする。

② 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

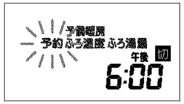
点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

③ 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

現在選ばれている機能が点滅します。

④ 選択スイッチを続けて押して、「予約」を点滅させる。

台所リモコンの表示画面

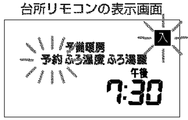


⑤ [▲]スイッチを押す。

時刻設定モードに移行します。(表示画面の「入」表示が点滅します)

⑥ [▼]または[▲]スイッチを押して、予約時刻を設定する。

台所リモコンの表示画面



[▼][▲]スイッチを押し続けると、10分刻みで時刻が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。
※午前/午後に注意してください。
右図は、午後7時30分に湯はりを完了したい場合の例です。

⑦ 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。予約表示は点灯したままになります。
浴室・増設リモコンの表示画面にも予約表示が点灯します。
機器は予約した時刻に湯はりが完了するように、自動的に湯はりを始めます。
(このとき自動ランプ(赤)が点灯します)
※予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内にすると、予約時刻になっても湯はりが完了しないことがあります。
※運転スイッチを「切」にしないでください。予約がキャンセルされます(予約表示が消灯)。

湯はりが完了すると…

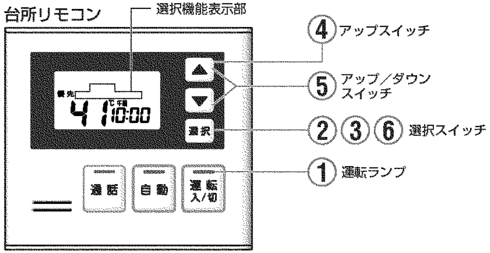
予約運転の場合、湯はり完了5分前のお知らせはしません。
湯はりが完了すると音楽が鳴って、音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。
おふろが沸き上がると、リモコンの表示画面に保温表示が点灯して、指定された時間、保温運転をします。
浴室・増設リモコンの表示画面にも保温表示が点灯します。
保温時間を変えるときは…
P21「保温時間を変える」

おふろに入ったあとで…

全自動タイプでは、予約運転で浴槽に湯はりをした場合、排水栓を抜くとふろ配管に残ったお湯が循環アダプターから自動的に排出される機能がついています。(セルフクリーン機能)
循環アダプター上端より水位が上約5cm(浴槽や使用状況などにより若干異なります)まで下がったことをセンサーが感知すると、循環アダプターからふろ温度のお湯が出たのち、機器内のポンプがはたらき、循環アダプターから約5リットルのお湯が出て配管の残り湯を洗い流します。
セルフクリーン中は、リモコンの表示画面に自動運転の湯はり中と同じ表示が出ます。
排出が終わると自動的に停止します。
セルフクリーン機能の設定方法は…
P32「セルフクリーン機能」

予約時刻の変更をする

予約運転の操作が完了したあとでも、予約時刻の変更ができます。
台所リモコンで操作します。浴室・増設リモコンにはこの機能はありません。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。

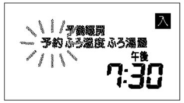


① **運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。**
点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② **選択スイッチを押して、機能選択モードにする。**
現在選ばれている機能が点滅します。

③ **選択スイッチを続けて押して、「予約」を点滅させる。**

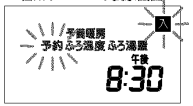
台所リモコンの表示画面



④ **▲スイッチを押す。**
時刻設定モードに移行します。(表示画面の「入」表示が点滅します)

⑤ **▼または▲スイッチを押して、予約時刻を変更する。**
▼ ▲スイッチを押し続けると、10分刻みで時刻が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。
※午前／午後に注意してください。

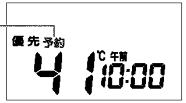
台所リモコンの表示画面



⑥ **選択スイッチを押す。**
「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。予約表示は点灯したままになります。
機器は予約した時刻に湯はりが完了するように、自動的に湯はりを始めます。(このとき自動ランプ(赤)が点灯します)
※予約時刻は、現在時刻より30分以降に設定してください。30分以内にすると、予約時刻になっても湯はりが完了しないことがあります。
※運転スイッチを「切」にしないでください。予約がキャンセルされます(予約表示が消灯)。
P27-28「決めた時刻におふろを沸かす」

台所・増設リモコンの表示画面

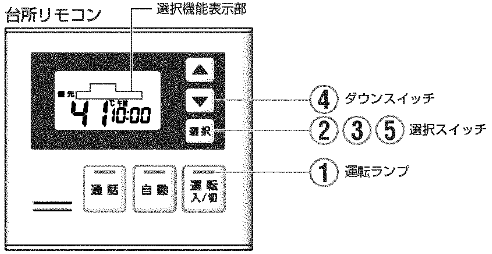
予約表示



予約運転をやめるとき

予約運転の設定はしたけれど…。予定変更！おふろを沸かすのを止めたい。
そんなときには…。

■ まだ、湯はりが始まっていなければ…



① **運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。**
点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② **選択スイッチを押して、機能選択モードにする。**
現在選ばれている機能が点滅します。

③ **選択スイッチを続けて押して、「予約」を点滅させる。**

台所リモコンの表示画面

④ **▼スイッチを押す。**
時刻設定モードに移行します。(表示画面の「切」表示が点灯します)

台所リモコンの表示画面

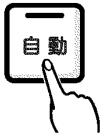
⑤ **選択スイッチを押す。**
「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。

台所・増設リモコンの表示画面

■ 湯はりが始まってしまったとき・湯はりが終わって保温になっているときには…

自動スイッチを押す。

湯はり／保温が止まります。(浴室・増設リモコンの自動スイッチを押しても、湯はり／保温は止まります)
※湯はり開始後は、機器は自動運転と同じ手順で運転します。止めるのも自動運転と同じになります。



予約運転のコツ

ヒント 機器は、予約運転の時刻を覚えています

- 予約時刻は、予約運転終了後も(運転スイッチを「切」にしても)機器が記憶しています。

ヒント 毎日同じ時刻におふろに入るには…

- 予約時刻の30分以上前に、毎日「決めた時刻におふろを沸かす(📖P27)」の手順①～⑤および⑦の操作を行ってください。

ヒント 予約時刻の確認だけしたいときは…

- 「決めた時刻におふろを沸かす」の順②～⑤の操作を行ってください。

仕組み 予約運転の機能について

- 予約運転は、自動運転の開始時刻を指定の時刻まで遅らせる機能です。予約運転も湯はりが始まると、あとは自動運転と同じ手順で湯はり・おいだき・保温をします。
- 予約運転は、予約時刻の30分前から湯はり運転を開始します。

仕組み 予約運転について

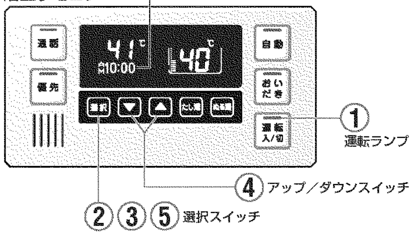
- 次のようなときは予約時刻になってもおふろが沸き上がらないことがあります。
  - ・湯はりが始まった後で給湯やシャワーを使用したとき。
  - ・冬期、ふろ設定温度を高くしたとき。
  - ・予約時刻を現在時刻の30分以内に設定したとき。
  - ・水温、水圧が低いとき。
  - ・ふろ設定水位(湯量)が高い(多い)とき。
  - ・残り湯があるとき。
- 予約運転中であっても現在時刻の変更ができますが、現在時刻を変更することで、予約時刻におふろが沸き上がらなかったり、自動運転が始まってしまうことがあります。

仕組み 排気口から湯気?

- 高効率タイプの機器は、熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

セルフクリーン機能

全自動タイプでは自動運転や予約運転でおふろを沸かした後には、おふろのお湯を抜くと、ふろ配管内に残ったお湯を自動的に洗い流す機能がついています(セルフクリーン機能)。次におふろを沸かすときに新しいお湯に残り湯が混ざることがなく、きれいなお湯で入浴できます。
浴室リモコンで設定します。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。



① 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

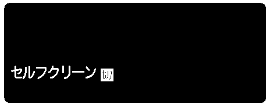
点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

現在選ばれている機能が表示されます。

③ 選択スイッチを続けて押して、「セルフクリーン」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面



④ ▼または▲スイッチを押して、「入」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面

⑤ 選択スイッチを押す。

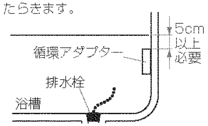
「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。
※設定を解除するときは、手順①～③の操作を行った後で、▼または▲スイッチを押して「切」にしてください。ただし、一部機種では「切」にできないものがあります。

浴室リモコンの表示画面

仕組み セルフクリーン機能について

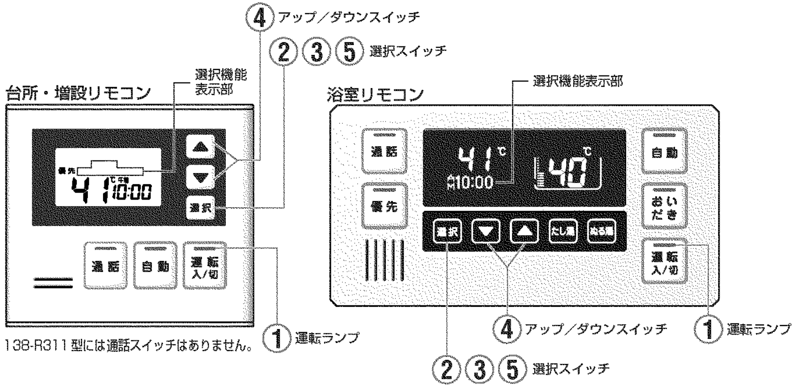
- ふろ温度によっては熱いお湯が出ますので、やけどにご注意ください。
- 排水栓を抜かなくても、循環アダプターより水位が下がると自動的に残り湯を洗い流します。
- 次のようなときはセルフクリーン機能が働かないことがあります。
  - ・もともと浴槽の水位が低い(循環アダプター上端から5cm以下)とき。
  - ・排水中に給湯やシャワーを使用したとき。
  - ・大型浴槽をご使用の場合や、配水管のゴミ詰まりなどにより、排水時間が長いとき。
  - ・自動運転中、「おふろが沸きました」というお知らせ音が鳴る前に自動運転を「切」にしたとき。
- 自動スイッチを「切」にしてもしばらくポンプが回っています。浴槽の排水栓を抜くのはポンプ停止後(循環アダプターからお湯が出なくなってから)にしてください。

排水栓を抜くときに、循環アダプターの上端より上に約5cm以上の水位があれば「セルフクリーン機能」がはたらきます。



暖房を使う

どのリモコンからでも、浴室暖房乾燥機の運転を開始することができます。ご使用の浴室暖房乾燥機によっては操作できないものもあります。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。(138-R311 型は除く)



138-R311 型には通話スイッチはありません。

① 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

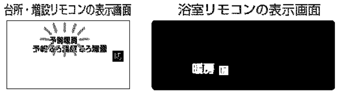
点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。
※台所リモコンでは、運転が「切」でも操作できます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

浴室リモコン：現在選ばれている機能が表示されます。
台所・増設リモコン：現在選ばれている機能が点滅します。

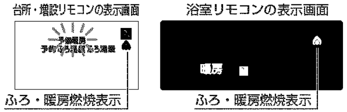
③ 選択スイッチを続けて押して、「暖房」を表示させる。

台所・増設リモコンでは「予備暖房」を点滅させます。



④ ▼または▲スイッチを押して、「入」を表示させる。

リモコンの表示画面にふろ・暖房燃焼表示が点灯し、暖房運転を開始します。



⑤ 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約 1 分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。

暖房運転をやめたいときは…

前ページの手順①～③の操作を行い、▼または▲スイッチを押して「切」を表示させます。
※浴室暖房の「入」「切」の設定は、リモコンの運転スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。

仕組み 浴室暖房乾燥機の温度調節について

- このリモコンでは、浴室暖房乾燥機の暖房運転の「入」「切」のみ行うことができます。暖房温度の調節やその他の設定は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。
- このリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を「入」にした場合、ワイヤレスタイプの浴室暖房乾燥機のリモコンには何も表示されず「切」のままになっています。暖房温度の調節などを行いたい場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンの運転スイッチも「入」にしてから行ってください。

ヒント 快適に浴室暖房をお使いいただくために

- 冬期の一番ぶろのときなど浴室が冷えている場合は、あらかじめ入浴前に暖房をしておくことで、入浴時に感じる肌寒さをやわらげることができます。
- 浴室暖房は、入浴される約 30 分前から行うことをお薦めします。
- 浴室の種類や大きさ、気温、湿度などの条件により浴室内が暖まる時間が異なります。暖房時間は浴室暖房乾燥機のリモコンで調節してください。

仕組み 排気口から湯気？

- 高効率タイプの機器は、熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

■ 浴室暖房乾燥機以外の暖房を使用する場合

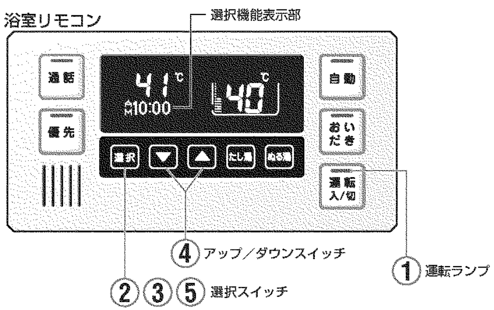
⚠警告	**低温やけどに注意** ●床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべっていると低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周囲の方の気配りが必要です。 ①乳幼児・寝たきりのお年寄り・ご病人など、自分の意志で体を動かせない方 ②疲労の激しいとき ③皮膚の弱い方 ④皮膚感覚の弱い方 ⑤お酒や睡眠薬を飲まれた方
⚠注意	●床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。 ●カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損し水漏れなどの原因となります。 ●パネルヒーターの表面にさわらないでください。やけどするおそれがあります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

暖房する部屋の温水暖房端末(浴室暖房乾燥機・パネルヒーター・床暖房リモコン)の運転スイッチを「入」にし、お好みの温度に調節します。(温水暖房端末の取扱説明書もご覧ください)

暖房運転中は、リモコンの表示画面にはふろ・暖房燃焼表示が点灯します。
※熱源機が供給する温水の温度を制御するため、ふろ・暖房燃焼表示が点いたり消えたりすることがあります。

浴室暖房を自動運転と連動させる

自動運転でおふろに湯はりをする際、浴室暖房乾燥機の暖房運転を開始（連動）することができます。ご使用の浴室暖房乾燥機によっては連動しないものもあります。
浴室リモコンで設定します。（台所・増設リモコンにはこの機能はありません）



① 運転ランプ（緑）が点灯していることを確認する。

点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

現在選ばれている機能が表示されます。

③ 選択スイッチを続けて押して、「連動」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面

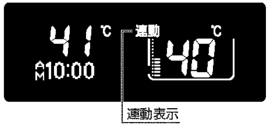
④ ▽または△スイッチを押して、「入」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面

⑤ 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。
台所リモコンの表示画面にも運動表示が点灯します。

浴室リモコンの表示画面

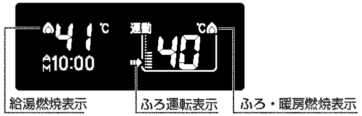


自動運転でお湯はりをした場合、浴室暖房乾燥機も同時に運転を開始します。

※自動運転終了時（自動ランプの消灯時）または、浴室暖房乾燥機のリモコンで設定された時間が経過すると、暖房運転は終了します。（ご使用の暖房端末により異なります）
※浴室暖房乾燥機の暖房時間の設定方法については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書をご覧ください。

台所・増設リモコンの表示画面

浴室リモコンの表示画面



暖房運転をやめたいときは…

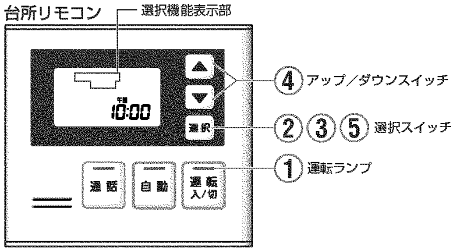
33ページの手順①～③の操作を行い、▽または△スイッチを押して「切」を表示させます。
※浴室暖房の「入」「切」の設定は、リモコンの運転スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。

暖房の運転音を下げる

台所リモコンで設定します。

① 運転ランプ（緑）が消灯していることを確認する。

点灯している場合は、運転スイッチを押して消灯させます。
※運転「切」の状態でのみ設定できます。



② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

現在選ばれている機能が点滅します。

③ 選択スイッチを続けて押して、「静音」を点滅させる。

台所リモコンの表示画面

④ ▽または△スイッチを押して、「入」を表示する。

台所リモコンの表示画面

⑤ 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。
※設定を解除するときは、手順①～③の操作を行った後、▽または△スイッチを押して「切」を表示させます。

台所リモコンの表示画面

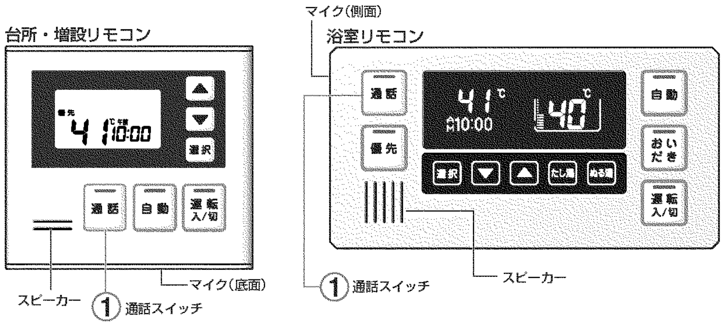
仕組み 静音運転について

- 静音運転にすると、暖房開始時など最大能力近くで暖房運転しているときに運転音を下げて運転することができます。（このとき、暖房能力は少し低下します）

※静音スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたらきます。

インターホンの使いかた

どのリモコンからでも通話できますが、台所リモコンと増設リモコン間での通話はできません。
運転スイッチの「入」「切」に関係なく通話できます。（138-R311 型には通話機能がありません。）



138-R311 型は通話スイッチ及び、マイクはありません。

浴室から台所や洗面所などへお話するとき

① 浴室リモコンの通話スイッチを押します。

通話スイッチのランプ(黄)が点灯して、「ピーッピピピ」という呼び出し音が鳴ります。
このとき台所・増設リモコンでは通話スイッチのランプ(黄)が点滅して、「ピーッピピピ」という呼び出し音が鳴ります。
（138-R311 型は「ピーッピピピと５回」呼び出し音が鳴ります。

② 通話できます。

呼び出し音が鳴ってからゆっくりマイクに向かって話をすると、台所・増設リモコンで声が聞こえます。
台所・増設リモコン側で通話スイッチが押されている間は、浴室リモコンの通話スイッチのランプ(黄)は点滅します。この間は台所・増設リモコンからの声が聞こえます。再び浴室リモコンから話したいときは、通話スイッチのランプ(黄)が点滅から点灯に変わってからゆっくりと話しはじめてください。
台所・増設リモコンからの通話中(浴室リモコンの通話スイッチのランプ(黄)が点滅中)でも、浴室リモコンの通話スイッチを押すと浴室から通話できるようになります。（浴室リモコンの通話スイッチのランプ(黄)が点滅から点灯に変わります）

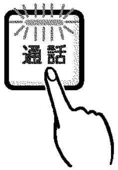
③ 通話を終了するときは。

台所・増設リモコンからの通話状態が終了してから約１分たつと、通話スイッチのランプ(黄)が消灯します。浴室リモコン側からしか通話をしなかった場合は、通話スイッチを押してから約１分で終了します。
途中で止めたいときは、浴室リモコンの通話スイッチを再度押して、通話スイッチのランプ(黄)を消灯させてください。

台所や洗面所などから浴室へお話するとき

① 台所・増設リモコンの通話スイッチを押したままにします。

通話スイッチのランプ(黄)が点灯して、「ピーッピピピ」という呼び出し音が鳴ります。
このとき浴室リモコンでは通話スイッチのランプ(黄)が点滅して、「ピーッピピピ」という呼び出し音が鳴ります。



② 通話できます。

通話スイッチを押したままゆっくりマイク近辺に向かって話しをすると、浴室リモコンで声が聞こえます。
通話スイッチから指をはなすと、通話スイッチのランプ(黄)が点滅します。点滅中は浴室リモコンからの声が聞こえます。再び台所・増設リモコンから話したいときは、再度通話スイッチを押しながら話してください。

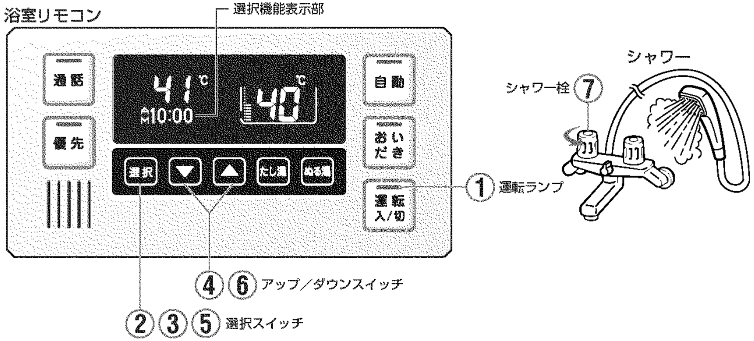
③ 通話を終了するときは。

通話が終了後、通話スイッチから指をはなして約１分たつと、通話スイッチのランプ(黄)が消灯します。
途中で止めたいときは、台所・増設リモコンの通話スイッチを押して、通話スイッチのランプ(黄)を消灯させてください。

- 通話の際は浴室または脱衣所(台所)の扉を閉めてください。扉を開けた状態で通話すると、ハウリング(キーンという大きな音)が起こることがあります。
- シャワーや浴室暖房乾燥機をお使いの際は、騒音によってインターホンが聞こえにくくなりますので、一時シャワーなどの使用を中止してください。
- 台所(増設)リモコンの周囲に換気扇などがあると、騒音で通話が聞こえにくくなりますので、一時換気扇などの使用を中止してください。
- 通話の際はリモコンから約 50cm はなれた距離で話してください。
- 言葉が途切れたり、声が小さいときは、リモコンに近付いて話してください。
- 通話音量や通話の呼び出し音の大きさは変更できません。
- 浴室リモコンと台所・増設リモコンの両方から同時に話すことはできません。通話スイッチのランプ(黄)が点灯している側が話をする側になります。
- おふろの自動運転やおいだきなどのふろ運転中も通話できますが、通話スイッチが点灯中のリモコンでは、この間の音声(「おふろが沸きました」など)やメロディー・操作確認音は出なくなります。
- 通話中に運転スイッチなどを操作すると、スイッチを押した音が相手に聞こえることがあります。
- 通話スイッチのランプ(黄)が点灯(または点滅)している間は、選択スイッチは動作しません。このため通話中は、時計合わせやふろ温度・水位の設定・音声やメロディーの音量などの変更はできません。
- 使用環境によっては、通話音声に雑音が混ざったり、通話音声が一瞬途切れることがありますが、これはリモコンの故障ではありません。
- 浴室リモコンを浴室テレビユニットに取り付けてお使いの場合は、テレビの音量を小さくするか、テレビを「切」にしてから通話してください。テレビの音声で相手の話声が聞き取りにくくなります。

ゆらぎのシャワー

湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。
浴室リモコンで操作します。インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。



① 運転ランプ(緑)が点灯していることを確認する。

点灯していない場合は、運転スイッチを押して点灯させます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

現在選ばれている機能が表示されます。

③ 選択スイッチを続けて押して、「ゆらぎ」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面

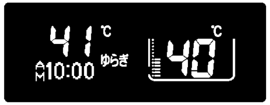
④ ▽または△スイッチを押して、「入」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面

⚠注意	ゆらぎのシャワー使用時には…
	●高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。 ●やけど防止のため、おふろ(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。 ●下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。 ・妊娠中の方 ・医者から入浴を禁じられている方 ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方 ・高血圧の方／体力の弱っている方／体調の悪い方

⑤ 選択スイッチを押す。

浴室リモコンの表示画面



「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。
通常画面に戻ると、ゆらぎ表示が点灯します。

⑥ ▽または△スイッチを押して、シャワーの温度を決める。

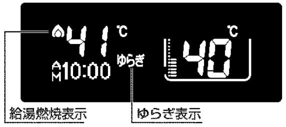
ゆらぎのシャワー温度

39 40 41 42 43 44

設定できる温度は、39℃～44℃の6段階です。
給湯設定温度が上記以外のときに「ゆらぎ」を「入」にすると、設定温度が35℃・37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

⑦ シャワー栓を開いて、ゆらぎのシャワーを使う。

浴室リモコンの表示画面

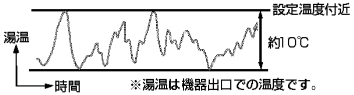


※台所・増設リモコンにもゆらぎ表示が点灯します。

表示画面にゆらぎ表示とともに、給湯燃焼表示が点灯します。
ゆらぎのシャワーは連続で15分間使用できます。15分経過後は、手順で設定したお湯の温度が出ます。
15分経過しないうちにシャワー栓を閉じると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎ表示も消灯します。

※ゆらぎのシャワーを終了したあとは、必ず給湯温度表示を確認してください。
ゆらぎのシャワーを使用する前の給湯設定温度が35℃・37℃・38℃・45℃以上だったときは、手順⑥で給湯温度を変更しなかった場合でも、ゆらぎのシャワー終了後も給湯設定温度はそれぞれ39℃・39℃・39℃・44℃となります。

仕組み ゆらぎのシャワーについて



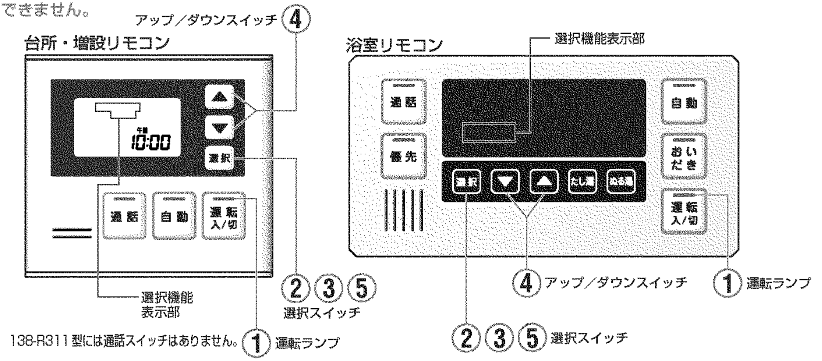
- ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が台所リモコンか増設リモコンに移り、給湯設定温度も台所リモコンか増設リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。
- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモスタット式混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
- サーモスタット式混合水栓の場合は、水を混ぜないようにするため、混合水栓の設定温度を最高にしてお使いください。
なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

仕組み 排気口から湯気?

- 高効率タイプの機器は、熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

音声やメロディーの大きさを変える

リモコンから出る音声やメロディの大きさを変えることができます。各リモコンそれぞれで操作してください。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません(138-R311 型は除く)。また、インターホンの音量は変更できません。



① 運転ランプ(緑)が消灯していることを確認する。

点灯している場合は、運転スイッチを押して消灯させます。
※運転「切」の状態でのみ設定できます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

浴室リモコン:現在選ばれている機能が表示されます。
台所・増設リモコン:現在選ばれている機能が点滅します。

③ 選択スイッチを続けて押して、「音量」を表示させる。

台所・増設リモコンでは「音量」を点滅させます。

台所・増設リモコンの表示画面 浴室リモコンの表示画面

④ ▼または▲スイッチを押して、音量を変更する。

台所・増設リモコンの表示画面 浴室リモコンの表示画面

お買上げの際は、中(標準)にセットされています。
音声と湯はり完了の音楽の音量については、下表のように変わります。
音量を小さくすると、お知らせ音が聞こえにくいことがありますのでご注意ください。
一度設定した音量は変更するまで記憶しています。
音声を消しても、注意を喚起する音声だけは消すことはできません。

▼▲スイッチを押したときにお知らせする音声		台所・増設リモコンの表示	浴室リモコンの表示	音声	湯はり完了の音楽
▲を押す	(ピッ)音声は大です	3	音声 大	大	大
初期設定	(ピッ)音声は標準です	2	音声 中	中	中
▼を押す	(ピッ)音声は小です	1	音声 小	小	小
▼を押す	(ピッ)音声を消します	0	音声 消	なし	中(ブザー音)
▼を押す	(ピッ)音を消します	–	音 なし	なし	なし

ローテーションします

⑤ 選択スイッチを押す。

台所・増設リモコンの表示画面 浴室リモコンの表示画面

＊画面が消灯します。

各スイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。
( )内は同時に出る電子音など、○○℃は設定される温度

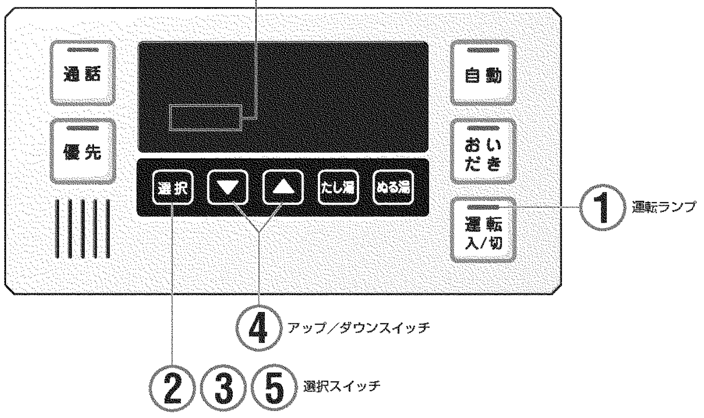
	操作するスイッチ・条件など				浴室リモコンから出る音声	台所・増設リモコンから出る音声
浴室リモコンでの操作	運転(「入」にする)		給湯温度が60℃以外		(ピッ)	
			給湯温度が60℃のとき		(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
	優先	浴室→台所へ優先切替	給湯設定温度変化なし	台所60℃	(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)	
			給湯設定温度変化あり	台所60℃	(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更されました	給湯温度が変更されました
		台所→浴室へ優先切替	給湯設定温度変化なし	浴室60℃	(ピッ)あついお湯が出ます 給湯温度が変更できます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更できます	
			給湯設定温度変化あり	浴室60℃	(ピッ)あついお湯が出ます 給湯温度が変更できます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更できます	給湯温度が変更されました
	給湯温度▲		浴室リモコン優先のとき		(上がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度(60℃設定)				(上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	あついお湯が出ます
	給湯温度▼				(下がるメロディー) 給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度▼または▲		台所・増設リモコン優先のとき		給湯温度は変更できません	
	自動		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯はりをします	お湯はりをします
			湯はり終了5分前	音量設定大・中・小	(ピッピッピッと約5回)残りおよそ5分でおふろに入れます	(ピッピッピッと約5回)残りおよそ5分でおふろに入れます
				音量設定音声消	(ピッピッピッと約5回)	(ピッピッピッと約5回)
			自動湯はり終了時	音量設定大・中・小	(音楽)おふろが沸きました	(音楽)おふろが沸きました
				音量設定音声消	(ピピピピッと約5回)	(ピピピピッと約5回)
	おいだき		スイッチを押したとき		(ピッ)おいだきをします	
	たし湯		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯をたします	
	ぬる湯		スイッチを押したとき		(ピッ)水をたします	
	ゆらぎのシャワー ※		▼または▲		(ピッ)	
	ふろ温度 ※		▲		(上がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
			▼		(下がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
	湯量 ※		▲		(上がるメロディー)	
			▼		(下がるメロディー)	
	ふろ保温時間・暖房・連動セルフクリーン ※		▼または▲		(ピッ)	
	音量 ※	▲を押す	音声 大		(ピッ)音声は大です	
		初期設定	音声 中		(ピッ)音声は標準です	
		▼を押す	音声 小		(ピッ)音声は小です	
		▼を押す	音声 消		(ピッ)音声を消します	
		▼を押す	音 なし		(ピッ)音を消します	
	通話				(ピーーッピピピ)	(ピーッピピピ)(138-R311型はピーッピピピと5回)

	操作するスイッチ・条件など				台所・増設リモコンから出る音声	浴室リモコンから出る音声
台所・増設リモコンでの操作	運転(「入」にする)		給湯温度が60℃以外		(ピッ)	
			給湯温度が60℃のとき		(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
	給湯温度▲		台所・増設リモコン優先のとき		(上がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度(60℃設定)				(上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	あついお湯が出ます
	給湯温度▼				(下がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度▼または▲		浴室リモコン優先のとき		給湯温度は変更できません	
	自動		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯はりをします	お湯はりをします
			湯はり終了5分前	音量設定大・中・小	(ピッピッピッと約5回)残りおよそ5分でおふろに入れます	(ピッピッピッと約5回)残りおよそ5分でおふろに入れます
				音量設定音声消	(ピッピッピッと約5回)	(ピッピッピッと約5回)
			自動湯はり終了時	音量設定大・中・小	(音楽)おふろが沸きました	(音楽)おふろが沸きました
				音量設定音声消	(ピピピピッと約5回)	(ピピピピッと約5回)
	ふろ温度 ※		▲		(上がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
			▼		(下がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
	湯量 ※		▲		(上がるメロディー)	
			▼		(下がるメロディー)	
	音量※	▲を押す	3		(ピッ)音声は大です	
		初期設定	2		(ピッ)音声は標準です	
		▼を押す	1		(ピッ)音声は小です	
		▼を押す	0		(ピッ)音声を消します	
		▼を押す	–		(ピッ)音を消します	
	時計設定・ふろ予約 ※		▼または▲		(ピッ)	
	静音・予備暖房 ※		▼または▲		(ピッ)	
	通話				(ピーッピピピ)(138-R311型はピーッピピピと5回)	(ピーッピピピ)

※この操作項目は機能選択モードにして設定する項目です。▼▲スイッチで変更する際に音声ガイダンスがある項目以外は、選択スイッチを押して設定確定後に「設定しました」とお知らせします。

リモコンの節電設定をする

浴室リモコンで設定します。セーブモード(表示の節電機能)とは、リモコンの待機電力の低減(省電力)を目的とした機能です。セーブモードが「入」のときは、時間が経過すると自動的に表示画面が消えます。
台所・増設リモコンにはこの機能はありません。
インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。



① 運転ランプ(緑)が消灯していることを確認する。

点灯している場合は、運転スイッチを押して消灯させます。
※運転「切」の状態でのみ設定できます。

② 選択スイッチを押して、機能選択モードにする。

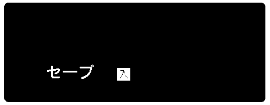
現在選ばれている機能が表示されます。

③ 選択スイッチを続けて押して、「セーブ」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面

④ ▼または▲スイッチを押して、「入」を表示させる。

浴室リモコンの表示画面



⑤ 選択スイッチを押す。

「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。
選択スイッチを押さない場合でも、スイッチ操作をしないで約1分経過すると、自動的に設定が完了し、通常画面に戻ります。
※セーブを「切」にするときは、手順①～③の操作を行った後で▼または▲スイッチを押して「切」にしてから選択スイッチを押します。

浴室リモコンの表示画面

＊画面が消灯します。

仕組み　リモコンの表示電力の消費を防ぐセーブモード「入」

- リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えて、運転スイッチのランプ(緑)のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、優先ランプ(オレンジ)も点灯します。

※いずれかのスイッチ(▼・▲・運転スイッチを除く)を押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。

- 湯はり運転中および給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電(セーブモード)機能は働きません。
- 表示画面が消灯している時に熱源機が暖房のための燃焼を開始すると、表示画面にはふろ・暖房燃焼表示のみが点灯します。
- 電源を「入」にした後(停電が復帰した後)給湯栓を1度も開けていない状態では、表示画面は消えません。1度給湯を使用してください。給湯したり、いずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。

仕組み　台所・増設リモコンは…

- 台所・増設リモコンは、スイッチ無操作状態1分経過後にバックライトを暗くする機能を搭載しています。再度スイッチ操作をすると、バックライトはもとの明るさに戻ります。
ただし、通話スイッチを押した場合には、バックライトは明るくなりません。

機器移設の再設定

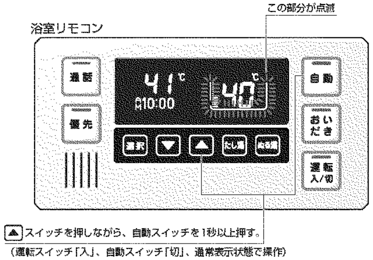
全自動タイプをお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

①現在記憶している記憶内容を消去する。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の▲スイッチを押しながら、自動スイッチを1秒以上押し続けてください。記憶内容が消去され、下図のように浴槽のマークが点滅します。
※電源プラグをコンセントから抜くだけでは、記憶内容の消去はできません。

②浴槽の残り湯をすべて排水する。

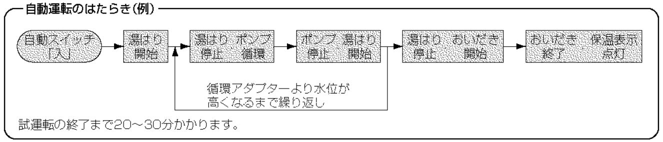
浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くかかったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。



③排水栓をしっかりと閉める。

④自動スイッチを押す(「入」にする)と自動湯はりが開始。

運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。
運転中何回か停止しますが異常ではありません。

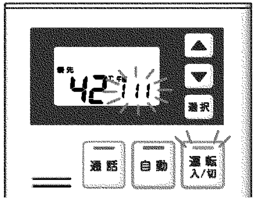


⑤試運転が終了し、浴槽サイズと水位の記憶が完了。

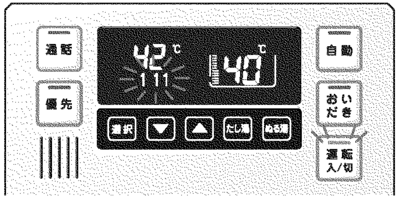
故障表示

機器が故障するとリモコンの表示画面の時刻表示部に下表のような故障表示が点滅し、運転ランプ(緑)も点滅します。

台所リモコン・増設リモコン



浴室リモコン



138-R311型には通話スイッチはありません。

故障表示	使用状態
032	自動・おいだき たし湯・ぬる湯
101	給湯・自動
103	自動・おいだき 暖房
111	給湯・自動 たし湯
113	自動・おいだき 暖房
121	給湯・自動 たし湯
123	自動・おいだき 暖房
140	給湯・おいだき 自動・たし湯
161	給湯・たし湯 自動・(おいだき)
163	自動・おいだき 暖房

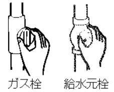
故障表示	使用状態
173	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯・ぬる湯
190	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯・ぬる湯
252	自動・おいだき
290	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯
310	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯・ぬる湯
312	自動・おいだき
313	自動・おいだき 暖房
321	給湯・たし湯 自動・(おいだき)
322	自動・おいだき
323	自動・おいだき 暖房

故障表示	使用状態
331	給湯・自動 たし湯
432	自動・おいだき
433	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯・ぬる湯
502	自動・たし湯 ぬる湯
521	給湯・自動 たし湯
523	自動・おいだき 暖房
543	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯・ぬる湯
611	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯
613	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯
632	自動・おいだき

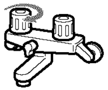
故障表示	使用状態
643	自動・おいだき 暖房
661	給湯・自動 たし湯
710	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯
721	給湯・たし湯 自動・(おいだき)
723	(給湯・たし湯) 自動・おいだき 暖房
901	給湯・自動
903	自動・おいだき 暖房
920	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯
930	給湯・暖房 自動・おいだき たし湯
991	給湯・自動
993	自動・おいだき 暖房

■ 故障表示が点滅したときは、次の操作をしてください。

①ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認する。



②お湯を使っている場所は、給湯栓を閉める。



③運転スイッチを「切」にして、再び「入」にする。

④再び使用してみる。

■ 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

101・103 を表示しているときは、お湯や暖房を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態になっています。920 を表示しているときも、しばらくはお湯や暖房を使うことはできますが、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

※リモコンの故障などの場合は、表示画面が点灯しなくなりますが、お湯を使うことはできるようになっています。ただしこの場合、高温(約50℃)のお湯が出ますので、使用には十分ご注意ください。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に次のことを確認してください。
機器本体については、本体取扱説明書の「修理を依頼される前に」を参照してください。

リモコンについて

■ 表示画面が点灯しない

- 機器本体の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ (📖P7)
- 停電していませんか？

■ リモコンの時刻表示が -:-- になっている

- 停電後、再通電すると表示画面の時刻が「 -:-- 」になります。再度設定をしなおしてください。(📖P8)

■ 停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう

- 停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。

■ 故障表示が点滅する

- 運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。 (📖P45)

■ リモコンの画面表示がいつの間にか消えている

- 節電設定が「入」になっている場合、機器使用後約25分たつと、画面表示が消えます。お湯を再使用するか、いずれかのスイッチを押すと操作したりモコンの画面表示が点灯します。(📖P43・44)

■ スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない

- 節電(セーブモード)がはたらいて、リモコンの画面表示が消えているときに ▼・▲・運転スイッチを押すと、通常の表示画面に戻ります。再度スイッチを押すと、そのスイッチの動作をします。 (📖P43・44)
運転スイッチの「入」・「切」は、運転スイッチのランプ(緑)の点灯・消灯で確認してください。

⚠危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

060 00012 56147 0

U266-896×01 (02)
070403Ⓚ

PRINTED WITH SOY INK

再生紙を使用しています。

大阪ガス

取扱説明書

138-R005型リモコンセット
138-R006型インターホンリモコンセット
138-R009型浴室リモコン
138-R003型増設リモコン

主な機能紹介

各部のなまえとはたらき

安全上のご注意

お使いになる前の準備

給湯を使う

おふろを入れる

おふろに入って操作する

インターホンの使いかた

便利な使いかた

おふろから出たあとに

暖房を使う

知っておいてください

ご愛用の皆様へ

このたびはリモコンセットをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- **ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。**
- **ご使用の熱源機本体の取扱説明書も併せてご覧ください。**
- **取扱説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管し、使用方法が分からなくなったときにお読みください。**
- **この製品は国内専用です。**

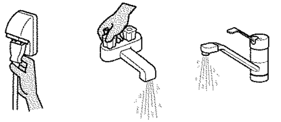
家庭用

主な機能紹介

お使いになる前の準備

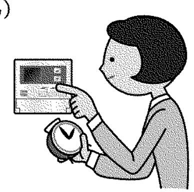
初めてお使いのとき
くわしくは13ページ

初めて使うときは、次の準備が必要です。
① 給水元栓を全開にする
② 給湯栓を開け、水が出ることを確認する
③ 電源プラグをコンセントに差し込む
④ ガス栓を全開にする



時計を合わせる
くわしくは14ページ

現在時刻を合わせます。
（現在時刻を合わせないと予約運転ができません）

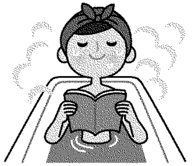


おふろを入れる

自動運転で入れる
くわしくは18ページ

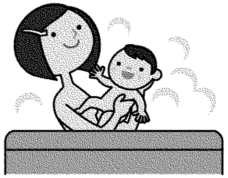
スイッチ、ポンで湯はりができ、湯はりが終わると音楽と音声でお知らせします。

湯量（水位）を調節する
くわしくは21·23ページ



お好みに合わせて、おふろの湯量（水位）を設定して湯はりができます。

温度を調節する
くわしくは25ページ



お好みに合わせて、おふろの温度を設定して湯はりができます。

保温時間を変更する
くわしくは26ページ

おふろを保温する時間が変更できます。

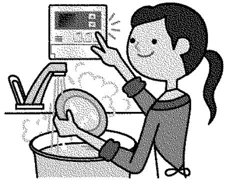
給湯を使う

給湯温度を調節する
くわしくは15ページ

シャワー・台所・洗面所などの給湯温度を調節します。

優先スイッチの使いかた
くわしくは17ページ

給湯温度が調節できるリモコンを切り替えます。



おふろに入って操作する

おふろをあつくする

くわしくは27ページ

おいだき運転を行い、おふろをあつくします。

おふろをぬるくする
くわしくは28ページ

浴槽に約10リットル注水して、おふろをぬるくします。

お湯をふやす

くわしくは29ページ

設定温度のお湯を約20リットルふやします。

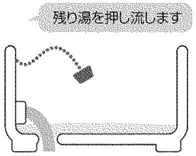
浴室から人を呼びたいとき（138-R005型のみ）
くわしくは30ページ

インターホンの使いかた（138-R006型のみ）
くわしくは31ページ

おふろから出たあとに

セルフクリーン機能
くわしくは42ページ

おふろのお湯を抜くと配管内に残ったお湯を自動的に排出します。
※全自動タイプのみ



主な機能紹介

便利な使いかた

- リモコン表示を節電する「セーブモード」 •••くわしくは33ページ
- お好きな時間におふろを入れる「予約運転」 •••くわしくは35ページ
- リフレッシュにも効果がある「ゆらぎのシャワーを使う」 •••くわしくは37ページ
- 音声やメロディーの大きさ(音量)を変更する •••くわしくは39ページ
- 増設リモコンの操作音を消す •••くわしくは41ページ

暖房を使う (下記のページは給湯暖房機をお使いの場合のみお読みください。)

- 暖房の使いかた •••くわしくは43ページ

※下記の記載については、熱源機本体の取扱説明書の該当ページも併せてご参照ください。

記　　載	本体取扱説明書の項目名
安全・快適にご使用いただくためにぜひお読みいただきたい内容	「安全上のご注意」
お客様がご使用の熱源機本体の各部の名称	「各部のなまえとはたらき」
凍結予防の方法	「冬期の凍結による破損防止について」
熱源機本体の点検やお手入れの方法	「点検・お手入れのしかた」
熱源機本体の症状別の対処法	「故障かな？と思ったら」
仕様表・能力表	「主な仕様・能力表」
アフターサービスや保証、熱源機の修理・移設に関する内容	「アフターサービスについて」

詳細もくじ

●主な機能紹介 1

●各部のなまえとはたらき 5
- 浴室リモコン(スイッチ) 5
- 浴室リモコン(表示画面) 8
- 台所リモコン(スイッチ) 9
- 増設リモコン(スイッチ) 10
- 台所・増設リモコン(表示画面) 10

●安全上のご注意 11

●お使いになる前の準備 13
- 初めてお使いのとき 13
- 時計を合わせる 14

●給湯を使う 15
- 給湯温度を調節する 15
- 優先スイッチの使いかた 17

●おふろを入れる 18
- 自動運転でおふろを入れる 18
- おふろの湯量(水位)を調節する(全自動タイプ) 21
- おふろの湯量(水位)を調節する(自動湯はりタイプ) 23
- おふろの温度を調節する 25
- おふろの保温時間を変更する 26

●おふろに入って操作する 27
- おふろをあつくする(おいだき) 27
- おふろをぬるくする 28
- おふろのお湯をふやす 29
- 浴室から人を呼びたいとき 30

■インターホンの使いかた 31
- 浴室から台所へお話する 31
- 台所から浴室へお話する 32

●便利な使いかた 33
- リモコン表示を節電する(セーブモード) 33
- お好きな時間におふろを入れる(予約運転) 35
- ゆらぎのシャワーを使う 37
- 音声やメロディーの大きさ(音量)を変更する 39
- 増設リモコンの操作音を消す 41

●おふろから出たあとに 42
- セルフクリーン機能 42

★暖房を使う 43
- 暖房の使いかた 43

●知っておいてください 44
- 故障かな？と思ったら 44
- 機器移設の再設定 45
- アフターサービスについて 46

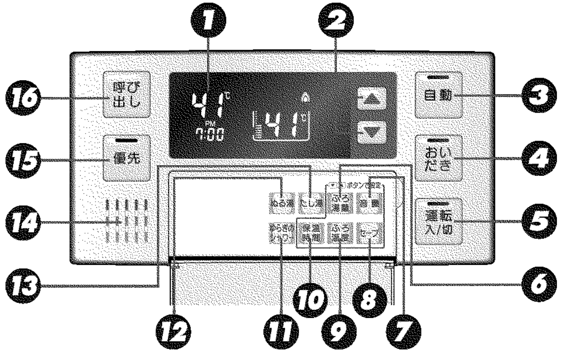
※「■インターホンの使いかた」は138-R006型インターホンリモコン特有の機能です。他のリモコンセットをお使いの場合は、この頁は関係ありません。

※「★暖房を使う」は給湯暖房機(熱源機本体の品名が135-で始まるもの)をお使いの場合のみお読みください。ふろ給湯器(熱源機本体の品名が131-で始まるもの)をお使いの場合は、この頁は関係ありません。

各部のなまえとはたらき

浴室リモコン(スイッチ)(138-R005型の浴室リモコン)

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。
- 表示画面の説明については8ページをご覧ください。



❶表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸自動スイッチ／ランプ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。
(18ページ参照)

❹おいだきスイッチ／ランプ(黄緑)
おふろのおいだきをするときに押します。
(27ページ参照)

❺運転スイッチ／ランプ(黄緑)
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。

❻ふろ湯量スイッチ
おふろへの湯はり量を変えるときに押します。
(21・23ページ参照)

❼音量スイッチ
音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるときに押します。(39ページ参照)

❽セーブスイッチ
画面表示の節電設定を行うときに押します。
(33ページ参照)

❾ふろ温度スイッチ
おふろの温度を変えるときに押します。
(25ページ参照)

❿保温時間スイッチ
おふろの保温時間を変えるときに押します。
(26ページ参照)

⓫ゆらぎのシャワースイッチ
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。
(37ページ参照)

⓬ぬる湯スイッチ
おふろのお湯をぬるくしたいときに押します。
(28ページ参照)

⓭たし湯スイッチ
おふろのお湯をふやしたいときに押します。
(29ページ参照)

⓮スピーカー
ここから音声が出ます。

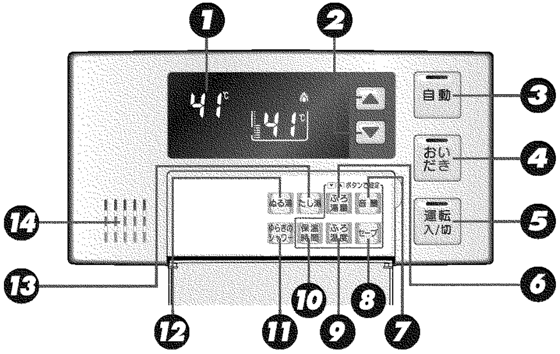
⓯優先スイッチ／ランプ(オレンジ)
給湯温度の優先権を切り替えるときに押します。
(17ページ参照)

⓰呼び出しスイッチ
押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴ります。(このスイッチにランプはありません)
(30ページ参照)

お願い
- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

浴室リモコン(スイッチ)(138-R009型浴室単独設置リモコン)

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- 表示画面の説明については8ページをご覧ください。



❶表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸自動スイッチ／ランプ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。
(18ページ参照)

❹おいだきスイッチ／ランプ(黄緑)
おふろのおいだきをするときに押します。
(27ページ参照)

❺運転スイッチ／ランプ(黄緑)
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。

❻ふろ湯量スイッチ
おふろへの湯はり量を変えるときに押します。
(21・23ページ参照)

❼音量スイッチ
音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるときに押します。(39ページ参照)

❽セーブスイッチ
画面表示の節電設定を行うときに押します。
(33ページ参照)

❾ふろ温度スイッチ
おふろの温度を変えるときに押します。
(25ページ参照)

❿保温時間スイッチ
おふろの保温時間を変えるときに押します。
(26ページ参照)

⓫ゆらぎのシャワースイッチ
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。
(37ページ参照)

⓬ぬる湯スイッチ
おふろのお湯をぬるくしたいときに押します。
(28ページ参照)

⓭たし湯スイッチ
おふろのお湯をふやしたいときに押します。
(29ページ参照)

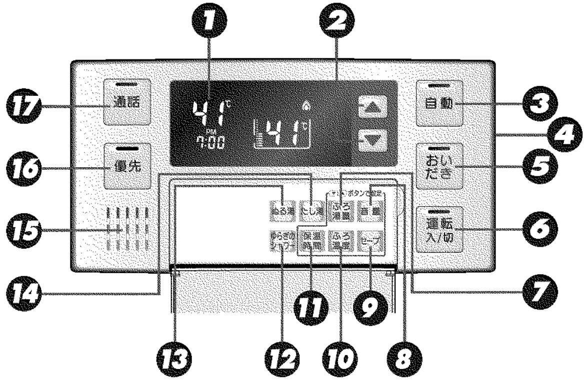
⓮スピーカー
ここから音声が出ます。

お願い
- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

各部のなまえとはたらき

浴室リモコン(スイッチ)(138-R006型の浴室リモコン)

- 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。



❶表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸自動スイッチ/ランプ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。
(18ページ参照)

❹マイク(側面)
通話するときに使います。マイクは内蔵されているため、外からは見えません。

❺おいだきスイッチ/ランプ(黄緑)
おふろのおいだきをするときに押します。
(27ページ参照)

❻運転スイッチ/ランプ(黄緑)
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。

❼ふろ湯量スイッチ
おふろへの湯はり量を変えるときに使います。
(21・23ページ参照)

❽音量スイッチ
音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるときに使います。(39ページ参照)

❾セーブスイッチ
画面表示の節電設定を行うときに使います。
(33ページ参照)

❿ふろ温度スイッチ
おふろの温度を変えるときに使います。
(25ページ参照)

⓫保温時間スイッチ
おふろの保温時間を変えるときに使います。
(26ページ参照)

⓬ゆらぎのシャワースイッチ
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。
(37ページ参照)

⓭ぬる湯スイッチ
おふろのお湯をぬるくしたいときに押します。
(28ページ参照)

⓮たし湯スイッチ
おふろのお湯をふやしたいときに押します。
(29ページ参照)

⓯スピーカー
ここから音声が出ます。

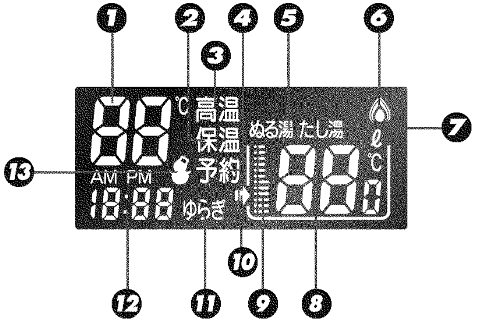
⓰優先スイッチ/ランプ(オレンジ)
給湯温度の優先権を切り替えるときに押します。
(17ページ参照)

⓱通話スイッチ/ランプ(黄)
台所リモコンと通話するときに使います。
(31ページ参照)

お願い
- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

浴室リモコン(表示画面)

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。
- 138-R009型浴室単独設置リモコンは、時刻表示が出ません。



❶給湯温度表示(単位℃を含む)
給湯温度のめやすを表示します。

❷保温表示
おふろのお湯を保温中に表示します。

❸高温表示(赤)
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。

❹予約表示
おふろの予約をしたときに表示します。

❺ぬる湯表示
ぬる湯運転中に点灯します。

❻燃焼表示(赤)
機器が燃焼しているときに点灯します。

❼たし湯表示
たし湯運転中に点灯します。

❽ふろ温度表示(単位℃を含む)
おふろの温度のめやすを表示します。
ふろ湯量表示
湯量設定時はふろ温度表示が湯量(水位)表示に変わります。

❾水位表示
おふろへの湯はり量のめやすを表示します。
実際の浴槽での水位とは一致しません。

❿ふろ運転表示
自動・おいだき・たし湯・ぬる湯運転中およびふろの凍結予防運転中に点灯します。

⓫ゆらぎ表示
この表示が点灯中はゆらぎのシャワーが使用できます。

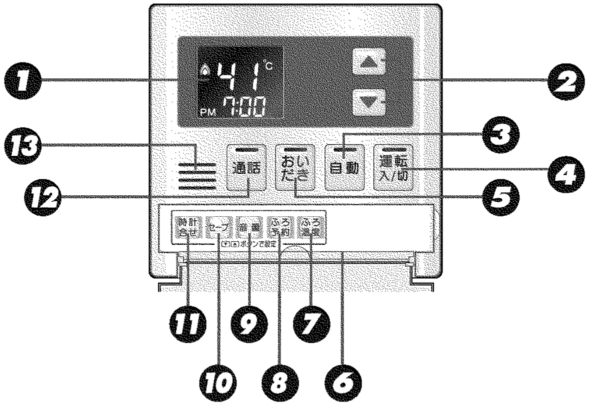
⓬時刻表示
※138-R009型は時刻表示が出ません。
現在時刻を表示します。
故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。(44ページ参照)

⓭凍結予防表示
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。

各部のなまえとはたらき

台所リモコン(スイッチ)(138-R005・R006型の台所リモコン)

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- 138-R005型の台所リモコンには、マイクと通話スイッチがありません。



❶**表示画面**
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷**給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸**自動スイッチ/ランプ(赤)**
おふろに湯はりをするときに押します。
(18ページ参照)

❹**運転スイッチ/ランプ(黄緑)**
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」(表示画面点灯)にします。

❺**おいだきスイッチ/ランプ(黄緑)**
おふろのおいだきをするときに押します。
(27ページ参照)

❻**マイク(底面)**
※138-R005型にはありません。
通話するときに使います。

❼**ふろ温度スイッチ**
おふろの温度を変えるときに使います。
(25ページ参照)

❽**ふろ予約スイッチ**
おふろの予約をするときに使います。
(35ページ参照)

❾**音量スイッチ**
音声やメロディーの大きさ(音量)を変えるときに使います。(39ページ参照)

❿**セーブスイッチ**
画面表示の節電設定を行うときに使います。
(33ページ参照)

⓫**時計合せスイッチ**
リモコンの時計を合わせるときに使います。
(14ページ参照)

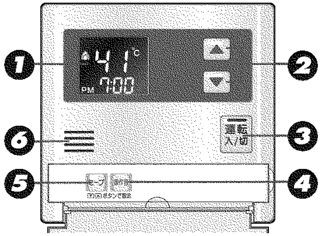
⓬**通話スイッチ/ランプ(黄)**
※138-R005型にはありません。
浴室リモコンと通話するときに使います。
(31ページ参照)

⓭**スピーカー**
ここから音声が出ます。

お願い
- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

増設リモコン(スイッチ) 138-R003

- 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ、手もとで給湯温度を変えることができます。



❶**表示画面**
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷**給湯温度スイッチ**
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸**運転スイッチ/ランプ(黄緑)**
お湯を使うときは「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。

❹**操作音スイッチ**
操作音を消すときに使います。(41ページ参照)

❺**セーブスイッチ**
画面表示の節電設定を行うときに使います。
(33ページ参照)

❻**スピーカー**
ここから音が出ます。

お願い
- スピーカーの穴に水滴が入ると、音が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

台所・増設リモコン(表示画面)

- **スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。**
- **表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。**

❶**優先表示(オレンジ)**
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。

❷**凍結予防表示**
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。

❸**高温表示(赤)**
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。

❹**保温表示**
おふろのお湯を保温中に点灯します。

❺**ふろ表示(オレンジ)**
※138-R003はふろ表示が出ません。
おふろの温度を表示しているときに点灯します。

❻**予約表示**
おふろの予約をしたときに点灯します。

❼**時刻表示**
現在時刻や予約時刻を表示します。
故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。(44ページ参照)

❽**給湯・ふろ温度表示(単位℃を含む)**
給湯温度のめやすを表示します。
ふろ温度設定時はふろ設定温度を表示します。

❾**燃焼表示(赤)**
機器が燃焼しているときに点灯します。

安全上のご注意

**この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。**

内容の区分

表示	⚠危険	⚠警告	⚠注意
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

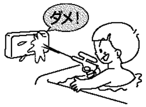
傷　　害：　治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害：　家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の意味

一般的な危険 警告 注意	火災注意	一般的な禁止
触れるな	ぬれ手禁止	分解禁止
必ず行う	電源プラグをコンセントから抜け	必ずアース線を接続せよ

⚠お願い

リモコンの取り扱いについて



- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。マイクやスピーカーの穴に水膜がはり、マイクの感度が落ちたり、スピーカーの音が聞こえにくくなります。また、台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。
- お子様がいたずらしないよう注意してください。思わぬ事故や故障の原因になります。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。故障の原因となります。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因となります。
- スピーカーに耳を近付けて使用しないでください。大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こす恐れがあります。

リモコンの設置場所について

- 室温が55℃を超えるサウナなどへは取り付けないでください。
  (5～55℃の範囲で使用してください)
  故障の原因となります。
- 138-R006型は、浴室リモコンと台所リモコンの設置場所が近い場合、ハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は施工店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
  画像や音声が乱れることがあります。

お手入れの際の注意

- けがには十分ご注意ください。
- リモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。

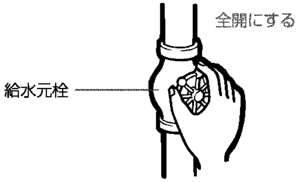
別売部品について

- 138-R006型をご使用の場合、他のインターホンリモコンや、リモコン通信線を利用した機器などの別売部品と接続できない場合があります。他の別売部品をお求めの際は、事前にインターホンリモコンとの接続の可否をご確認ください。

初めてお使いのとき

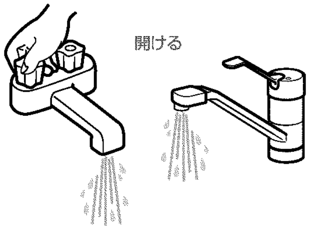
1 給水元栓を全開にする。

給水元栓は機器の下部にあります。



2 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める。

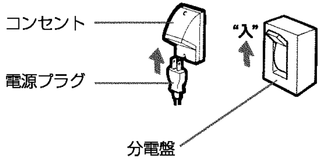
給湯栓はお湯の使用場所にあります。
すべての給湯栓について確認してください。
※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にした状態で確認してください。



> ⚠注意 サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む。

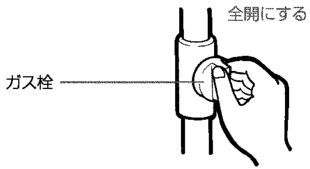
コンセントは機器付近の壁などにあります。
分電盤の専用スイッチを「入」にしてください。



> ⚠注意 ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

4 ガス栓を全開にする。

ガス栓は機器の下部にあります。



時計を合わせる

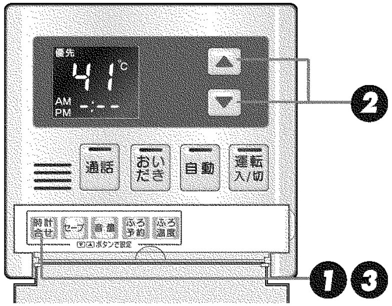
●台所リモコンで設定します。
※以下の説明は138-R006型のイラストで行いますが、他のリモコンでの操作も同様です。

お知らせ
・現在時刻を合わせないと予約運転ができません。

● 時刻が設定されていない状態で、[運転入/切]を「入」にしたときは表示画面の時刻表示に「AM PM -:- -」が点灯します。

● 138-R006型で、インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。

台所リモコン

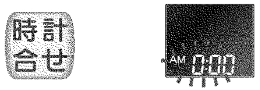


● [運転入/切]が「切」または「入」のどちらの状態でも時計合わせができます。

画面表示／補足

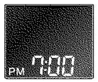
1 台所リモコンのフタを開け、[時計合せ]を押す。

● 表示画面に時刻表示に「AM 0:00」が点滅します。



2 [▼]または[▲]を押して、現在の時刻に合わせる。

[▲]を押し続ける：10分単位で進みます。
[▼]を押し続ける：10分単位で戻ります。
現在の時刻に近付いたら、1回ずつ押して1分ごと設定します。



3 [時計合せ]を押す。

● **『設定しました』**とお知らせして、設定が完了します。
● [時計合せ]を押した瞬間に秒は0秒になります。時報などに合わせて押すと、より正確な時刻になります。
● 時刻合わせが完了すると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。

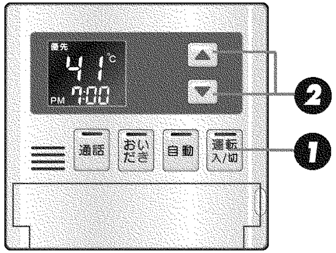
※[時計合せ]を押さなくても、運転スイッチを「切」にしたりそのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。
※運転スイッチを「切」にすると、時計表示は消灯します。

お願い
・午前(AM)と午後(PM)を間違えないようにご注意ください。
・電源プラグが抜けた場合や停電後には AM PM -:- - の表示になります。再度時刻を合わせてください。

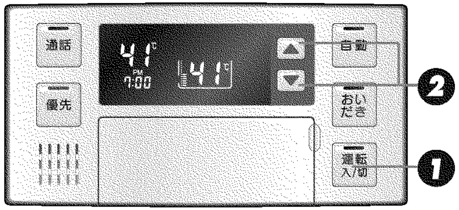
給湯温度を調節する

●どのリモコンでも操作できます。

台所・増設リモコン



浴室リモコン



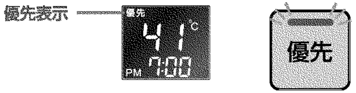
1 [運転 入/切] を「入」にし、優先表示または優先ランプが点灯していることを確認する。

※点灯しないときは17ページをご覧ください。
※138-R009型には優先ランプがありませんので、表示画面が点灯していることを確認してください。

画面表示／補足

台所・増設リモコン　浴室リモコン

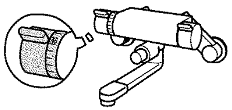
優先表示



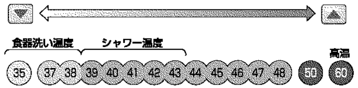
2 [▼]または[▲]を押して、給湯温度を設定する。

● [▲]を押すと、温度が上がるメロディーと共に『**給湯温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。
● [▼]を押すと、温度が下がるメロディーと共に『**給湯温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。
● [▼]または[▲]を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。
●増設リモコンはピッと操作音が鳴るだけで、メロディーや音声はありません。

※サーモスタット式水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度（ハンドルの温度）より5～10℃高めにしてください。
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。



サーモスタット式水栓の例



台所・増設リモコン　浴室リモコン

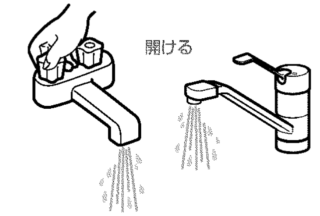
※調節できる温度は35～60℃の15段階（ふろ給湯器の場合は37～60℃の14段階）です。
1回スイッチを押すごとに1段階ずつ変わります。
上図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。
※低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。
※給湯設定温度を60℃にセットすると**『あついお湯が出ます』『給湯温度を60℃に設定しました』**とお知らせし、表示画面に『高温』を表示して注意を促します。
※優先権のあるリモコンでのみ設定できます。
（17ページ参照）

●給湯栓を開くとお湯が出ます。
※お湯を使っている間は、表示画面に右下図のような燃焼表示が出ます。
※湯量を絞りすぎる（毎分約2リットル以下にする）とバーナの火が消えます。

お知らせ
・お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
・給水温が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出ることがあります。
・おふろへ湯はり中は、リモコンの表示とは異なる温度のお湯が出ることがあります。
・リモコンの運転スイッチ「入」「切」や給湯栓の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音がすることがありますが、これは再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で異常ではありません。

※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

画面表示／補足



台所・増設リモコン　浴室リモコン

⚠警告

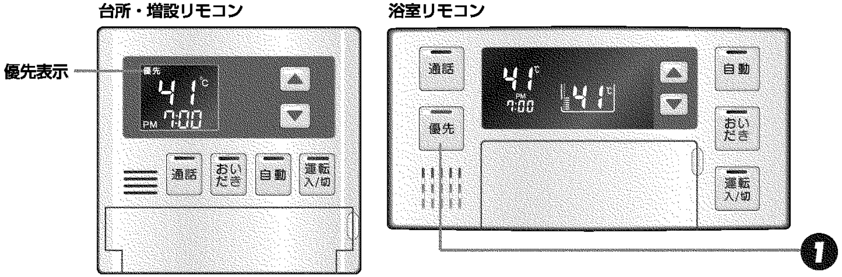
●高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
●おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。
お湯が急に水になります。
●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
シャワーの温度もこのリモコンの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

優先スイッチの使いかた

138-R009型をお使いの場合は、この頁は関係ありません。

浴室以外の場所の給湯栓からも浴室と同じ温度のお湯を供給します。
（1つの機器に接続されているすべてのリモコンで、常に同一の給湯温度を表示します）
お湯を使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の権利のあるリモコンでしか温度を変えられないようになっており、この給湯温度を変更することができる権利を「優先権（優先）」と言います。（リモコンを2台以上設置の場合）



1 浴室リモコンの [優先] を押す。

- 音声で**『給湯温度が変更できます』**とお知らせして [優先] のランプ（オレンジ）が点灯し、給湯温度を変更できる優先権を持つことができます。
- [優先] を1回押すごとに、優先権が以下のように交互に切り替わります。
  「浴室リモコン」⇄「台所・増設リモコン」
- 優先権の表示
  浴室リモコンが優先：
  [優先] ランプ（**オレンジ**）が点灯します。

  台所・増設リモコンが優先：
  表示画面に「**優先**」が点灯します。
- 台所リモコンで給湯温度の変更ができないときは、[運転入/切] をいったん「切」にし、再度「入」にして、表示画面に「優先」の表示を点灯させます。

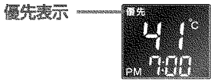
⚠警告

- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は優先権を切り替えないでください。

画面表示／補足

浴室リモコン

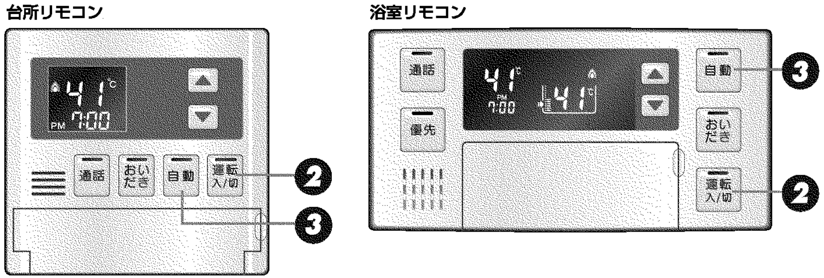
台所・増設リモコン



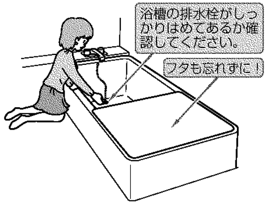
- 台所・増設リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持つリモコンの記憶していた温度が給湯温度になります。
- 優先権を持っていないリモコンで、[▼]または[▲]を押して、給湯温度を変更しようとすると、**『給湯温度は変更できません』**とお知らせします。（増設リモコンは音声なし）
- 運転「切」の状態から、「入」にしたときは、[運転入/切] が押された側のリモコンが優先権を持ちます。
- 給湯温度の変更以外は、どちらのリモコンでも優先権に関係なく設定・使用ができます。

自動運転でおふろを入れる

●浴室リモコンまたは台所リモコンで操作します。（増設リモコンにはこの機能がありません）



1 浴槽に排水栓とフタをする。



2 [運転入/切] のランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、[運転入/切] を押します。

画面表示／補足

お知らせ
- おふろの湯はり量や温度・保温時間の調節方法は、21～26ページをご覧ください。
- 自動湯はり中やおいだき中には循環アダプターから泡が出てくることがあります。

自動運転でおふろを入れる

●全自動タイプと自動湯はりタイプの相違

※ご使用の機器が、全自動タイプか自動湯はりタイプかは、熱源機本体の取扱説明書でご確認ください。

全自動タイプ

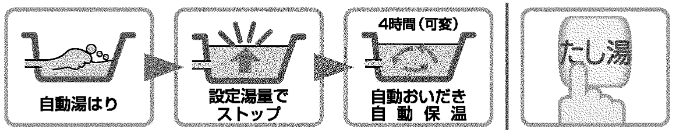
ふろ設定温度で、設定水位まで自動湯はり。残り湯があるときでも、設定水位まで自動湯はり。

外気温と設定温をチェックし、湯温が下がると自動おいだき。

設定水位より約4cm下がると、自動たし湯。

浴槽から排水すると配管内の残り湯を新しいお湯で押し流します。

自動湯はりタイプ



ふろ設定温度で、設定湯量まで自動湯はり。

外気温と設定温をチェックし、湯温が下がると自動おいだき。

お湯を増やしたいときは、「たし湯」スイッチを押すだけで、約20Lのお湯がたされます。

3 [自動]を押す。

- **『お湯はりをします』**とお知らせして[自動]のランプ(赤)が点灯し、湯はりを始めます。また、湯はり完了の約5分前にはブザーが鳴り、**『残りおよそ5分でおふろに入れます』**とお知らせします。
- 湯はりが終わるとメロディーが鳴り、**『おふろが沸きました』**とお知らせします。また、表示画面には右図のような保温の表示が出ます。
- 途中で止めたいときは、再度[自動]を押してランプ(赤)を消灯させてください。

画面表示／補足

台所リモコン　浴室リモコン

(注)残り湯があるとき、または、ふろ設定湯量(水位)が少ない(5分以内に湯はりが完了する)ときに自動運転をした場合は、完了5分前のお知らせはしません。

台所リモコン　浴室リモコン

- 保温の表示が出ている間は、約30分(気温によって時間が変化します)ごとにお湯の温度をチェックして温度が下がっていれば自動的においだきし、全自動タイプはお湯が減ると自動的にたし湯します。この保温時間は26ページのおふろの保温時間を変更する方法で決めます。
- 保温時間が終了すると保温の表示が消え、自動スイッチランプ(赤)も消えます。保温を途中で止めたいときは、自動スイッチを押してランプ(赤)を消灯させてください。
- 保温の表示が出ている間にぬるく感じたときは、おいだきスイッチ(27ページ参照)を押すか、ふろ設定温度を上げてください(25ページ参照)。
- 増設リモコンは完了5分前のお知らせがありません。
- 増設リモコンは湯はりが終わるとブザーが鳴ります。(メロディーや音声によるお知らせはありません)

お知らせ

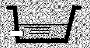
- 夏期など給水温度が高い場合は、設定湯量(水位)まで水はり後おいだき運転を行うことがあります。また、冬期など気温の低い場合では、ふろ設定温度まで沸きあげるのに時間がかかることがあります。
  ※上記のような場合は『残りおよそ5分でおふろに入れます』とお知らせしてから5分以上たっても湯はりが完了しないことがあります。(機器の異常ではありません)
- おふろの湯はり中に給湯(シャワー)を使用した場合、給水温や給水圧などの条件によっては、給湯栓からお湯が少ししか出ないことやまったく出ないこともあります。(機器の異常ではありません)。給湯栓やシャワーからお湯が出た場合は、湯はりは一時中断されます。このとき給湯栓やシャワーからは、ふろ設定温度のお湯が出ることもあります。

残り湯がある場合の注意

〈自動湯はりタイプの場合〉

- 前日の残り湯を沸かし直す場合、自動スイッチを使うと湯量がふえ、お湯があふれることがあります。残り湯の量が十分にあるときの沸かし直しは、おいだきスイッチ(27ページ参照)をお使いください。

〈自動湯はりタイプの場合〉



- 残り湯で循環アダプターがかくれている場合、水位が多少ばらつきます。
  ※特に残り湯の温度がふろ温度設定に近いときは、約6リットルだけ湯はりし、設定した量になりません。

〈自動湯はりタイプの場合〉

- 残り湯で循環アダプターがかくれていない場合、残り湯が「なし」と判断して自動運転を行い残り湯の分だけ水位が高くなるため、お湯があふれる場合があります。

お願い

- 湯はり中に給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることがあります。自動運転の湯はり中は、他の給湯栓から浴槽にお湯(水)を入れないでください。
- 浴槽の残り湯を排水するときは、自動スイッチランプ(赤)が消灯していることを確認してから行ってください。
- 自動スイッチの「入」「切」を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることがあります。
- 保温中にお湯をもっとふやしたい場合は、たし湯スイッチ(29ページ参照)を押してください。約20リットルのふろ設定温度のお湯をたします。

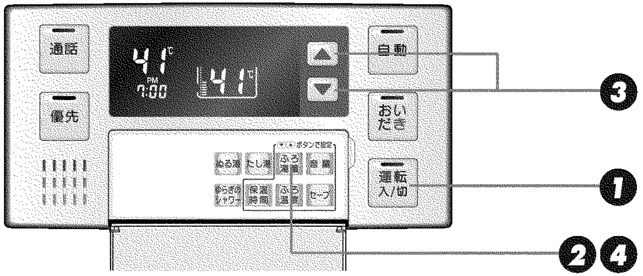
※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

おふろの湯量(水位)を調節する（全自動タイプ）

●浴室リモコンで操作します。（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

浴室リモコン

● 138-R006型で、インターホン(通話スイッチ)使用中は設定できません。



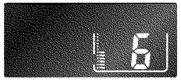
画面表示／補足

1 運転入/切のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

● 点灯していない場合は、運転入/切を押します。

2 浴室リモコンのフタを開け、ふろ湯量を押す。

● 右の画面が表示されます。
画面の数字は次頁の表のレベル数です。



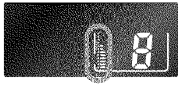
● 湯量(水位)とは、循環アダプターからどれだけ上まで湯はりするかというめやすをいいます。リモコンの水位表示との関係は次頁の通りですが、浴槽の形状などによりばらつきますので、実際の水位とは異なります。
● はじめて電源を「入」にしたとき、水位表示はレベル6になります。

画面表示／補足

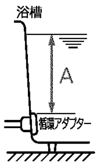
3 ▼または▲を押して、ふろ湯量を変更する。

▲：水位表示が1目盛ずつ上がります。
（上がるメロディーでお知らせします）

▼：水位表示が1目盛ずつ下がります。
（下がるメロディーでお知らせします）



全自動タイプの水位のめやす



洋バス用設定 水位表示	A寸法	和バス用設定 水位表示	A寸法
レベル12	29cm	レベル12	43cm
レベル11	27cm	レベル11	40cm
レベル10	25cm	レベル10	37cm
レベル 9	23cm	レベル 9	34cm
レベル 8	21cm	レベル 8	31cm
レベル 7	19cm	レベル 7	28cm
レベル 6	17cm(標準)	レベル 6	25cm(標準)
レベル 5	15cm	レベル 5	22cm
レベル 4	13cm	レベル 4	19cm
レベル 3	11cm	レベル 3	16cm
レベル 2	9cm	レベル 2	13cm
レベル 1	7cm	レベル 1	10cm

● 左表の寸法はめやすです。浴槽の形状などにより水位が異なります。
※左表の寸法より数cm多くなる場合もあります。
● 浴槽によっては高い水位に設定するとお湯があふれることがあります。
※洋バス⇔和バスの設定は、熱源機本体で切り替えます。切り替える場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。工場出荷時は洋バス用設定になっています。

4 ふろ湯量を押す。

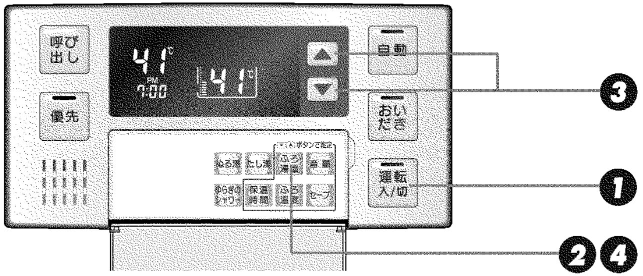
● **『設定しました』**とお知らせして、設定が完了します。

※ふろ湯量を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

おふろの湯量(水位)を調節する(自動タイプ)

●浴室リモコンで操作します。(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン

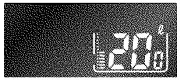


1 運転入/切 のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

- 点灯していない場合は、運転入/切を押します。

2 浴室リモコンのフタを開け、ふろ湯量を押す。

- 右の画面が表示されます。
  画面の数字は次頁の表の湯量です。



- 自動タイプでいう湯量とは、浴槽に湯はりするお湯のめやすの量をいいます。
- はじめて電源を「入」にしたとき、普通浴槽では200リットルになっています。このとき水位表示は下から6番目で示されます。大浴槽では360リットルになり、水位表示は下から8番目です。

3 ▼または▲を押して、ふろ湯量を変更する。

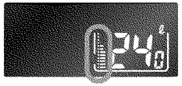
▲：水位表示が1目盛ずつ上がり、湯量も上がります。
(上がるメロディーでお知らせします)

▼：水位表示が1目盛ずつ下がり、湯量も下がります。
(下がるメロディーでお知らせします)

自動タイプの水位のめやす

▲を押すと増える ⇧ / 初期設定→6 / ⇩ ▼を押すと減る

水位表示(下から)	湯量(リットル) 普通浴槽設定	湯量(リットル) 大浴槽設定
表示なし	—	700
表示なし	—	650
表示なし	990	600
表示なし	400	550
12	350	500
11	300	450
10	280	400
9	260	380
8	240	360 ←大浴槽設定時の初期設定
7	220	340
6 (初期設定→)	200	320
5	180	300
4	160	280
3	140	260
2	120	240
1	100	220
1	80	—
1	60	—



- お子様のイタズラなどを防止するため、普通浴槽設定の場合、400リットルや990リットルおよび80リットルや60リットルに設定するときには、▲または▼を1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。大浴槽設定の場合の550リットル以上にするときも同様です。
- 普通浴槽⇔大浴槽の設定は、熱源機本体で切り替えます。切り替える場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。お買い上げの際には普通浴槽設定になっています。
- 浴槽の大きさが340リットルを超える場合、浴槽内の温度分布がばらつくことがあります。

4 ふろ湯量を押す。

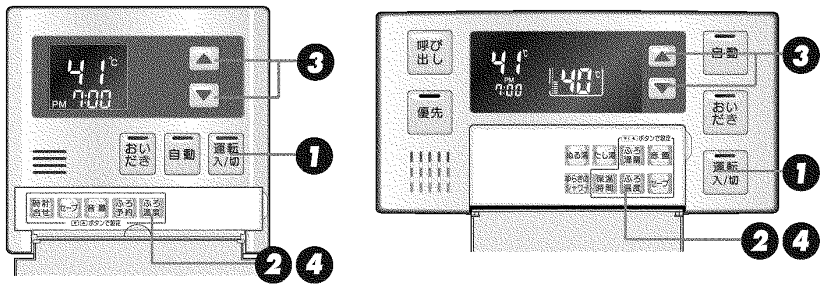
- 『**設定しました**』とお知らせして、設定が完了します。

※ふろ湯量を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

おふろの温度を調節する

●台所リモコンまたは浴室リモコンで操作します。(増設リモコンにはこの機能がありません)

台所リモコン　　浴室リモコン



画面表示／補足

1 [運転 入/切] のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

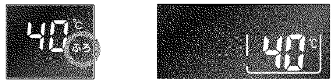
● 点灯していない場合は、[運転 入/切] を押します。

2 リモコンのフタを開け、[ふろ 温度] を押す。

台所リモコンの場合：
● 表示画面にふろの文字が点灯し、給湯温度表示からふろ温度表示にかわります。

浴室リモコンの場合：
● 表示画面が右図の表示になります。
※工場出荷時は42℃に設定されています。

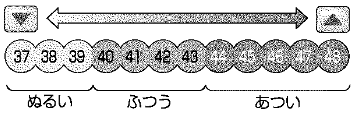
台所リモコン　　浴室リモコン



3 [▼] または [▲] を押して、ふろ温度を設定します。

● [▲] を押すと、温度が上がるメロディーと共に『**ふろ温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。
● [▼] を押すと、温度が下がるメロディーと共に『**ふろ温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。
● [▼] または [▲] を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

※温度表示はめやすです。



4 [ふろ 温度] を押す。

● 設定が完了します。

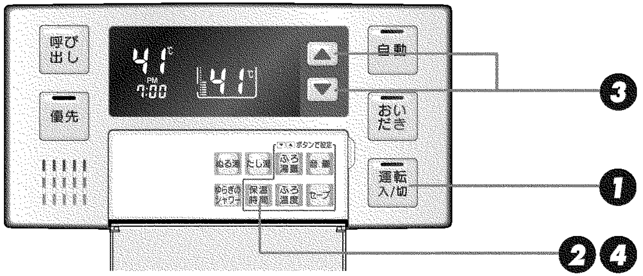
※台所リモコンはふろの文字が消灯し、給湯温度表示にかわります。

※ [ふろ 温度] を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

おふろの保温時間を変更する

●浴室リモコンで操作します。(台所・増設リモコンにはこの機能がありません)

浴室リモコン



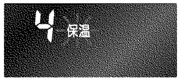
画面表示／補足

1 [運転 入/切] のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

● 点灯していない場合は、[運転 入/切] を押します。

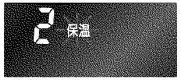
2 浴室リモコンのフタを開け、[保温 時間] を押す。

● 表示画面に保温時間が表示され保温の表示が点滅します。
※工場出荷時は4時間に設定されています。



3 保温時間が表示されている間に [▼] または [▲] を押して、保温時間を設定する。

● [▼] を押すと、数字が 4→2→1→0→8→6 (単位はすべて時間です)の順に切り替わります。
[▲] を押すと、逆順に切り替わります。



4 [保温 時間] を押す。

● 『**設定しました**』とお知らせして設定が完了します。

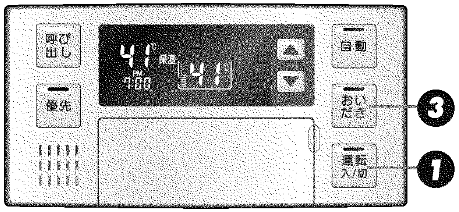
※ [保温 時間] を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

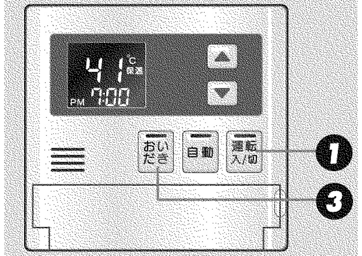
おふろをあつくする（おいだき）

●浴室リモコンで操作します。
（増設リモコンにはこの機能がありません）

台所リモコンからも操作できます。

浴室リモコン





画面表示／補足

1 運転入/切 のランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

● 点灯していない場合は、運転入/切 を押します。

2 浴槽に、循環アダプターの上までお湯（水）が入っていることを確認します。

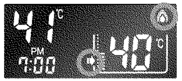
3 おいだき を押す。

● おいだき のランプ（黄緑）が点灯し、『おいだきをします』とお知らせしておいだきを開始します。このとき表示画面には右図の表示が出ます。
※おいだきはふろ温度にかかわらず約5分間行いますので、ふろ設定温度以上になる場合があります。

● 途中で停止したいときは、おいだき を押してください。おいだき のランプが消灯します。
※台所リモコンで操作した場合は、沸き上がると、メロディーが鳴り『**おふろが沸きました**』とお知らせします。
ただし、自動運転（保温）中はお知らせしません。

台所リモコン

浴室リモコン



※浴室リモコンで操作した場合は、約5分間おいだきして、ふろ設定温度以上にならなかったときは、そのままふろ設定温度までおいだきします。
※台所リモコンで操作した場合は、約1分間ポンプ運転した後、ふろ設定温度までおいだきします。なお、ふろ温度がふろ設定温度以上の場合は、約1分間ポンプ運転後に停止します。

お願い

おいだき運転時には、循環アダプターから泡が出てくることがあります。
また循環アダプターからはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。

お知らせ

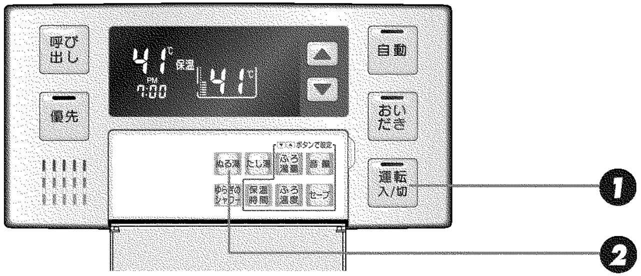
循環アダプターの上までお湯（水）が入っていないときにおいだきスイッチを押すと…
<全自動タイプの場合>
・浴室リモコンで操作したときは、浴槽に約6リットル湯はりした後、自動運転に切り替わります。
この時、おいだきスイッチのランプは消灯して自動スイッチのランプが点灯します。
・台所リモコンで操作したときは、浴槽に約6リットル湯はりし、約10分間ポンプ運転した後、リモコンに「632」エラーが点滅して停止します。
<自動タイプの場合>
・浴室リモコン・台所リモコンのどちらで操作した場合でも、浴槽に約6リットル湯はりし、約10分間ポンプ運転した後、リモコンに「632」エラーが点滅して停止します。

※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

おふろをぬるくする

●浴室リモコンで操作します。（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

浴室リモコン



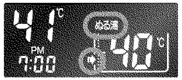
画面表示／補足

1 運転入/切 のランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

● 点灯していない場合は、運転入/切 を押します。

2 浴室リモコンのフタを開け、ぬる湯 を押す。

● 『**水をたします**』とお知らせして、浴槽に約10リットル注水します。このとき表示画面には右図の表示が出ます。
● 途中で停止したいときは、ぬる湯 を押します。
● ぬる湯運転が終わると、ぬる湯表示は消灯します。



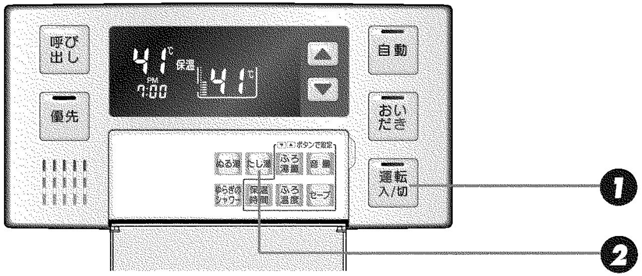
お知らせ

・給湯（シャワー）使用中に、ぬる湯運転すると、すぐには始まらず、給湯を止めた後に始まります。
・ぬる湯運転中に給湯（シャワー）使用すると、ぬる湯運転は一時中断される場合があります。また、給湯栓からは水が出ます。
・ぬる湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

おふろのお湯をふやす

●浴室リモコンで操作します。（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

浴室リモコン



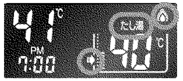
画面表示／補足

1 運転入/切のランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

●点灯していない場合は、運転入/切を押します。

2 浴室リモコンのフタを開け、たし湯を押す。

●**「お湯をたします」**とお知らせして、浴槽にふろ設定温度のお湯約20リットルを湯はりします。このとき表示画面には右図の表示が出ます。
●途中で停止したいときは、たし湯を押します。
●たし湯運転が終わると、たし湯表示と給湯燃焼表示は消灯します。



お知らせ

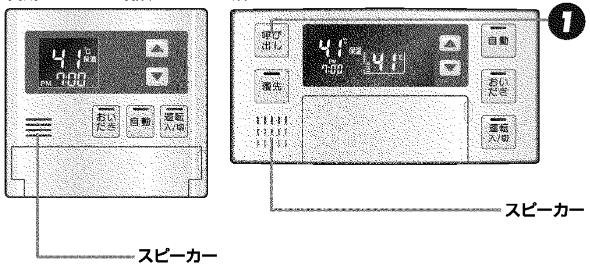
・給湯（シャワー）使用中に、たし湯運転すると、すぐには始まらず、給湯を止めた後に始まります。
・たし湯運転中に給湯（シャワー）使用すると、たし湯運転は一時中断される場合があります。また給湯栓からはふろ設定温度のお湯が出ます。
・たし湯運転中、循環アダプターから泡が出ることがあります。

※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

浴室から人を呼びたいとき

●浴室リモコンと台所リモコン（増設リモコン）を設置している場合、浴室リモコンで操作して台所リモコン（増設リモコン）で呼び出し音を鳴らすことができます。

台所リモコン・増設リモコン　浴室リモコン



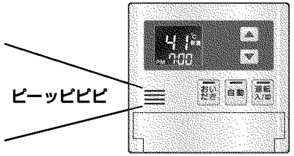
● 運転入/切が「入」「切」どちらの状態でも、呼び出し操作ができます。

画面表示／補足

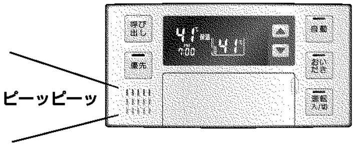
1 浴室リモコンの呼び出しを押す。

台所リモコンおよび増設リモコンのスピーカー：
「**ピーッピピピ**」と5回鳴ります。
浴室リモコンのスピーカー：
呼び出しを押している間「**ピーッピーッ**」と鳴ります。

台所リモコン・増設リモコン



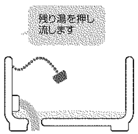
浴室リモコン



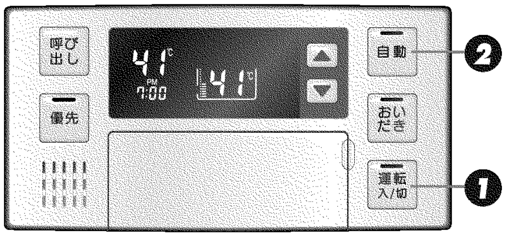
※増設リモコンは操作音を消している場合（41ページ参照）「ピーッピピピ」と鳴りません。

セルフクリーン機能

●全自動タイプの機器の場合のみご利用いただけます。
全自動タイプでは、自動運転や予約運転でおふろを沸かしたあとにおふろのお湯を抜くと、ふろ配管内に残ったお湯を自動で洗い流すセルフクリーン機能がついています。
お買い上げの際には、セルフクリーン機能は「入」に設定されています。



浴室リモコン



画面表示／補足

1 [運転入/切]のランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

●点灯していない場合は、[運転入/切]を押します。

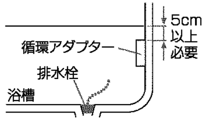
2 [自動]のランプ(赤)が消灯していることを確認する。

●消灯していない場合は、[自動]を押します。

3 浴槽の排水栓を抜く。

●残り湯が循環アダプター付近まで減ると、循環アダプターから約5リットルのふろ設定温度のお湯が出て配管の汚れを洗い流します。このとき表示画面には、自動運転の湯はり中と同じ表示が出ます。

●排水栓を抜くときに、循環アダプターの上端より上に約5cm以上の水位があれば「セルフクリーン機能」がはたらきます。



●[自動]を「切」にするとしばらくポンプが回ります。浴槽の排水栓を抜くのは「切」にして1分以上経過後(ポンプ停止後)にしてください。

お知らせ

・[運転入/切]を『切』の状態で残り湯を排水しても「セルフクリーン機能」ははたらきません。
・セルフクリーン運転中に給湯(シャワー)使用すると、セルフクリーン機能は解除されます。

浴室暖房以外の暖房の使いかた

●放熱器や床暖房リモコンで操作します。

⚠警告

●床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
・疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
・皮膚や皮膚感覚の弱い方
●パネルヒータの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

⚠注意

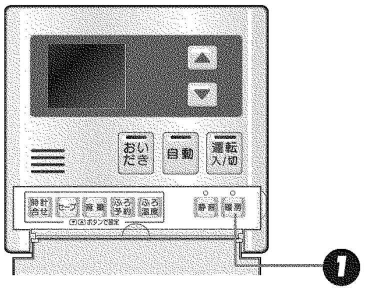
●床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
●カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。

1 暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、温度調節つまみをお好みの温度にします。(放熱器(暖房)の取扱説明書もご覧ください)

●燃焼中は表示画面に燃焼表示(🔥)が点灯します。

■暖房スイッチの使いかた 138-R007の台所リモコンのみ操作できます。

138-R007の台所リモコン



放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチの「入」・「切」で機器の暖房運転ができない場合、下記操作で機器を運転します。

画面表示／補足

● [運転入/切]が「入」・「切」どちらの状態でも、[暖房]は操作できます。
①台所リモコンのフタを開け、[暖房]を押す。
[暖房]のランプ(オレンジ)が点灯します。

②放熱器の操作をする。

●暖房をやめたいときは、もう一度[暖房]を押します。

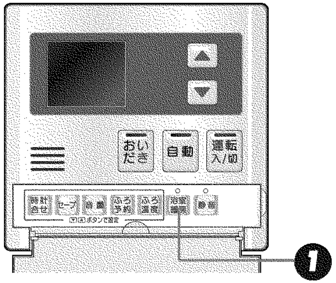
※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

暖房を使う

熱源機のリモコンで浴室暖房を使う

●138-R008の台所リモコンでのみ操作できます。

138-R008の台所リモコン



● 運転入/切 が「入」「切」どちらの状態でも、浴室暖房 は操作できます。

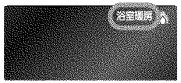
1 リモコンのフタを開け、浴室暖房 を押す。

- 台所リモコンでは 浴室暖房 のランプ（オレンジ）が点灯して、浴室暖房を開始します。このとき浴室リモコンでは右の表示が点灯します。
- 浴室暖房をやめたいときは、もう一度 浴室暖房 を押すと停止します。また、浴室暖房乾燥機のリモコンの運転スイッチを「切」にしても停止できます。

※リモコンの 運転入/切 を「切」にしても浴室暖房は停止しません。

画面表示／補足

台所リモコン　　浴室リモコン



※熱源機のリモコンで予備暖房運転を行うためには、システムに対応した浴室暖房乾燥機が必要です。

お知らせ

■浴室暖房乾燥機の温度調節は？

・このリモコンでは浴室暖房乾燥機の暖房運転を行うことができます。温度調節その他の設定は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。

・このリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を行った場合、ワイヤレスタイプの浴室暖房乾燥機のリモコンには何も表示されず「切」のままになっています。温度調節などを行いたい場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンの運転スイッチも「入」にしてから行ってください。

お願い

・運転開始は入浴される約30分前から行ってください。

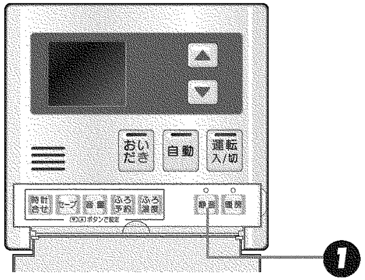
・浴室暖房時間は、浴室の種類や大きさ・気温や湿度によって異なります。浴室暖房乾燥機のリモコンで設定調整してください。

暖房を使う

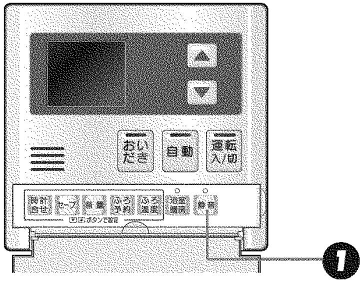
暖房の運転音を下げる

●138-R007・R008の台所リモコンでのみ操作できます。

138-R007の台所リモコン



138-R008の台所リモコン



● 運転入/切 が「入」「切」どちらの状態でも、静音 は操作できます。

1 台所リモコンのフタを開け、静音 を押す。

- 静音 のランプ（黄緑）が点灯して、設定が完了します。
- 再度 静音 を押すと 静音 のランプ（黄緑）が消灯して、設定が解除されます。

お知らせ

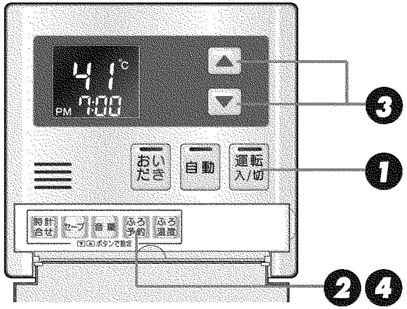
静音 のランプ（黄緑）が点灯中は暖房能力を少し低下させて、熱源機の運転音を下げます。このとき、暖房の立ち上がりが悪くなることがあります。

画面表示／補足

お好きな時間におふろを入れる（予約運転）

●台所リモコンで設定します。
（浴室・増設リモコンにはこの機能がありません）
●必ず現在時刻設定を行ってから操作してください。
（14ページ参照）

台所リモコン



画面表示／補足

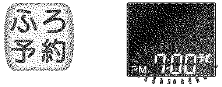
1 運転入/切 のランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

● 点灯していない場合は、運転入/切 を押します。

2 台所リモコンのフタを開け、ふろ予約 を押す。

● 表示画面に「予約」表示と予約時間が点滅します。

台所リモコン



3 ▼ または ▲ を押して、予約時刻を設定する。

※予約時刻のセット方法は、14ページの「時計を合わせる」の ② を参照ください。

お願い
・予約運転の予約時刻は、現在時刻より30分後以降に設定してください。30分以内にすると、浴槽が大きいときや機器への給水圧が低いときなどに、予約時刻になってもおふろへの湯はりが完了しないことがあります。

4 ふろ予約 を押す。

● 『設定しました』とお知らせして、操作が完了します。
● 予約を解除したいときは、もう一度、ふろ予約 を押してください。「予約」表示が消灯します。

台所リモコン

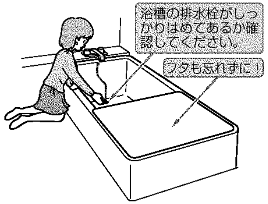
（午後8：00に設定した画面表示）

※ ふろ予約 を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

※ 運転入/切 を「切」にすると予約が解除されます。

予約中は 運転入/切 を「入」の状態にしておいてください。

5 浴槽に排水栓とフタをする。

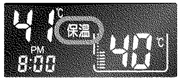


● 湯はりが完了して予約した時刻になるとメロディーが鳴り、音声で『**おふろが沸きました**』とお知らせします。このとき表示画面には、右図の画面表示のように「保温」表示が点灯し、保温運転に入ります。

画面表示／補足

台所・増設リモコン

浴室リモコン



※予約運転の場合は、湯はり完了5分前のお知らせはしません。
(注) 予約運転の場合は、予約時刻の約30分前から湯はり運転を開始します。なお、浴槽の大きさや設定湯量・湯はり温度・給水圧・給水温などの条件によっては、湯はり完了時刻と予約時刻がズレることもありますが、異常ではありません。
※浴槽に残り湯があるときに予約運転を行うと、おふろの沸きあがり時刻に大きなバラツキが出ることがありますが異常ではありません。
※増設リモコンはブザーでお知らせします。

お知らせ
・ 3 の操作で決めた予約時間は 運転入/切 を「切」にしても機器が記憶しています。予約時間を確認したいときは、 1 2 の操作を行ってください。
・毎日同じ時刻に湯はり（おふろ沸かし）をする場合は、予約時刻の30分以上前に、毎日 1 2 4 5 の操作を行ってください。

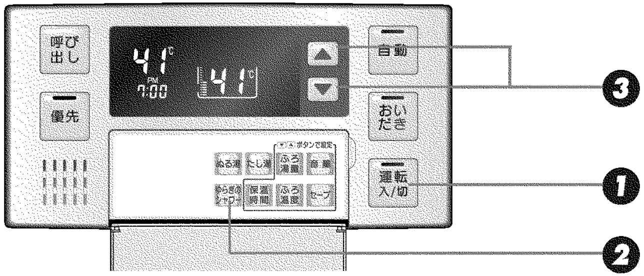
※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

便利な使いかた

ゆらぎのシャワーを使う

●浴室リモコンで操作します。（台所・増設リモコンにはこの機能がありません）

浴室リモコン



画面表示／補足

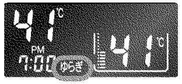
1 [運転入/切] のランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

●点灯していない場合は、[運転入/切]を押します。

2 浴室リモコンのフタを開け、[ゆらぎのシャワー]を押す。

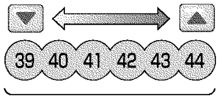
●表示画面に「ゆらぎ」が表示されます。

●浴室リモコン以外のリモコンが優先権（17ページ参照）を持っていた場合は、浴室リモコンに優先権が切り替わり、[優先]のランプ（オレンジ）が点灯します。



3 [▼]または[▲]を押して、シャワーの温度を設定する。

●設定できる温度は39〜44℃の6段階です。



ゆらぎのシャワー温度

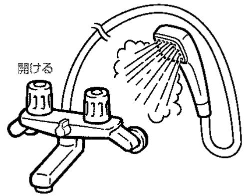
※給湯設定温度が上記以外のときに[ゆらぎのシャワー]を押すと、設定温度が35℃・37℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

4 シャワー栓を開いてゆらぎのシャワーを出す。

●ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。

●シャワー栓を閉めると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎの表示が消えます。

画面表示／補足

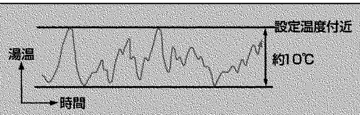


※ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。

お知らせ

・ゆらぎのシャワーとは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。

※給湯配管の条件によっては、上記の温度間より高めの温度や低めのお湯が出る場合があります。



・湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止、全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。

⚠警告

●高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。

●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。

●下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。

・妊娠中の方
・医者から入浴を禁じられている方
・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
・高血圧の方／体力の弱っている方／体調の悪い方

⚠注意

●給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。

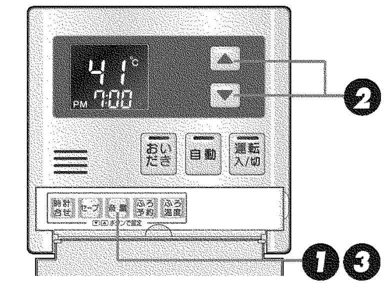
●サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

※高効率タイプの機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

音声やメロディーの大きさ(音量)を変更する

●各リモコンごとに設定できます。(増設リモコンにはこの機能がありません)

台所リモコン　　浴室リモコン



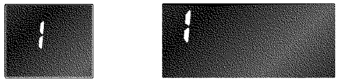
● 運転入/切 が「入」「切」どちらの状態でも設定できます。

画面表示／補足

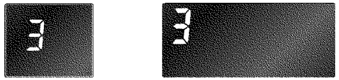
1 リモコンのフタを開け、音量を押す。

● 表示画面に音量が「－」「0」「1」「2」「3」で表示されます。

台所リモコン　　浴室リモコン



2 ▼または▲を押して、音量を変更する。



● お買い上げの際には中(標準)にセットされています。
音声と湯はり完了の音楽の音量については、下表のように変わります。

▼ ▲スイッチを押したときにお知らせする音声		リモコンの表示	音声	湯はり完了の音楽
▲を押す	(ピッ) 音声は大です	3	大	大
初期設定	(ピッ) 音声は標準です	2	中	中
▼を押す	(ピッ) 音声は小です	1	小	小
▼を押す	(ピッ) 音声を消します	0	なし	中 (ブザー音)
▼を押す	(ピッ) 音を消します	—	なし	なし

● 音声および音を消しても、注意を喚起する音声およびブザー音だけは消すことはできません。

3 音量を押す。

● 設定が完了します。

※ 音量 を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

●各スイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。

(　)内は同時に出る電子音など、○○℃は設定される温度

	操作するスイッチ・条件など				浴室リモコンから出る音声	台所リモコンから出る音声
浴室リモコンでの操作	運転(「入」にする)		給湯温度が60℃以外		(ピッ)	
			給湯温度が60℃のとき		(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
	優先	浴室→台所へ優先切替	給湯設定温度変化なし	台所60℃	(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)	
			給湯設定温度変化あり	台所60℃	(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更されました	給湯温度が変更されました
		台所→浴室へ優先切替	給湯設定温度変化なし	浴室60℃	(ピッ)あついお湯が出ます 給湯温度が変更できます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更できます	
			給湯設定温度変化あり	浴室60℃	(ピッ)あついお湯が出ます 給湯温度が変更できます	あついお湯が出ます
				60℃以外	(ピッ)給湯温度が変更できます	給湯温度が変更されました
	給湯温度 ▲		浴室リモコン優先のとき		(上がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度(60℃設定)				(上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	あついお湯が出ます
	給湯温度 ▼				(下がるメロディー) 給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度▼または▲		台所・増設リモコン優先のとき		給湯温度は変更できません	
	自動		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯はりをします	お湯はりをします
			湯はり終了5分前	音量設定大・中・小	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます
				音量設定音声消	(ピッピッピッと5回)	(ピッピッピッと5回)
			自動湯はり終了時	音量設定大・中・小	(音楽)おふろが沸きました	(音楽)おふろが沸きました
				音量設定音声消	(ピピピピッと5回)	(ピピピピッと5回)
	おいだき		スイッチを押したとき		(ピッ)おいだきをします	
	たし湯		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯をたします	
	ぬる湯		スイッチを押したとき		(ピッ)水をたします	
	ふろ温度		▲		(上がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
			▼		(下がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
	ふろ湯量		▲		(上がるメロディー)	
			▼		(下がるメロディー)	
	ゆらぎのシャワー・保温時間・浴室暖房・ふろ温度・ふろ湯量・音量		スイッチを押したとき		(ピッ)	
	音量	▲を押す	3		(ピッ)音声は大です	
		初期設定	2		(ピッ)音声は標準です	
		▼を押す	1		(ピッ)音声は小です	
		▼を押す	0		(ピッ)音声を消します	
		▼を押す	—		(ピッ)音を消します	
	呼び出し				(押している間ピーッピーッ)	(ピーッピピピと5回)

	操作するスイッチ・条件など				台所リモコンから出る音声	浴室リモコンから出る音声
台所リモコンでの操作	運転(「入」にする)		給湯温度が60℃以外		(ピッ)	
			給湯温度が60℃のとき		(ピッ)あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
	給湯温度▲		台所・増設リモコン優先のとき		(上がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度(60℃設定)				(上がるメロディー)あついお湯が出ます 給湯温度を60℃に設定しました	あついお湯が出ます
	給湯温度▼				(下がるメロディー)給湯温度を○○℃に設定しました	給湯温度が変更されました
	給湯温度▼または▲		浴室リモコン優先のとき		給湯温度は変更できません	
	自動		スイッチを押したとき		(ピッ)お湯はりをします	お湯はりをします
			湯はり終了5分前	音量設定大・中・小	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます	(ピッピッピッと5回)残りおよそ 5分でおふろに入れます
				音量設定音声消	(ピッピッピッと5回)	(ピッピッピッと5回)
			自動湯はり終了時	音量設定大・中・小	(音楽)おふろが沸きました	(音楽)おふろが沸きました
				音量設定音声消	(ピピピピッと5回)	(ピピピピッと5回)
	ふろ温度		▲		(上がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
			▼		(下がるメロディー)ふろ温度を○○℃に設定しました	
	音量	▲を押す	3		(ピッ)音声は大です	
		初期設定	2		(ピッ)音声は標準です	
		▼を押す	1		(ピッ)音声は小です	
		▼を押す	0		(ピッ)音声を消します	
		▼を押す	—		(ピッ)音を消します	
	時計合せ・ふろ予約		スイッチを押したとき		(ピッ)	
	静音・浴室暖房・暖房		スイッチを押したとき		(ピッ)	
	おいだき		スイッチを押したとき		(ピッ) おいだきをします	おいだきをします
			沸き上がり		(音楽) おふろが沸きました	(音楽)おふろが沸きました

便利な使いかた　増設リモコンの操作音を消す

■操作音を消す（増設リモコン）

●増設リモコン 138-R003 で操作します。
増設リモコンの操作音を消音にしたいときに使用します。

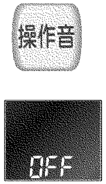
増設リモコン

● 運転入/切 が「入」「切」どちらの状態でも設定できます。

画面表示／補足

1 増設リモコンのフタを開け、操作音を押す。

●表示画面に「On」または「OFF」が表示されます。



※「OFF」になっている場合はすでに音を消した設定になっています。

2 「On」になっている場合は、▲または▼を押して「OFF」にする。

●「OFF」にしたときは「**ピッピッ**」と鳴り、
●「On」にしたときは「**ピッピピピ**」と鳴ります。

3 操作音を押す。

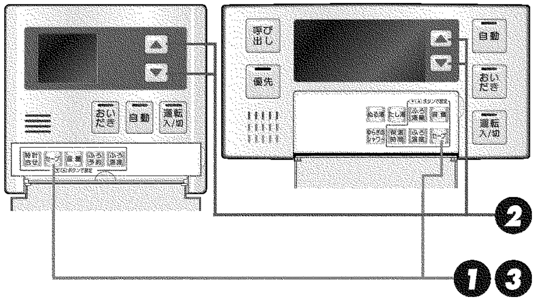
●設定が完了します。
●設定を解除するときは 1 ～ 3 の操作で「On」にします。

※ 操作音 を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

便利な使いかた　リモコン表示を節電する（セーブモード）

●各リモコンごとに設定できます。
●セーブモードとは、リモコンの待機電力の低減（省電力）を目的とした機能です。セーブモードが「On」のときは、時間が経過すると自動的に表示画面が消えます。
●お買い上げの際には、セーブモードは「On（入）」に設定されています。

台所・増設リモコン　浴室リモコン



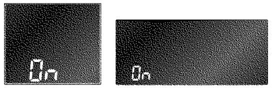
● 運転入/切 が「入」「切」どちらの状態でも、セーブ は操作できます。

画面表示／補足

1 リモコンのフタを開け、セーブを押す。

●表示画面に「On」または「OFF」が表示されます。

台所・増設リモコン　浴室リモコン



※「On」になっている場合は、すでにセーブモードになっています。

2 「OFF」になっている場合は、▲または▼を押して「On」にする。

3 セーブを押す。

●『**設定しました**』とお知らせして設定が完了します。
●設定を解除するときは 1 ～ 3 の操作で「OFF」にします。

※ セーブ を押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。
※増設リモコンは音声のお知らせはありません。

お知らせ

・リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えて、運転 のランプ（黄緑）のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、優先 のランプ（オレンジ）も点灯します。ただし、給湯栓を1度も開けていない状態では、表示画面は消えません。1度給湯を使用してください。機器を再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。
※ ▼ ▲ 運転 以外のスイッチを押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。
・湯はり運転中および給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電（セーブモード）機能は働きません。
台所リモコンは、予約中も節電（セーブモード）機能は働きません。
・電源プラグが抜けた場合や停電後には、セーブの設定が「On」になります。

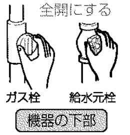
知っておいてください

故障かな？と思ったら

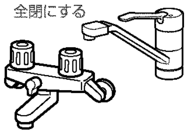
故障表示が点滅する

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下図のような故障表示が点滅します。
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

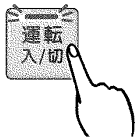
1. ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認します。



2. お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

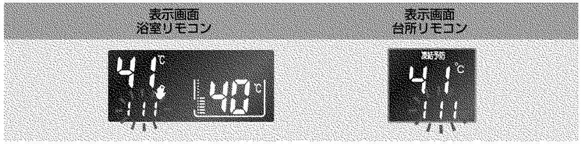


3. 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



4. 再び使用してみてください。

● 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



故障表示	使用状態
032	自動 おいだき たし湯 ぬる湯
101	給湯 自動
103	自動 おいだき 暖房
111	給湯 自動 たし湯
113	自動 おいだき 暖房
121	給湯 自動 たし湯
123	自動 おいだき 暖房
140	給湯 自動 おいだき たし湯
161	給湯 自動 (おいだき) たし湯
163	自動 おいだき 暖房
170	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
173	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
190	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
252	自動
290	給湯・自動 おいだき たし湯 暖房
310	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
312	自動 おいだき
313	自動 おいだき 暖房
321	給湯 自動 (おいだき) たし湯
322	自動 おいだき
323	自動 おいだき 暖房
331	給湯 自動 たし湯
393	自動 暖房 おいだき
430	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
432	自動
433	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
502	自動 たし湯 ぬる湯
520	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
521	給湯 自動 たし湯
523	自動 おいだき 暖房
543	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
610	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
611	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
613	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
632	自動 おいだき
640	給湯・暖房 自動 おいだき たし湯 ぬる湯
643	自動 おいだき 暖房
661	給湯 自動 たし湯
662	自動 たし湯 ぬる湯 暖房
710	給湯 自動 おいだき たし湯 暖房
721	給湯 自動 (おいだき) たし湯
723	(給湯・たし湯) 自動 おいだき 暖房
901	給湯 自動
991	給湯 自動
920	給湯・自動 おいだき たし湯 暖房
930	給湯・自動 おいだき たし湯 暖房
903	自動 おいだき 暖房
993	自動 おいだき 暖房

101・103を表示しているときは、お湯や暖房を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態となりますので、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

知っておいてください

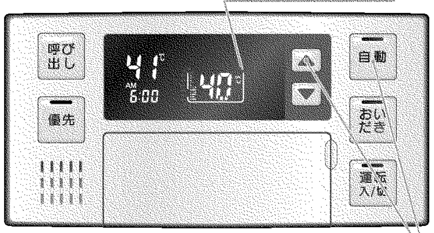
機器移設の再設定

全自動タイプをお使いのお客様で増・改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、新しい浴槽サイズなどを機器に記憶させる必要があります。下記手順に従って記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください。

浴室リモコンの運転スイッチを「入」にして表示画面を点灯させてから下図の▲スイッチを1秒以上押しながら、自動スイッチを押し続けてください。
記憶内容が消去され、スイッチを押している間は下図のように表示画面の浴槽のマークが点滅します。

この部分が点滅します。



▲スイッチを1秒以上押しながら 自動 スイッチを押す。
（運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」、通常表示状態で操作）

2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください。
浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くかかったり、低い水位設定時に機器が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください。

4. 自動スイッチを押す（「入」にする）と自動湯はりが開始されます。
運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。
運転中何回か停止しますが異常ではありません。

自動運転のはたらき（例）

自動スイッチ「入」 → 湯はり開始 → 湯はり停止・ポンプ循環 → ポンプ停止・湯はり開始 → 湯はり停止・おいだき開始 → おいだき終了・保温表示点灯

循環アダプターより水位が高くなるまで、繰り返し

試運転の終了まで20～30分かかります。

5. 試運転が完了し、浴槽サイズと水位とを記憶しました。

MEMO

知っておいてください　アフターサービスについて

■アフターサービスについて

- ●アフターサービス・保証については、機器本体に準じます。
- ●機器本体の保証書は、機器本体の取扱説明書にあります。必ず「販売店・お買上げ日」などが記入されていることを確認してください。
- ●当社は、保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器やリモコンに故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください）
- ●保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- ●無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。